



HP DesignJet Z2600 PostScript® プリンタ
HP DesignJet Z5600 PostScript® プリンタ

ユーザー ガイド

法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。



IPv6 対応

商標

Adobe®、Acrobat®、Adobe Photoshop®および Adobe® PostScript® 3™は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

ENERGY STAR および ENERGY STAR マークは、米国における商標です。

Microsoft®および Windows®は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

PANTONE®は、Pantone, Inc.の測色基準の商標です。

目次

1 はじめに	1
安全に関する注意事項	2
HP スタートアップキット	3
このマニュアルの使用	3
プリンタの主な機能	5
プリンタの主なコンポーネント	6
フロントパネル	9
プリンタソフトウェア	10
Web サービス	11
プリンタをオン・オフする	11
プリンタの印刷メニュー	12
2 ソフトウェアのインストール	13
使用する接続方法を選択する	14
ネットワークにプリンタを接続する	14
ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する(Windows の場合)	15
プリンタソフトウェアをアンインストールする(Windows の場合)	16
ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する(Mac OS X の場合)	17
プリンタソフトウェアをアンインストールする(Mac OS X の場合)	18
HP DesignJet クリック プリンティングソフトウェアを使用した 1 クリック印刷のセットアップ	18
3 プリンタを設定する	20
はじめに	21
Web 接続プリンタを設定する	21
Web サービス手動設定	21
用紙適合性オプション	23
ネスティングをオン/オフにする	24
使用状況に関する情報をオン/オフにする	25
電子メール通知をオン/オフにする	25
アラートをオン/オフにする (Windows のみ)	25
プリンタへのアクセスを制御する	26
アカウント ID を要求する	27
Windows ドライバの環境設定を設定する	27

4 プリンタのカスタマイズ	28
フロントパネルの表示の言語を変更する	29
HP DesignJet Utility へのアクセス	29
内蔵 Web サーバにアクセスする	29
HP DesignJet Utility の言語の変更	30
内蔵 Web サーバの言語を変更する	30
スリープモード設定を変更する	30
ブザーをオン/オフにする	30
フロントパネルの表示の明るさを変更する	30
測定単位を変更する	31
ネットワーク設定を構成する	31
グラフィック言語の設定を変更する	32
プリンタセキュリティを管理する	33
プリンタの電子メールアドレスを変更する	33
5 用紙の取り扱い	34
一般的なヒント	35
ロールをスピンドルに取り付ける	35
ロールをプリンタに取り付ける	37
ロール紙を取り外す	40
カット紙を取り付ける	42
カット紙を取り外す	43
感光紙モード	44
用紙に関する情報を表示する	45
用紙プリセット	45
用紙情報の印刷	48
用紙の移動	48
用紙を保守する	48
乾燥時間を変更する	48
自動カッターのオン/オフを切り替える	49
用紙を給紙してカットする	49
6 2本のロール紙を使用する (Z5600 のみ)	51
マルチロールプリンタの使用	51
プリンタによるロール紙へのジョブの割り当て方法	51
7 印刷時	53
はじめに	54
USB フラッシュドライブから印刷する	54
内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility を使用してコンピュータから印刷する	55
プリンタドライバを使用したコンピュータからの印刷	56
詳細印刷設定	57

8 Web に接続されている印刷	69
電子メールから印刷する	69
9 ジョブキューの管理	70
フロントパネルのジョブキュー	70
内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility のジョブキュー	73
10 カラーマネジメント	77
はじめに	78
色が表される仕組み	78
カラーマネジメントプロセスの概要	78
カラーキャリブレーション	78
プリンタドライバからのカラーマネジメント	80
プリンタドライバからのカラーマネジメント	80
内蔵 Web サーバからのカラーマネジメント	82
フロントパネルからのカラーマネジメント	83
11 実際の印刷の例	85
正しい倍率で試し印刷する	86
適切な色を使用してドキュメントを印刷する	86
プロジェクトの印刷	92
プレゼンテーションの印刷	95
Microsoft Office からの印刷および拡大縮小	98
12 プリンタの使用状況に関する情報を取得する	100
プリンタのアカウント情報	101
使用状況に関する情報を確認する	101
ジョブの使用状況に関する情報を確認する	102
電子メールによるアカウント情報データの要求	102
13 インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い	104
インクカートリッジについて	105
インクカートリッジのステータスを確認する	105
インクカートリッジを取り外す	105
インクカートリッジを挿入する	107
プリントヘッドについて	108
プリントヘッドのステータスを確認する	108
プリントヘッドを取り外す	108
プリントヘッドを取り付ける	111

14 プリンタを保守する	115
プリンタ ステータスを確認する	116
プリンタ外観のクリーニング	116
インクカートリッジをメンテナンスする	116
プリンタを移動または保管する	116
ファームウェアをアップデートする	117
ソフトウェアをアップデートする	118
プリンタ保守キット	118
安全なディスク消去	119
15 アクセサリ	120
サプライ品およびアクセサリ	121
アクセサリ	125
16 用紙に関するトラブルシューティング	126
用紙が正しく取り付けられない	127
用紙の種類がドライバに含まれていない	129
プリンタが間違っただ用紙の種類に印刷した	130
自動カットを使用できない	130
適当な用紙を待っています	130
ロール紙が送られない	132
用紙が詰まっている	132
帯が排紙トレイに残り、紙詰まりが発生する	135
プリンタに用紙があるときに用紙切れと表示される	135
印刷物がバスケットにきちんと排出されない	135
印刷が完了してもカット紙がプリンタに留まる	136
印刷が完了すると用紙がカットされる	136
カッターで正しくカットされない	136
ロール紙がスピンドルでたるむ	136
用紙送りのキャリブレーションを行う	136
17 印刷品質に関するトラブルシューティング	139
一般的なヒント	141
印刷品質のトラブルシューティング ウィザード	141
イメージに横線 (バンディング) が見られる	142
イメージに細い縦線が見られる	143
イメージ全体がぼやけているかざらついている	143
用紙が平らになっていない	143
印刷が擦り切れる、または傷がつく	144
用紙にインクが残る	144
印刷部に触れると黒インクが擦れる	145
オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない	145

オブジェクトの端が予期したよりも暗い	146
褐色化する	146
カット紙の端に横線が印刷される	146
異なる色の縦線が印刷される	146
印刷物に白色の点がある	146
色が正確に再現されない	147
イメージが不完全 (下部の一部が印刷されない)	148
イメージの一部が印刷されない	148
一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない	149
描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない	149
線画が段状またはギザギザに表示される	150
線画が二重または間違った色で印刷される	150
線が不連続になる	151
線がぼやけている	151
線の長さが不正確	152
イメージ診断の印刷	152
問題が解決されない場合	154

18 インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング 155

インクカートリッジを挿入できない	156
インクカートリッジのステータス メッセージ	156
プリントヘッドが挿入できない	156
フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される	156
プリントヘッドのクリーニング	157
プリントヘッドドロップ検出器のクリーニング	157
プリントヘッドの軸合わせ	159
プリントヘッドのステータス メッセージ	161

19 一般的なプリンタに関するトラブルシューティング 163

プリンタが起動しない	164
プリンタで印刷ができない	164
プリンタの印刷が遅い	164
コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある	165
HP DesignJet Utility にアクセスできない	165
内蔵 Web サーバにアクセスできない	166
インターネットに接続できない	166
Web サービスの問題	167
ファイルシステムの自動確認	167
アラート	167

20 フロントパネルエラー メッセージ	169
システム エラー ログ	172
21 HP Customer Care	173
はじめに	174
HP プロフェッショナル サービス	174
HP プロアクティブ サポート	175
カスタマー セルフ リペア	175
HP のサポートに問い合わせる	175
22 プリンタの仕様	177
機能の仕様	178
物理的仕様	179
メモリの仕様	179
電源の仕様	180
エコロジーに関する仕様	180
動作環境の仕様	180
動作音に関する仕様	180
用語集	181
索引	184

1 はじめに

- [安全に関する注意事項](#)
- [HP スタートアップキット](#)
- [このマニュアルの使用](#)
- [プリンタの主な機能](#)
- [プリンタの主なコンポーネント](#)
- [フロントパネル](#)
- [プリンタソフトウェア](#)
- [Web サービス](#)
- [プリンタをオン・オフする](#)
- [プリンタの印刷メニュー](#)

安全に関する注意事項

常に以下の注意事項と警告に従って、プリンタを安全に使用してください。このドキュメントで説明されていない操作または手順を実行しないでください。実行すると、死亡、深刻な傷害、または火災の原因となる可能性があります。

メイン接続

- ラベルに示された電源電圧を使用してください。プリンタの電源コンセントに複数のデバイスを接続して、過負荷をかけないようにしてください。過負荷がかかった場合、火災や感電の危険が発生する可能性があります。
- 必ずプリンタを接地してください。プリンタを接地しないと、感電、発火、電磁妨害の影響を受ける可能性があります。
- プリンタ付属の HP が提供する電源コード以外は使用しないでください。電源コードの破損、切断、修理は避けてください。破損した電源コードは、発火や感電の原因となる可能性があります。破損した電源コードは HP 純正の電源コードと交換してください。
- 壁のコンセントとプリンタのソケットに、電源コードをしっかりと奥まで差し込みます。誤って接続すると、火災や感電の危険が発生する可能性があります。
- 濡れた手で電源コードを触らないでください。感電の危険が発生する可能性があります。
- 製品に記載されているすべての警告と指示を守ってください。

プリンタの操作

- 金属または液体 (HP クリーニング キットで使用するものを除く) がプリンタの内部部品に触れないようにしてください。発火、感電、またはその他の重大な事故の原因となる可能性があります。
- 印刷中は、プリンタに手を入れないでください。プリンタ内部の部品を動かすとけがをする可能性があります。
- オフィス、コピー室、印刷室のいずれであっても、換気方法は地域の環境衛生安全 (EHS) ガイドラインおよび規定を満たしている必要があります。
- クリーニングを行うときは、その前に壁から製品の電源コードを抜いてください。

プリンタの保守

- 製品内部には、オペレータが操作可能な部品はありません。修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。[175 ページの HP のサポートにお問い合わせ](#)を参照してください。
- プリンタを分解または修理しないでください。プリンタ内部には危険な電圧がかかっているため、火災や感電の危険が発生する可能性があります。
- 内部のファン ブレードは動く部品で危険です。保守の前にプリンタの接続を解除してください。

注意

次のいずれかの場合には、プリンタの電源をオフにして、電源コンセントから電源コードを抜いてください。

- プリンタから煙が出たり、異様な臭いがする
- プリンタが通常の動作中には発生しない異常なノイズを発生する場合
- 金属や液体 (クリーニングおよび保守手順の一部ではなく) がプリンタの内部部品に触れた場合
- 雷雨時

- 停電時
- 電源コードまたはプラグが損傷した場合
- プリンタを落とした場合
- プリンタが正常に動作しない場合

HP スタートアップキット

HP スタートアップキットは、プリンタに同梱されている DVD です。これにより、プリンタのソフトウェアとマニュアルをインターネットからダウンロードできます。この目的にはアクティブなインターネット接続が必要です。

このマニュアルの使用

この資料は、<http://www.hp.com/go/Z2600/manuals> または <http://www.hp.com/go/Z5600/manuals> からダウンロードできます。

はじめに

この章では、本プリンタを初めて使用するユーザのために、本プリンタおよびマニュアルについて簡単に説明します。

使用方法と保守

これらの章では、通常のプリンタ操作手順を説明します。以下の項目が含まれます。

- [13 ページの「ソフトウェアのインストール」](#)
- [20 ページの「プリンタを設定する」](#)
- [28 ページの「プリンタのカスタマイズ」](#)
- [34 ページの「用紙の取り扱い」](#)
- [51 ページの「2 本のロール紙を使用する \(Z5600 のみ\)」](#)
- [53 ページの「印刷時」](#)
- [69 ページの「Web に接続されている印刷」](#)
- [70 ページの「ジョブキューの管理」](#)
- [77 ページの「カラーマネジメント」](#)
- [85 ページの「実際の印刷の例」](#)
- [100 ページの「プリンタの使用状況に関する情報を取得する」](#)
- [104 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」](#)
- [115 ページの「プリンタを保守する」](#)

トラブルシューティング

これらの章では、印刷中に発生する可能性のある問題の解決策を説明しています。以下の項目が含まれます。

- [126 ページの「用紙に関するトラブルシューティング」](#)
- [139 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)
- [155 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング」](#)
- [163 ページの「一般的なプリンタに関するトラブルシューティング」](#)
- [169 ページの「フロントパネルエラー メッセージ」](#)

アクセサリ、サポート、および仕様

[120 ページの「アクセサリ」](#)、[173 ページの「HP Customer Care」](#)、および [177 ページの「プリンタの仕様」](#) の各章では、カスタマー・ケア、プリンタの仕様、および各種用紙、インク サプライ品、アクセサリの製品番号などに関する参考情報を参照できます。

用語集



[181 ページの用語集](#) には、このマニュアルで使用する印刷および HP 用語の定義が記載されています。

索引

目次の他に、索引を使用してトピックをすぐに見つけることができます。

警告および注意

このマニュアルでは、プリンタを適切に使用して破損を防ぐために、以下の記号が使用されています。これらの記号の付いた指示に従ってください。

-  **警告！** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。
-  **注意：** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、軽度の人身事故またはプリンタの破損につながる恐れがあります。

プリンタの主な機能

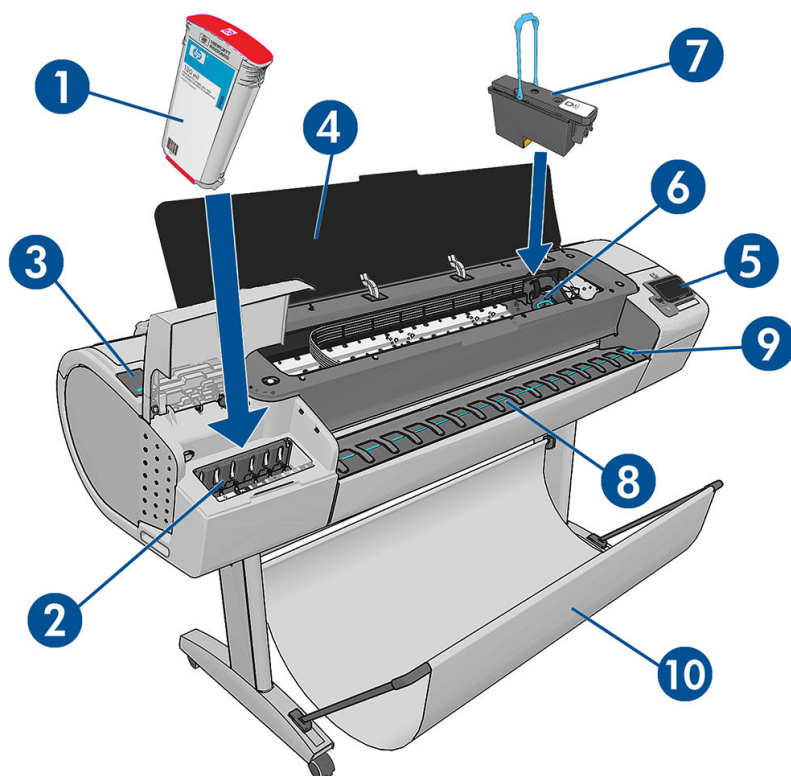
お使いのプリンタは、幅が最大 610 mm (Z2600 プリンタの場合) または最大 (Z5600 プリンタの場合) の用紙に高品質のイメージを印刷するように設計されたカラー インクジェット プリンタです。主な機能を以下に示します。

- 入力時 1200 × 1200dpi のイメージを最大 2400 × 1200dpi の最適化された解像度で印刷 (**[高品質]** 印刷品質オプション、**[高精細]** オプション、およびフォト用紙を使用した場合)
- 内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility を使用して、フロントパネルまたはリモート コンピュータからプリンタを管理可能
- 直観的なグラフィカル ユーザインタフェースを備えた、カラーのタッチセンサー式フロントパネル
- フロントパネルでのジョブのプレビュー
- リモート コンピュータ上のジョブのプレビュー
- 自動ファームウェア更新や HP 電子メール印刷などの Web コネクテッド機能を含む
- ドライブレス印刷: 一般的なグラフィック形式のファイルをプリンタ ドライバを必要とせずに直接印刷が可能。USB フラッシュドライブを挿入するか、プリンタの内蔵 Web サーバを使用するだけです。
- 用紙の適応性と簡単な自動給紙機能 ([34 ページの「用紙の取り扱い」](#)を参照)。情報およびプリセットは、フロントパネルと HP DesignJet Utility から利用できます。
- カット紙およびロール紙の使用
- 6 色インク システム
- 自動カラーキャリブレーションによる、正確で一貫したカラー再現
- 節約して印刷するためのエコノモード
- 2 本のロール紙を同時に取り付けることで (Z5600 のみ)、迅速かつ簡単なロール紙の切り替えと、長時間の無人印刷が可能に
- ジョブのプレビュー、ネスティングなど、HP DesignJet クリック プリンティング ソフトウェアまたはプリンタの内蔵 Web サーバを使用した高生産性を実現する機能
- インクと用紙の使用状況を、内蔵 Web サーバから確認可能 ([29 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照)
- オンラインの HP サポート センターへのアクセス ([174 ページの HP サポート センター](#)を参照)

プリンタの主なコンポーネント

以下のプリンタ前面図および背面図は主なコンポーネントを示します。

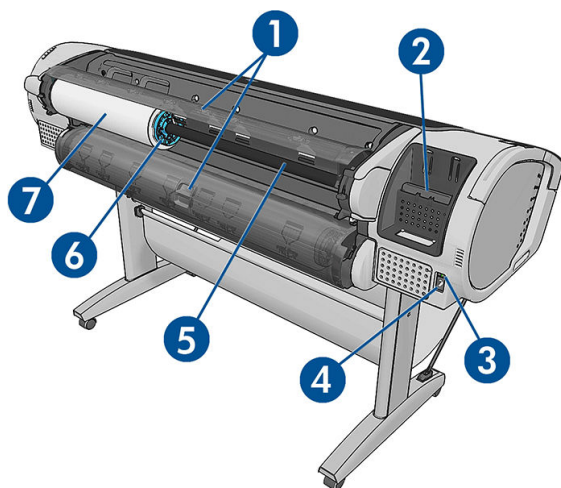
前面図




1. インクカートリッジ
2. インクカートリッジスロット
3. 青いレバー
4. ウィンドウ
5. フロントパネル
6. プrintヘッドキャリッジ
7. プrintヘッド
8. 排紙トレイ
9. 用紙の位置調整線
10. バスケット

背面図

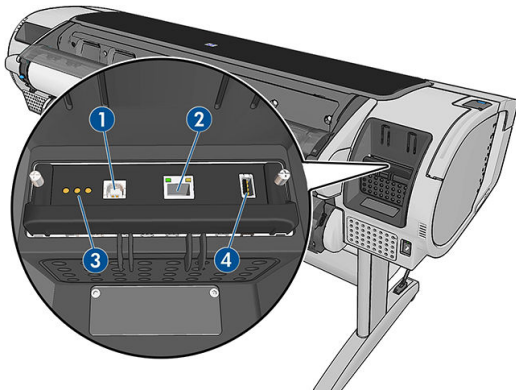
 **注記：**この図は、Z5600 を示しています。



1. ロール紙カバー
2. 通信ポート
3. 電源スイッチ
4. 電源ソケット
5. スピンドル
6. スピンドルストッパ
7. ロール紙

 **注記：**上のロール紙がロール1で、下のロール紙がロール2です。

通信ポート

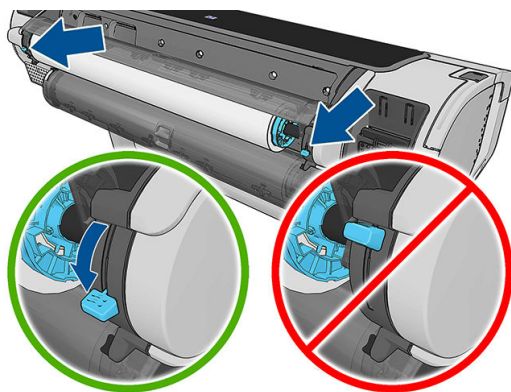


1. 高速 USB デバイスポート (Z2600 または Z5600 では利用不可)
2. ギガビットイーサネットポート (ネットワーク接続用)
3. 診断 LED (サービスエンジニアが使用)
4. 高速 USB ホストポート (アクセサリ接続用)

プリンタの反対側で、フロントパネルのそばに、USB フラッシュドライブ接続用の別の高速 USB ホストポートがあります。

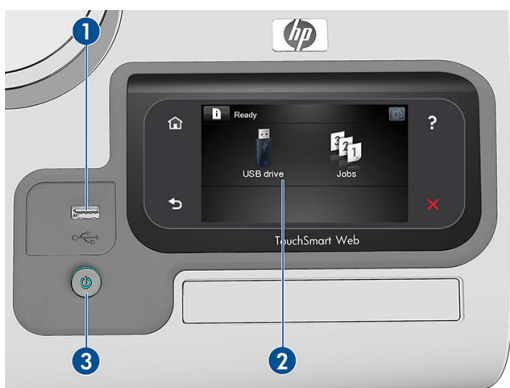
ウォールスペーサ


プリンタの背面を壁に向けて配置する場合、プリンタの背面にある2つのウォールスペーサを下げ、プリンタの背面と壁の最小限の距離を確保します。確保しない場合、拡張精度の問題が発生する可能性があります。



フロントパネル

フロントパネルは、プリンタ前面の右側にあります。ここでは、プリンタを完全に管理することができます。フロントパネルから、印刷、プリンタに関する情報の表示、プリンタ設定の変更、キャリブレーションおよびテストの実行などを行えます。必要に応じて、フロントパネルにアラート(警告やエラーメッセージ)も表示されます。









1. 高速 USB ホスト ポート (印刷対象のファイルが格納された USB フラッシュドライブの接続用)。USB フラッシュドライブが挿入されると、USB アイコン  がフロントパネルのホーム画面に表示されます。
2. フロントパネル自体。グラフィカルユーザインターフェースを備えたタッチセンサー式画面。
3. 電源ボタン。プリンタの電源のオンとオフを切り替えることができます。プリンタの電源がオンの場合、ボタンが点灯します。プリンタの電源のオンとオフが切り替わる間は、ボタンが点滅します。



フロントパネルには、動的な情報およびアイコンを表示するための大きな中央領域があります。左側および右側にある 6 つの固定アイコンをそれぞれ別々に表示できます。通常は、同時にすべては表示されません。







左右の固定アイコン



-  を押すと、ホーム画面に戻ります。
-  を押すと、現在の画面に関するヘルプが表示されます。
-  を押すと、前の項目に移動します。
-  を押すと、次の項目に移動します。

-  を押すと、前の画面に戻ります。これにより、現在の画面で行った変更が破棄されることはありません。
-  を押すと、現在のプロセスをキャンセルします。

ホーム画面の動的なアイコン

以下の項目は、ホーム画面にのみ表示されます。

-  を押すと、プリンタのステータスに関する情報の表示、プリンタ設定の変更、用紙の取り付けやインク サプライ品の交換などの操作の開始を実行できます。実行する必要がある操作がある場合には、小さな警告アイコンが表示されます。
- 上記のボタンの右側には、プリンタのステータスまたは最重要な現在のアラートを表示するメッセージがあります。このメッセージを押すと、現在のすべてのアラートのリストが表示されます。各アラートには重要度を示すアイコンが付いています。
-  を押すと、プリンタの電子メールアドレスが表示されます。このアドレスにファイルを送信すると印刷できます。
-  を押すと、USB フラッシュ ドライブからファイルが印刷されます。[53 ページの「印刷時」](#)を参照してください。
-  を押すと、USB フラッシュ ドライブに関する情報を表示します。このアイコンは、1 つまたは複数の USB フラッシュ ドライブが挿入されている場合にのみ表示されます。
-  を押すと、ジョブ キューを表示および管理します。保留中のジョブがある場合には、小さな警告アイコンが表示されます。[70 ページの「ジョブキューの管理」](#)を参照してください。
- PostScript または PDF ジョブの実行中は、表示されている Adobe PDF アイコン  を押しても無効になります。

プリンタがしばらくの間アイドル状態のままの場合、スリープモードに移行して、フロントパネルの画面がオフに切り替わります。スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[フロントパネルオプション]-[スリープモード待ち時間]** を選択します。1～240 分に設定できます。デフォルトの時間は 20 分です。

外的操作が行われると、プリンタはスリープモードから起動して、フロントパネルの表示がオンに切り替わります。

フロントパネルの特定の使用方法についての詳細は、このマニュアルで順を追って説明します。


プリンタソフトウェア

このプリンタには、以下のソフトウェアが付属しています。

- Windows 用 PostScript、PCL3、および HP-GL/2 ドライバ
- Mac OS X 用 PostScript および PCL3 ドライバ
- 内蔵 Web サーバおよび (または) HP DesignJet Utility を使用して、以下を実行できます。

- リモートコンピュータからプリンタの管理
- インクカートリッジ、プリントヘッド、および用紙のステータスの表示
- HP サポートセンターへのアクセス ([174 ページの HP サポートセンター](#)を参照)
- プリンタのファームウェアのアップデート ([117 ページのファームウェアをアップデートする](#)を参照)
- キャリブレーションおよびトラブルシューティングの実行
- 印刷ジョブの提示
- ジョブキューの管理 ([70 ページの「ジョブキューの管理」](#)を参照)
- アカウンティング情報の表示 ([100 ページの「プリンタの使用状況に関する情報を取得する」](#)を参照)
- さまざまなプリンタ設定の変更
- 電子メール通知の管理
- アクセス許可とセキュリティ設定の変更

[29 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)および[29 ページの HP DesignJet Utility へのアクセス](#)を参照してください。

 **注記:** 新しいバージョンのすべてのプリンタ ソフトウェアは、随時サポートされる予定です。場合によっては、プリンタを受け取った時点で、以降のバージョンの一部のプリンタ ソフトウェアを HP の Web サイトから入手できる場合があります。

Web サービス


プリンタは、Web に接続するとさまざまなメリットがあります。


- 自動ファームウェア アップデート ([117 ページのファームウェアをアップデートする](#)を参照)
- 印刷するファイルが添付ファイルとして付属した電子メール メッセージをプリンタに送信することで、そのプリンタで印刷します。PDF、TIFF、および JPG ファイルがサポートされています。

これらのメリットを活用するには、プリンタがインターネットに接続されている必要があります。

最新情報については、<http://www.hpconnected.com> を参照してください。

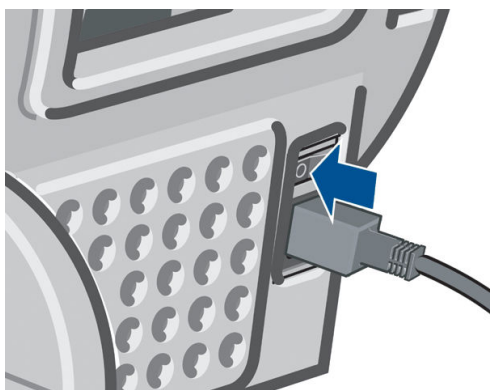
プリンタをオン・オフする

 **ヒント:** 電源を入れたままでも消費電力を抑えることができます。電源をオンのままにすることにより、応答時間とシステム全体の信頼性が向上します。一定時間(デフォルトの時間は Energy Star によって指定される)使用しない場合、プリンタはスリープモードに移行して電力を節約します。ただし、プリンタのフロントパネルの表示で何らかの操作を行うか、新しい印刷ジョブを送信すると、直ちにアクティブモードに戻り、印刷を再開することができます。スリープモード時間を変更するには、[30 ページのスリープモード設定を変更する](#)を参照してください。

 **注記:** スリープモードでは、プリンタは随時プリントヘッドの保守サービスを実行します。これにより、長時間のアイドルング後に印刷の準備を長時間実行する必要がなくなります。このため、インクと時間を節約するために、プリンタの電源をオンにするかスリープモードにしておくことを強くお勧めします。

プリンタの電源をオンまたはオフにしたり、プリンタをリセットする場合は、通常はフロントパネルの電源ボタンを使用することを推奨します。

ただし、プリンタを長期間保管する場合、または電源ボタンが動作しない場合は、背面の電源スイッチで電源を切ることを推奨します。



電源を入れ直すには、背面の電源スイッチを使用します。

プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約3分かかります。プリントヘッドの準備には、約1分15秒かかります。ただし、プリンタを6週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大45分かかることがあります。

プリンタの印刷メニュー

印刷メニューには、プリンタに関するさまざまな情報が表示されます。フロントパネルから呼び出すことができます。

印刷メニューを呼び出す前に、プリンタと用紙の印刷準備ができていることを確認します。

- 幅がA3横置き(420mm)以上の用紙を使用してください。それより小さい用紙では、イメージの一部が印刷されないことがあります。
- フロントパネルには、「印刷可能です」というメッセージが表示されている必要があります。

印刷メニューを印刷するには、 を押し、次に  を押して、[印刷メニュー]にスクロールしてそれをクリックし、必要な印刷メニューを選択します。以下の印刷メニューを使用できます。

- [デモ印刷](プリンタの機能の一部が表示されます):
 - － [ファインアート デモ印刷]
 - － [リテール デモ印刷 1]
 - － [リテール デモ印刷 2]
 - － [描画デモ印刷]
 - － [GIS マップ印刷]
- [ユーザ情報の印刷]:
 - － [使用状況レポートの印刷]: 印刷の合計数、用紙の種類別の印刷部数、印刷品質オプション別の印刷部数、および色ごとに使用されるインクの合計量を表示します(これらの推定値の正確性につきましては保証されていません)。
 - － [HP-GL/2 パレットの印刷]: 現在選択されているカラーパレットのカラー定義またはグレースケール定義を表示します。
 - － [PS フォント一覧の印刷]: 使用可能な PostScript フォントを表示します。
- [サービス情報の印刷]: サービスエンジニアが必要とする情報を表示します。


2 ソフトウェアのインストール


- [使用する接続方法を選択する](#)
- [ネットワークにプリンタを接続する](#)
- [ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する\(Windows の場合\)](#)
- [プリンタソフトウェアをアンインストールする\(Windows の場合\)](#)
- [ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する\(Mac OS X の場合\)](#)
- [プリンタソフトウェアをアンインストールする\(Mac OS X の場合\)](#)
- [HP DesignJet クリック プリンティングソフトウェアを使用した 1 クリック印刷のセットアップ](#)

使用する接続方法を選択する

プリンタを接続するには、以下の方法を使用できます。



接続の種類	速度	ケーブルの長さ	その他
ギガビットイーサネット	超高速：ネットワークのトラフィックにより、速度は異なります。	長：100m	追加の機材（スイッチ）が必要
Jetdirect プリントサーバ（別売オプション）	中速：ネットワークのトラフィックにより、速度は異なります。	長：100m	追加の機材（スイッチ）が必要 追加機能を提供します。 詳細については、 http://www.hp.com/go/jetdirect を参照してください。

 **注記：** このプリンタには、ネットワーク接続用の RJ-45 コネクタ ポートが 1 つ 装備されています。 In order to meet Class A limits, the use of shielded I/O cables is required.



 **注記：** ネットワーク接続速度は、ネットワーク上のすべてのコンポーネントに左右されます。これには、ネットワークインタフェースカード、ルータ、スイッチ、ケーブルなどがあります。コンポーネントのいずれかが高速で処理を行えない場合、接続速度は遅くなります。また、ネットワーク上の他のデバイスから送信される総トラフィック量も、接続速度に影響を与えます。

ネットワークにプリンタを接続する




プリンタは、同一ネットワークのすべてのコンピュータと同様の方法で、ほとんどのネットワークに対して自動的に設定されます。ネットワークに初めて接続する場合は、この処理に数分かかる場合があります。



プリンタに動作しているネットワーク設定がある場合は、フロントパネルからネットワークアドレスを確認できます。  を押し、次に  を押します。

ネットワーク設定

現在のネットワーク設定の詳細については、フロントパネルで、  を押し、次に  を押して、

[接続]-[ネットワーク接続]-[ギガビットイーサネット]-[設定の変更] を選択します。または、Jetdirect の場合、[接続]-[ネットワーク接続]-[Jetdirect EIO]-[設定の変更] を選択します。ここでは、通常は必要ありませんが、設定を手動で変更することができます。これは、内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility を使用して行うこともできます。

 **ヒント：** 完全なプリンタのネットワーク設定を紙に印刷しておいた方が役立つ場合があります。これはフロントパネルから行うことができます。  を押し、次に  を押して、[印刷メニュー]-[サービス情報の印刷]-[接続設定の印刷] を選択します。完全なネットワーク設定を印刷しない場合は、プリンタの IP アドレスおよびネットワーク名をメモしておいてください。

プリンタのネットワーク設定が間違っている場合、フロントパネルからネットワーク設定を工場出荷時の値に戻すことができます。  を押し、次に  を押して、[接続]-[ネットワーク接続]-[ギガビットイーサネット]-[工場出荷時の設定に戻す] を選択します。または、Jetdirect の場合、[接続]-[ネットワーク接続]-[Jetdirect EIO]-[工場出荷時の設定に戻す] を選択します。次に、プリンタを再起動する

必要があります。これにより、ほとんどのネットワークに対して動作するネットワーク設定が自動的に提供されます。プリンタの他の設定は変わりません。

IPv6 を使用する

このプリンタは、IPv4 と同様に、IPv6 を使用したほとんどすべてのネットワーク接続機能をサポートしています。IPv6 を十分に活用するには、IPv6 ルータおよびサーバがある IPv6 ネットワークに、プリンタを接続する必要があります。

ほとんどの IPv6 ネットワークでは、プリンタは次のように自動的に設定され、ユーザが設定する必要はありません。


1. プリンタは自分自身にリンク ローカル IPv6 アドレス（「fe80::」 で開始する）を割り当てます。
2. プリンタは自分自身に、ネットワーク上の IPv6 ルータによって示される、ステートレス IPv6 アドレスを割り当てます。
3. ステートレス IPv6 アドレスを割り当てられない場合、プリンタは DHCPv6 を使用して IPv6 アドレスを取得しようとします。ルータがそれを行うように指示する場合にも、それを行います。

ステートレスおよび DHCPv6 IPv6 アドレスは、プリンタにアクセスするために使用することができ、ほとんどの IPv6 ネットワークにこれは適しています。

リンクローカル IPv6 アドレスは、ローカル サブネットでのみ動作します。このアドレスを使用してプリンタにアクセスできますが、推奨されません。

フロントパネルまたは内蔵 Web サーバを使用して、プリンタに手動で IPv6 アドレスを割り当てることができます。また、プリンタで IPv6 を完全に無効にすることもできます。ただし、プリンタで IPv4 を無効にすることはできませんので、IPv6 専用としてプリンタを設定することはできません。

 **注記：** 通常の IPv6 の使用では、プリンタに複数の IPv6 アドレスを設定できますが、IPv4 アドレスは 1 つしか設定できません。

 **ヒント：** 一般的に、特に IPv6 を使用する必要性がない場合は、IPv4 を使用する方が簡単です。

現在の PC オペレーティングシステムと HP プリンティング&イメージング デバイスのほとんどでは、デフォルトで IPv6 が有効になっています。

IPSec を使用する

このプリンタは IPSec をサポートしています。

ただし、正しい IPSec 設定には、高度なネットワークに関する専門知識が必要で、それはこのドキュメントの範囲を超えています。IPSec が動作するためには、プリンタの IPSec 設定が、ネットワークの他のデバイスの設定と正確に一致する必要があります。矛盾がある場合は、設定が修正されるか、IPSec が無効になるまで、プリンタと通信できません。IPSec の設定についての詳細は、<http://www.hp.com/go/Z2600/manuals> または <http://www.hp.com/go/Z5600/manuals> から [IPsec_Admin_Guide.pdf](#) をダウンロードしてください。

ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する (Windows の場合)

以下の指示は、プリンタドライバを使用して、ソフトウェアアプリケーションから印刷する場合に該当します。別の印刷方法については、[53 ページの「印刷時」](#)を参照してください。

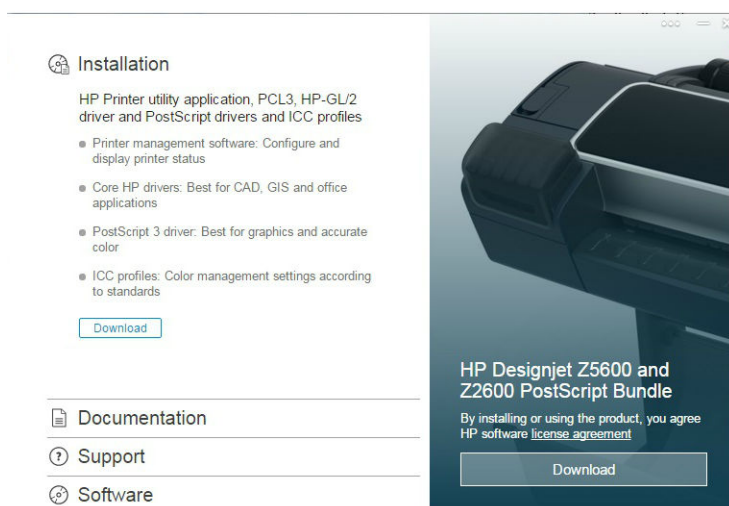
手順を実行する前に、以下のことを確認します。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネットスイッチまたはルータの電源が入っていて、正常に動作している。
- プリンタとコンピュータがネットワークに接続されている([14 ページのネットワークにプリンタを接続する](#)を参照)。

上記を確認したら、プリンタソフトウェアをインストールしてプリンタに接続できます。

プリンタソフトウェアをインストールする

1. フロントパネルに表示されるプリンタの IP アドレスをメモしておいてください ([29 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照)。
2. コンピュータに HP スタートアップキット DVD を挿入します。
3. 画面に表示されたウィンドウで、**[ダウンロード]**をクリックします。HP DesignJet Z2600 ドライバと Z5600 ドライバの Web ページが表示されます。



4. Web ブラウザで、Windows または Mac OS X のソフトウェアを選択し、インストールする特定のソフトウェア (デフォルトではすべてのソフトウェア) を選択する必要があります。

このドライバも、<http://www.hp.com/go/Z2600-Z5600/drivers> からダウンロードできます。

コンピュータがネットワーク上でプリンタを検出できない場合は、**[プリンタが見つかりません]**ウィンドウが表示されます。このウィンドウでプリンタの検出を再試行できます。ファイアウォールが有効になっている場合、プリンタを検出するために、ファイアウォールを一時的に無効にする必要があることがあります。プリンタのホスト名、IP アドレス、または MAC アドレスによってプリンタを検出するオプションもあります。

プリンタがコンピュータと同じサブネットにない場合には、プリンタの IP アドレスを指定することが唯一の方法であることがあります。

プリンタソフトウェアをアンインストールする(Windows の場合)

他のソフトウェアをアンインストールする場合と同じ方法で、コントロールパネルを使用してソフトウェアをアンインストールします。

ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する(Mac OS X の場合)

Mac OS X 環境でプリンタをネットワークに接続する場合、以下の方法を使用できます。

- Bonjour
- TCP/IP

 **注記** : このプリンタは AppleTalk をサポートしていません。


以下の指示は、プリンタドライバを使用して、ソフトウェアアプリケーションから印刷する場合に該当します。別の印刷方法については、[53 ページの「印刷時」](#)を参照してください。

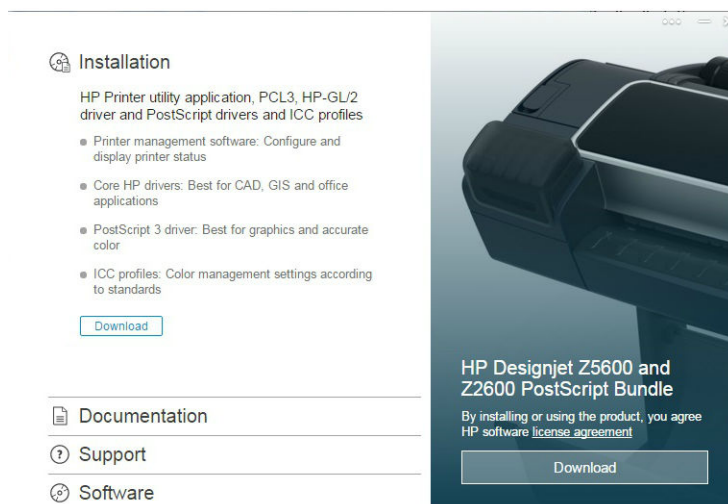
手順を実行する前に、以下のことを確認します。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネットスイッチまたはルータの電源が入っていて、正常に動作している。
- プリンタとコンピュータがネットワークに接続されている([14 ページのネットワークにプリンタを接続する](#)を参照)。

上記を確認したら、プリンタソフトウェアをインストールしてプリンタに接続できます。

Bonjour または TCP/IP 接続

1. フロントパネルで、 を押します。プリンタの mDNS サービス名をメモします。
2. コンピュータに HP スタートアップキット DVD を挿入します。
3. デスクトップの DVD アイコンを開きます。
4. 画面に表示されたウィンドウで、**[ダウンロード]** をクリックします。HP DesignJet Z2600 ドライバと Z5600 ドライバの Web ページが表示されます。



5. Web ブラウザで、Windows または Mac OS X のソフトウェアを選択し、インストールする特定のソフトウェア(デフォルトではすべてのソフトウェア)を選択する必要があります。
6. プリンタドライバがインストールされた後、HP DesignJet Utility セットアップアシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。画面の指示に従います。

7. [デバイスの追加] 画面が表示されたら、[プリンタ名] 列にあるプリンタの mDNS サービス名 (手順 1 でメモした名前) を検索します。

正しい名前を検出した場合、必要に応じて横方向にスクロールして[接続方法]列を表示し、それが **Bonjour** を示していることを確認します。次に、その行をハイライトします。それ以外の場合は、リストの下方方向への検索を続けます。

[**続行**]をクリックします。


8. 画面の指示に従って続行します。別のプリンタをネットワークに接続する場合は、[戻る]をクリックして[デバイスの追加]画面に戻ります。[概要]画面が表示されたら、[完了]をクリックして終了します。
9. HP DesignJet Utility セットアップアシスタントが終了したら、コンピュータから DVD を取り出します。

プリンタドライバがすでにインストールされている場合は、HP DesignJet Utility のセットアップアシスタントを DVD からいつでも実行できます。

このドライバも、<http://www.hp.com/go/Z2600-Z5600/drivers> からダウンロードできます。

プリンタソフトウェアをアンインストールする(Mac OS X の場合)

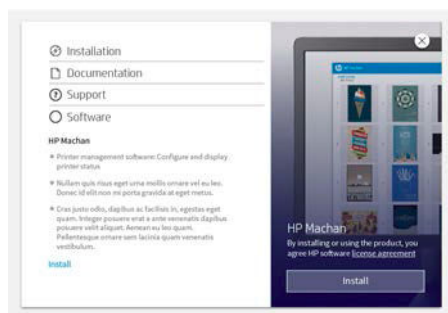
インストール手順では、HP アンインストーラ アプリケーションをシステムにインストールするオプションがあります。これは、システムのアプリケーションフォルダー内の HP の下にあります。

 **重要:** HP アンインストーラ アプリケーションは、システムにインストールされているすべての HP ソフトウェアをアンインストールします。


印刷キューのみを削除するには、システム環境設定から、[印刷とスキャン]ダイアログボックスを選択します。プリンタ名を選択して、[-] ボタンをクリックします。

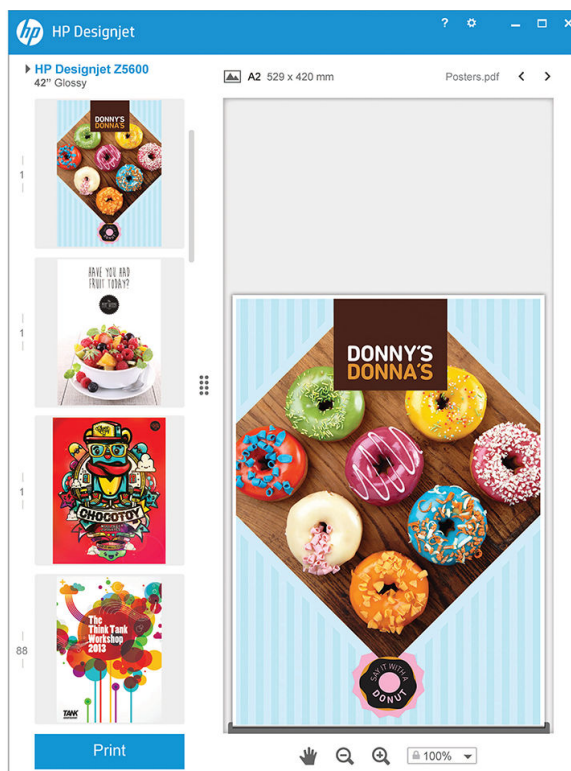
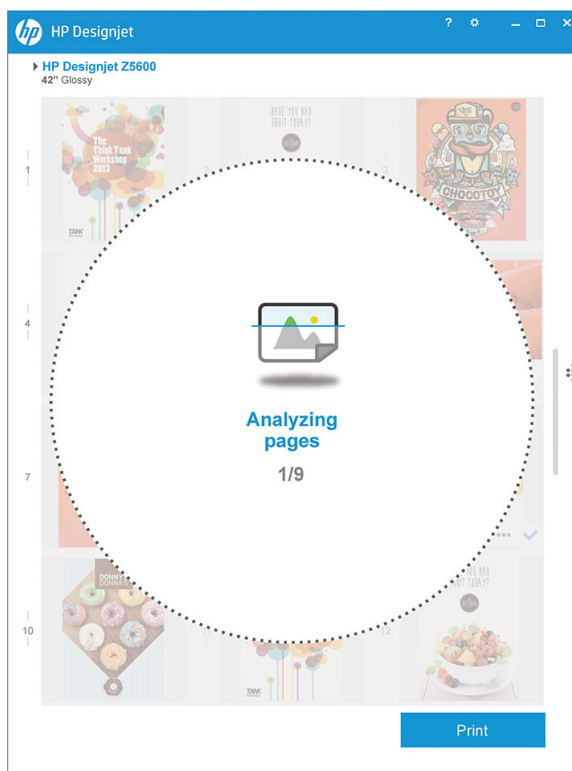
HP DesignJet クリック プリンティングソフトウェアを使用した 1 クリック印刷のセットアップ

ソフトウェアのインストール時、HP DesignJet クリック プリンティングソフトウェアをダウンロードするオプションがあります。Windows および Mac OS X の両方で使用可能なこのアプリケーションにより、印刷作業が大幅に簡素化されます。



プリンタを自動検出した後、リアルタイム印刷プレビューとエラーチェックを使用して再印刷を回避することにより、PDF、JPEG、TIFF、および HP-GL/2 ドキュメントをすばやく準備できます。

 **ヒント:** 自動ネスティングを行うと、用紙の使用量を最適化し、コストを削減することができます。



HP DesignJet クリック プリンティングソフトウェアは、<http://www.hp.com/go/designjetclick> からダウンロードすることもできます。

3 プリンタを設定する

- [はじめに](#)
- [Web 接続プリンタを設定する](#)
- [Web サービス手動設定](#)
- [用紙適合性オプション](#)
- [ネスティングをオン/オフにする](#)
- [使用状況に関する情報をオン/オフにする](#)
- [電子メール通知をオン/オフにする](#)
- [アラートをオン/オフにする \(Windows のみ\)](#)
- [プリンタへのアクセスを制御する](#)
- [アカウント ID を要求する](#)
- [Windows ドライバの環境設定を設定する](#)

はじめに



この章では、プリンタの組み立てが完了し、使用可能になり次第、プリンタの管理者が制御できるさまざまなプリンタ設定について説明します。

Web 接続プリンタを設定する

インターネットに接続すると、次の Web サービスを活用することができます ([11 ページの Web サービス](#)も参照)。


- 自動ファームウェアアップデート
- HP ePrint を使用して電子メールにより印刷する

プリンタを Web サービスから設定するには、以下で詳しく説明する手順に従います。

1. プリンタがインターネットに正しく接続されていることを確認します。
2. 接続ウィザードを実行します。フロントパネルで、 を押し、次に  を押して、[接続]-[接続ウィザード] を選択します。

メニューで [接続ウィザード] が見つからない場合は、ファームウェアを更新してもう一度試してください。

ウィザードで新しいファームウェアがダウンロードされたら、プリンタを再起動する必要がある場合があります。

 **ヒント:** ウィザードにプリンタ コードと電子メールアドレスが表示された場合、メモしておくことをお勧めします。

3. プリンタ管理者の場合は、HP Connected (<http://www.hpconnected.com>) からログインして、プリンタ電子メールアドレスをカスタマイズできます。

おめでとうございます。Web サービスの設定が完了しました。HP ePrint を使用できます。


HP Connected の最新情報、サポート、および使用条件については、<http://www.hpconnected.com> を参照してください (地域によっては利用できない場合があります)。



Web サービス手動設定

Web サービスを設定するには、通常接続ウィザード ([21 ページの Web 接続プリンタを設定する](#)を参照) で十分ですが、必要に応じて手動設定機能も用意されています。

プリンタのインターネット接続の設定

内蔵 Web サーバまたはフロントパネルからプリンタのインターネット接続を設定できます。

 **注記:** 管理者パスワードが設定されている場合は、以下の設定を変更する必要があります。したがって、管理者は必要に応じてプリンタがインターネットに接続されないようにすることができます。

- 内蔵 Web サーバの場合：[セットアップ]-[インターネット接続] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： を押し、次に  を押して、[接続]-[インターネット接続] を選択します。


以下の設定があります。



- **[インターネット接続の有効化]**：デフォルト値は、**[はい]**です。
- **[プロキシ]-[プロキシの有効化]**：プロキシサーバを有効または無効にします。
- **[プロキシ]-[アドレス]**：プロキシアドレスを入力します。デフォルトは空です。
- **[プロキシ]-[プライマリポート]**：プロキシポート番号を入力します。デフォルトはゼロです。
- **[プロキシ]-[工場出荷時の設定に戻す]**：初期のデフォルト設定に戻します。

インターネット接続で問題がある場合は、[166 ページのインターネットに接続できない](#)を参照してください。

ファームウェアのアップデートを設定する


内蔵 Web サーバまたはフロントパネルから、ファームウェアのアップデートをダウンロードするかどうかとその方法を選択できます。

 **注記**：管理者パスワードが設定されている場合は、以下の設定を変更する必要があります。

- **内蔵 Web サーバの場合**：**[セットアップ]>[ファームウェアのアップデート]**を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**： を押し、次に  を押して、**[アップデート]-[ファームウェアのアップデート]**を選択します。



以下の設定があります。

- **[確認]**：**[自動]**(デフォルト設定)を選択した場合、プリンタは毎週(または、プリンタが先に7回再起動した場合はこの後に)自動的に新しいファームウェアが入手可能かどうかを確認します。**[手動]**を選択した場合、プリンタは自動的に確認しません。いつでも手動で確認できます。
- **[ダウンロード]**：**[自動]**(デフォルト設定)を選択した場合、プリンタは新しいファームウェアが利用可能になると自動的にダウンロードします。**[手動]**を選択した場合、ダウンロードのたびに承認が求められます。

 **注記**：ファームウェアをダウンロードしても、プリンタにインストールされるわけではありません。新しいファームウェアをインストールするには、インストールを手動で確認する必要があります。

- **[ファームウェア アップデート情報]**：現在インストールされているファームウェアに関する情報
- **[ファームウェアのアップデート履歴]**：プリンタにインストールされた過去のファームウェアバージョンの一覧です。現在のバージョンに問題がある場合は、現在インストールされているバージョンの直前のバージョンを再インストールすることが通常可能です。

リモート印刷の環境設定

フロントパネルで、 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[印刷設定]**を選択し、リモートの場所からプリンタに送信されたジョブのデフォルト プロパティを定義します。

- **[プリンタのマージン]**：**[コンテンツからクリップ]**と**[コンテンツに追加]**のいずれかを選択します。
- **[カラー]**：**[カラー]**および**[グレースケール]**印刷のいずれかを選択します。
- **[印刷品質]**：**[高品質]**、**[標準]**、および**[高速]**のいずれかを選択します。

- **[ロール]**: **[ロール 1]**、**[ロール 2]** (Z5600 のみ)、および **[用紙の節約]** (印刷内容がぴったり合う、最も幅の狭いロールが自動的に選択されます) のいずれかを選択します。
- **[ジョブ]**: **[保留]** および **[ダイレクト印刷]** のいずれかを選択します。デフォルトでは、クラウドのジョブは **[保留]** です。**[ダイレクト印刷]** を選択した場合、フロントパネルには許可を求めるメッセージが表示されません。





用紙適合性オプション

用紙が一致しない場合の動作

現在プリンタに取り付けている用紙が特定のジョブに適していない場合、プリンタは、適合する用紙が取り付けられるまでジョブを保留にするか、その問題を無視して、適合しない用紙にジョブを印刷します。取り付けられた用紙を不適合と見なす方法は次のとおりです。



- 用紙の種類がジョブに指定したものと異なる
- ジョブに対して給紙方法 (ロール紙 1、ロール紙 2、カット紙) が指定されていない。
- 用紙のサイズがジョブに指定したものより小さい

このような場合のプリンタの動作はフロントパネルから設定できます。


- このようなジョブを取り付けられている用紙の種類に関係なく印刷するようにする場合は、 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[ジョブ管理オプション]-[用紙が一致しない場合の動作]-[そのまま印刷をする]** を選択します。ソフトウェアアプリケーションまたは内蔵 Web サーバから印刷する場合、これがデフォルトです。ただし、USB フラッシュドライブから印刷される場合、およびコピーする場合には無視されます。
- このようなジョブを保留にする場合は、 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[ジョブ管理オプション]-[用紙が一致しない場合の動作]-[ジョブを保留にする]** を選択します。ジョブが保留になると、プリンタはアラートを送信します。


ジョブが用紙の保留状態になると、そのジョブは、適合する用紙が取り付けられるまでプリンタキューに置かれます (この場合、適合する用紙の種類を待機しているすべてのジョブは印刷可能です)。これに対し、別の要件の他のジョブは印刷を続行できます。

ロール紙切替オプション (Z5600 のみ)

2つのロール紙が取り付けられていて、両方ともジョブに適している場合は、環境設定に従ってロール紙が選択されます。これらは、フロントパネルから設定できます。 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[印刷設定]-[用紙オプション]-[ロール紙切替オプション]**。

- **[ロール紙の消費を最小化]**: このオプションを選択すると、トリムによって用紙が無駄にならないように、すべての条件を満たす中で最も幅の狭いロール紙が選択されます。これはデフォルトのオプションです。
- **[ロール紙の変更を最小化]**: このオプションを選択すると、ロール紙の切り替えに要する時間を節約するために、現在アクティブなロール紙が選択されます。
- **[用紙の少ないロール紙を使用]**: このオプションを選択すると、最も用紙の少ないロールが選択されます。

 **注記**: このオプションは、**[用紙情報の印刷]** をオンにしている場合にのみ有効です ([48 ページの用紙情報の印刷](#)を参照)。それ以外の場合の効果は、**[ロール紙の消費を最小化]** と同じです。



 **注記**：1つのロール紙から別のロール紙に切り替えるには、プリンタで有効なロール紙をカットする必要があります。そのため、有効なロール紙を自動カッターでカットできない場合、自動的なロール紙切替は実行できません。

ネスティングをオン/オフにする

ネスティングとは、イメージやドキュメントのページを1つずつ連続してではなく、可能であれば、自動的に1枚の用紙に並べて印刷することです。これにより、用紙を節約することができます。



[65 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する](#)を参照してください。

ネスティングをオン/オフするには、まずジョブキューが有効であること ([72 ページのジョブのキューをオフにする](#)または[76 ページのジョブのキューをオフにする](#)を参照) と、印刷の開始が **[処理後]** に設定されていること ([70 ページのキュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する](#)または[74 ページのキュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する](#)を参照)を確認します。そして次のようにします。

- HP DesignJet Utility (Windows)の場合：[設定]-[ジョブ管理]-[ネスティング]を選択します。
- HP DesignJet Utility (Mac OS X)の場合：[プリンタ設定]-[プリンタ設定の構成]-[ジョブ管理]-[ネスティング]を選択します。
- 内蔵 Web サーバの場合：[セットアップ]-[プリンタ設定]-[ジョブ管理]-[ネスティング]を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[ジョブ管理]-[ネスティングの設定]-[ネスティングの有効化]を選択します。

いずれの場合でも、以下のオプションを選択できます。

- **[通常の順序]**：プリンタに送信された順にページがネスティングされます。ネスティングされたページは、以下の3つの条件のうちの1つが満たされると、ただちに印刷されます。
 - 次のページが、ネスティングされたページと同じ行に入らない場合。
 - 指定した待ち時間の間、ページがプリンタに送信されなかった場合。
 - 次のページと、既にネスティングされたページとの互換性がない場合 ([65 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する](#)を参照)。
- **[最適化された順序]**：必ずしもプリンタに送信された順にページがネスティングされるわけではありません。互換性がないページが送信された場合は保留状態となり、互換性があるページが送信されるまで待ってネスティングを完了します。ネスティングされたページは、以下の3つの条件のうちの1つが満たされると、ただちに印刷されます。
 - 次のページが、ネスティングされたページと同じ行に入らない場合。
 - 指定した待ち時間の間、ページがプリンタに送信されなかった場合。
 - 互換性がないページのキューが満杯の場合。プリンタは互換性のあるページをネスティング中に、互換性のないページを最大6ページまでキューイングできます。プリンタは、互換性がないページを7ページ受信すると、ネスティングされたページをそのまま印刷します。
- **[オフ]**：ネスティングは無効です。これはデフォルトのオプションです。

ネスティングの待ち時間は、フロントパネルで設定できます。 を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[ジョブ管理]-[ネスティングの設定]-[待ち時間の選択]を選択します。

※ **ヒント**：[最適化された順序]では、最低限の量の用紙が使用されます。ただし、プリンタが互換性のあるページの到着を待機するため、印刷にかかる時間が長くなることがあります。

使用状況に関する情報をオン/オフにする

プリンタは、使用状況に関する情報を電子メールで定期的送信することができます。以下がその手順です。

- HP DesignJet Utility (Windows)の場合：[設定]-[アカウントिंग]を選択します。
- HP DesignJet Utility (Mac OS X)の場合：[プリンタ設定]-[プリンタ設定の構成]-[アカウントिंग]を選択します。
- 内蔵 Web サーバの場合：[セットアップ]>[プリンタ設定]>[アカウントिंग]を選択します。

いずれの場合も、以下のオプションを設定してください。

- [アカウントिंगファイルの送信]：[オン](デフォルトは[オフ])
- [アカウントिंगファイルの送信]：有効な電子メールアドレス
- [アカウントिंगファイルの送信頻度]：日数(1～60)または印刷回数(1～500)を選択

電子メールサーバが設定されていることも確認してください。内蔵 Web サーバを使用して電子メールサーバを設定するには、[セットアップ]-[電子メールサーバ]を選択し、以下のフィールドに入力します。

- [SMTP サーバ]：プリンタから送信されるすべての電子メールメッセージを処理する送信メールサーバ(SMTP)のIPアドレス。メールサーバが認証を必要とする場合、電子メール通知は機能しません。
- [プリンタの電子メールアドレス]：プリンタから送信される各電子メールメッセージには、返信用アドレスを含める必要があり、このアドレスは実際には機能しなくても、固有のアドレスである必要があります。メッセージの受信者が送信元のプリンタを識別できるようにするためです。

電子メール通知をオン/オフにする

電子メール通知をプリンタから受信するには、電子メールサーバを設定する必要があります(25 ページの[使用状況に関する情報をオン/オフにする](#)を参照)。

特定の電子メール通知をオンまたはオフにするには、内蔵 Web サーバの[セットアップ]タブから、[通知]を選択します。

アラートをオン/オフにする (Windows のみ)

プリンタのアラートは、操作を実行することで解決できるプリンタの問題が存在したり、いずれかの印刷ジョブのステータスが変更されたときに警告します。アラートは、プリンタのフロントパネル、HP DesignJet Utility、プリンタドライバ、および内蔵 Web サーバによって表示されます。

表示したいアラートの種類がある場合は、プリンタにそれを指定できます。アラートの設定にアクセスするには、以下の手順に従います。



- HP DesignJet Utility (Windows) の [デバイス一覧] ページで、[アラート設定]を選択します。
- HP DesignJet Utility (Windows) により表示されるアラート ページで、[アラート設定]を選択します。
- HP DesignJet Utility (Windows) のシステムトレイアイコンを右クリックし、[アラート設定]を選択します。

設定は、以下の方法で変更できます。


- すべてのアラートをオンまたはオフにする
- ジョブステータスのアラートをオンまたはオフにする
- プリンタの印刷を停止させる問題に関連したアラートをオンまたはオフにする
- プリンタの印刷を停止させない問題に関連したアラートをオンまたはオフにする
- すべての状況、または、特定の問題が起きているプリンタで印刷しようとするときにのみ、プリンタのアラートをオンにする

プリンタへのアクセスを制御する

フロントパネルのセキュリティ設定

フロントパネルから、 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[セキュリティ]** を選択すると、プリンタの一部の機能を制御できます。


- **[USB ドライブ]** : USB フラッシュドライブの使用を有効または無効にします。
- **[USB からのファームウェアアップグレード]** : USB フラッシュドライブからのファームウェアのアップデートを有効または無効にします。
- **[インターネット接続の有効化]** : インターネット接続を有効または無効にします。

 **注記** : この機能を無効にすると、自動ファームウェアアップデートも無効になります。

- **[プリンタのアクセスコントロール]** : 管理者パスワードの有効化、無効化、または変更を行います。

管理者パスワードが設定されている場合は、以下の操作の実行権限が付与されている必要があります。

- セキュリティ設定を変更する(管理者パスワード自体を含む)
- インターネット接続の設定を変更する
- 自動ファームウェアアップデートの設定を変更する
- 自動ファームウェアアップデートの自動的なダウンロードまたはインストールを有効または無効にする
- 以前のファームウェアバージョンに戻す
- 出荷時デフォルトへのリセット


 **注記** : 管理者パスワードは、フロントパネルのオンスクリーンキーボードに存在する文字のみを使用できます。内蔵 Web サーバで新しいパスワードを設定する場合、その制限された文字セットに存在しない文字は拒否されます。


内蔵 Web サーバのセキュリティ設定

内蔵 Web サーバから、**[セットアップ]-[セキュリティ]** を選択すると、さまざまな方法でプリンタへのアクセスをコントロールできます。



- 管理者とゲストに別個のパスワードを指定して、内蔵 Web サーバへのアクセスを制御する
- プリンタへのイーサネット接続を有効または無効にする

- フロントパネル操作のさまざまなグループを有効または無効にする
- フロントパネルと同じセキュリティ設定を使用する(上記を参照)

 **注記** : 管理者パスワードが必要な場合があります。


 **注記** : 詳細については、内蔵 Web サーバのオンライン ヘルプを参照してください。

HP ePrint 接続を無効にする

セキュリティ上の理由が必要な場合は、HP ePrint への接続を無効にすることができます。フロントパネルで、 を押し、次に  を押して、**[接続] - [HP ePrint] - [HP ePrint 設定] - [HP ePrint 接続]** を選択し、**[無効化]** を選択します。

[無効] を選択すると、リモート印刷機能が保留になります。リモート印刷機能の使用を再開する場合は、同じメニューから再度有効にするだけです。その他のセットアップ手順は必要ありません。

リモート印刷を完全に無効にする場合、**[完全に無効化]** を選択します。リモートをもう一度使用するには、一から設定し直す必要があります ([21 ページの Web 接続プリンタを設定する](#)を参照)。

 **注記** : 内蔵 Web サーバで管理者パスワードを設定することで (**[セットアップ] - [セキュリティ]**)、管理者以外がこれらのオプションを変更できないようにすることができます。

アカウント ID を要求する

ユーザアカウント別にプリンタの使用状況を記録したい場合、それぞれのジョブに対してアカウント ID を要求するようにプリンタを設定することができます。

- HP DesignJet Utility (Windows) の場合 : **[設定] - [アカウントティング] - [アカウント ID の要求]** を選択します。
- HP DesignJet Utility (Mac OS X) の場合 : **[プリンタ設定] - [プリンタ設定の構成] - [アカウントティング] - [アカウント ID の要求]** を選択します。

この設定をオンにした場合、アカウント ID フィールドの入力が必須になります。アカウント ID のないジョブは、アカウントティング保留状態になります。

ジョブの送信時にアカウント ID をプリンタドライバに設定することができます。プリンタ側でジョブがアカウントティング保留状態に設定されている場合、HP DesignJet Utility の **[ジョブセンター] - [ジョブキュー]** を選択し、保留状態のジョブをクリックして、アカウント ID を通知することができます。ウィンドウに表示されるテキストボックスに、アカウント ID を入力することができます。

Windows ドライバの環境設定を設定する





必要に応じてプリンタドライバでデフォルトの設定を変更できます。例えば、カラーエミュレーションや用紙の節約に関するオプションなどです。これを行うには、コンピュータの画面の **[スタート]** ボタンを押し、**[プリンタと FAX]** を選択します。**[プリンタと FAX]** ウィンドウで、お使いのプリンタのアイコンを右クリックし、**[印刷設定]** を選択します。**[印刷設定]** ウィンドウで変更した設定は、デフォルト値として保存されます。

4 プリンタのカスタマイズ

- [フロントパネルの表示の言語を変更する](#)
- [HP DesignJet Utility へのアクセス](#)
- [内蔵 Web サーバにアクセスする](#)
- [HP DesignJet Utility の言語の変更](#)
- [内蔵 Web サーバの言語を変更する](#)
- [スリープモード設定を変更する](#)
- [ブザーをオン/オフにする](#)
- [フロントパネルの表示の明るさを変更する](#)
- [測定単位を変更する](#)
- [ネットワーク設定を構成する](#)
- [グラフィック言語の設定を変更する](#)
- [プリンタセキュリティを管理する](#)
- [プリンタの電子メールアドレスを変更する](#)

フロントパネルの表示の言語を変更する

フロントパネルのメニューおよびメッセージの言語を変更するには 2 通りの方法があります。

- 現在フロントパネルに表示されている言語が理解できる場合は、 を押し、次に  を押し、**[セットアップ]-[フロントパネルオプション]-[言語の選択]** を選択します。
- 現在フロントパネルに表示されている言語が理解できない場合は、まずプリンタの電源を切ります。電源ボタンを押して、電源をオンにします。フロントパネルにアイコンが表示される場合は、 を押し、それから  を押します。この手順を実行すると、フロントパネルでアイコンが素早く点滅します。

どちらの方法でも、フロントパネルの表示に言語選択メニューが表示されます。希望する言語を押します。

HP DesignJet Utility へのアクセス

HP DesignJet Utility を使用すると、TCP/IP 接続または Jetdirect 接続を使用してコンピュータからプリンタを管理できます。

- **Windows の場合**、デスクトップのショートカットから、または **[スタート]-[すべてのプログラム]-[HP]-[HP DesignJet Utility]-[HP DesignJet Utility]** から、HP DesignJet Utility を起動します。これにより、HP DesignJet Utility が起動し、コンピュータにインストールされたプリンタが表示されます。
- **Mac OS X の場合**、Dock のショートカットから、または **[ハードディスク]-[ライブラリー]-[Printers]-[HP]-[Utilities]-[DesignJet Utility]** の順で選択して HP DesignJet Utility を起動します。これにより、HP DesignJet Utility が起動し、コンピュータにインストールされたプリンタが表示されます。

左側のパネルでプリンタを選択すると、右側のパネルに表示される内容がすべてそのプリンタ固有のものになります。

この手順に従っても HP DesignJet Utility にアクセスできない場合は、[165 ページの HP DesignJet Utility にアクセスできない](#)を参照してください。

内蔵 Web サーバにアクセスする

内蔵 Web サーバを使用すると、コンピュータで一般的に使用される Web ブラウザから、プリンタをリモート管理することができます。

内蔵 Web サーバに直接アクセスするには、プリンタの接続方法が TCP/IP である必要があります。

内蔵 Web サーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Internet Explorer 7 (Windows XP 以降)
- Safari 3 (Mac OS X 10.5 以降)
- Firefox 3.6 以降
- Google Chrome 7 以降

Adobe Flash プラグインバージョン 7 以降は、ジョブのプレビューの表示に推奨されます。

コンピュータ上で内蔵 Web サーバにアクセスするには、Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。

プリンタの IP アドレスは、フロントパネルで、 を押し、次に  を押して表示できます。

この手順に従っても内蔵 Web サーバにアクセスできない場合は、[166 ページの内蔵 Web サーバにアクセスできない](#)を参照してください。

HP DesignJet Utility の言語の変更

HP DesignJet Utility は次の言語に対応しています。英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語 (Windows のみ)、フランス語、オランダ語、イタリア語、ドイツ語、ポーランド語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、および日本語。



- Windows の場合、[ツール]-[言語設定] を選択し、リストから言語を選択します。
- Mac OS X では、別のアプリケーションに関しても言語が変更されます。[システム環境設定] で [言語と地域] を選択し、アプリケーションを再起動します。

内蔵 Web サーバの言語を変更する



内蔵 Web サーバは次の言語に対応しています。英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、および日本語。Web ブラウザのオプションで指定された言語がここでは選択されます。内蔵 Web サーバが対応していない言語が指定されている場合は、英語が使用されます。

言語を変更するには、Web ブラウザの [言語の優先順位] 設定を変更してください。たとえば、Internet Explorer バージョン 6 の場合は、[ツール] メニューに移動して、[インターネットオプション]、[言語] を選択します。[言語の優先順位] ダイアログボックスで、使用する言語がリストの最上部に表示されていることを確認します。



スリープモード設定を変更する

プリンタの電源をオンにしたまま一定時間使用しない場合、プリンタは電力節約のため自動的にスリープモードへ移行します。プリンタがスリープモードに移行するまでの待機時間を変更するには、フロントパネルで 、 を押し、[セットアップ]-[フロントパネルオプション]-[スリープモード待ち時間] を押します。必要な待ち時間を選択し、[OK] ボタンを押します。1~240 分に設定できます。デフォルトの時間は 20 分です。



ブザーをオン/オフにする

プリンタのブザーのオン/オフを切り替えるには、フロントパネルで  を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[フロントパネルオプション]-[ブザー] を選択し、オンまたはオフを選択します。デフォルトでは、ブザーはオンに設定されています。

フロントパネルの表示の明るさを変更する

フロントパネルの表示の明るさを変更するには、、 の順に押し、[セットアップ]-[フロントパネルオプション]-[ディスプレイの明度] を押して、目的の値を選択します。[OK] ボタンを押して、その値を設定します。表示の明るさは 50 に設定されています。

測定単位を変更する

フロントパネルの表示の測定単位を変更するには、、 の順に押し、**[セットアップ]-[フロントパネルオプション]-[単位の選択]** を押して、**[インチ]** または **[メートル]** を選択します。デフォルトでは、単位はメートルに設定されています。

ネットワーク設定を構成する


内蔵 Web サーバ、HP DesignJet Utility、またはフロントパネルからネットワーク設定を表示および設定できます。

内蔵 Web サーバでこれを実行するには、**[セットアップ]** タブで **[ネットワーク]** (画面の右側) を選択します。

HP DesignJet Utility (Windows) では、**[設定]** タブを選択し、**[ネットワーク設定]** を選択します。Mac OS X の場合、**[設定]-[ネットワーク設定]** を選択します。


以下の設定から選択できます。

- **IP 設定方法**：IP アドレスを設定する方法を指定します。**[BOOTP]**、**[DHCP]**、**[自動 IP]**、または **[手動]** を選択します。
- **ホスト名**：プリンタの IP 名を指定します。名前は最大 32 ASCII 文字を含むことができます。
- **IP アドレス**：プリンタの IP アドレスを指定します。TCP/IP ネットワークで重複する IP アドレスを指定すると通信エラーになります。



 **ヒント**：IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイの組み合わせが有効であることを確認してください。これらの 3 つのフィールドが一致しない場合、フロントパネルで問題を修正するまで、プリンタに接続できない可能性があります。

ヒント：現在の IP アドレスを変更して **[適用]** をクリックする場合、ブラウザでは古いアドレスを示しているため、ブラウザのプリンタへの現在の接続が失われます。再接続するには、新しい IP アドレスを参照します。

- **サブネットマスク**：サブネットマスクを指定します。サブネットマスクは、ネットワークを指定するビットと、ネットワーク内のノードを一意に指定するビットを決定します。
- **デフォルトゲートウェイ**：他のネットワークまたはサブネットワークへの接続に使用されるルータまたはコンピュータの IP アドレスを指定します。存在しない場合は、コンピュータの IP アドレスまたはプリンタの IP アドレスを使用します。
- **ドメイン名**：プリンタが存在する DNS ドメイン名を指定します (たとえば、support.hp.com)。

 **注記**：ドメイン名はホスト名を含みません。ドメイン名は、printer1.support.hp.com のような完全修飾ドメイン名ではありません。

- **アイドルタイムアウト**：リモートコンピュータがプリンタを待機するときのアイドル状態の接続が継続される時間を指定します。デフォルト値は、280 秒です。0 に設定すると、タイムアウトは無効になり、アイドル状態の接続が継続される時間は無限になります。
- **デフォルト IP**：電源がオンになったとき、または BOOTP または DHCP を使用するように再構成されたときに、プリンタがネットワークから IP アドレスを取得できない場合に使用する IP アドレスを指定します。
- **DHCP 要求の送信**：既存のデフォルト IP アドレスまたはデフォルト自動 IP が割り当てられた場合に、DHCP 要求が転送されるかどうかを指定します。

フロントパネルから同じネットワーク設定を指定するには、 を押し、次に  を押して、**[接続]**
-**[ネットワーク接続]**-**[ギガビットイーサネット]**-**[設定の変更]** を選択します。



[接続]-**[ネットワーク接続]**-**[詳細設定]** メニューからは、他のさまざまなオプションを使用できます。


- **[I/O タイムアウト]**: プリンタがリモート コンピュータを待機するときのアイドル状態の接続が継続される時間を指定します。デフォルト値は、30 秒です。0 に設定すると、タイムアウトは無効になり、アイドル状態の接続が継続される時間は無限になります。
- **[SNMP を使用]**: SNMP を許可するかどうかを指定します。
- **[内蔵 Web サーバ]**-**[内蔵 Web サーバを使用]**: 内蔵 Web サーバを有効にするかどうか指定します。
- **[Web サービス]**-**[HP DesignJet Utility ソフトウェア]**: HP DesignJet Utility ソフトウェアの設定を表示します。
- **[Web サービス]**-**[色と用紙の管理]**: 色と用紙の管理の設定を表示します。
- **[工場出荷時の設定に戻す]**: ネットワーク設定の初期のデフォルト値に戻します。

グラフィック言語の設定を変更する

次の手順に従って、HP DesignJet Utility からグラフィック言語の設定を変更できます。

1. Windows の場合、**[設定]** タブを選択し、次に **[プリンタ設定]**-**[印刷設定]** を選択します。
Mac OS X の場合、**[プリンタ設定]**-**[プリンタ設定の構成]**-**[印刷設定]** を選択します。
2. 以下のオプションの 1 つを選択します。
 - **[自動]** を選択すると、プリンタにより受信ファイルの種類が特定されます。これはデフォルトの設定です。この設定は、大半のソフトウェア アプリケーションに適用されます。通常は、デフォルトの設定を変更する必要はありません。
 - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[HP-GL/2]** を選択します。
 - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[PDF]** を選択します。
 - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[PostScript]** を選択します。
 - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[TIFF]** を選択します。
 - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**[JPEG]** を選択します。

フロントパネルからグラフィック言語の設定を変更できます。 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]**-**[詳細な印刷設定]**-**[グラフィック言語]** を選択します。必要なオプションを選択します。

 **注記**: グラフィック言語を HP DesignJet Utility から設定した場合は、フロントパネルの設定より優先されます。

プリンタセキュリティを管理する

Web サービスを設定すると、プリンタがロック解除モードになります。ロック解除モードでは、プリンタの電子メールアドレスを知っていればだれでもファイルを送信するだけで、そのプリンタで印刷することができます。HP ではスパムフィルタリングサービスを提供していますが、そのアドレスに送信された内容がすべてプリンタで印刷されるため、プリンタの電子メールアドレスを口に出すときは注意してください。

プリンタ管理者は、<http://www.hpconnected.com> で HP Connected にアクセスすることにより、プリンタのセキュリティを管理したり、プリンタステータスをロックモードに変更したりすることができます。ここでは、プリンタの電子メールアドレスをカスタマイズしたり、印刷ジョブを管理することもできます。最初のアクセス時、HP Connected でアカウントを作成する必要があります。

プリンタの電子メールアドレスを変更する

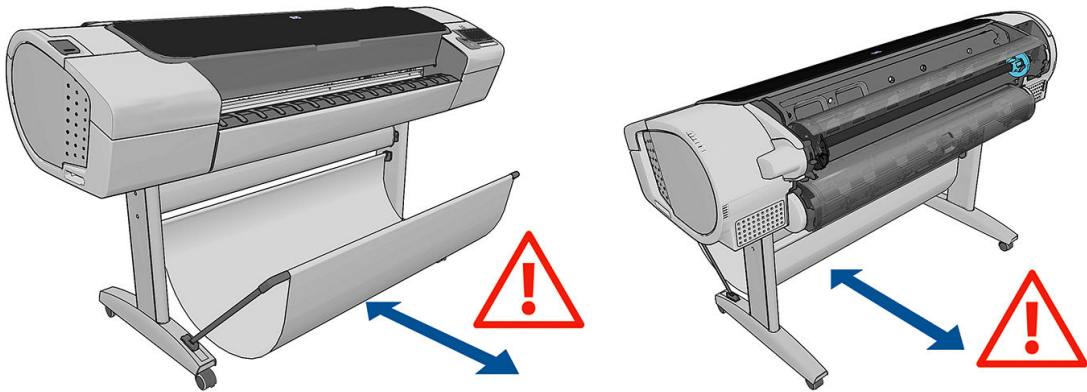
HP Connected でプリンタの電子メールアドレスを変更することができます：
<http://www.hpconnected.com>。

5 用紙の取り扱い

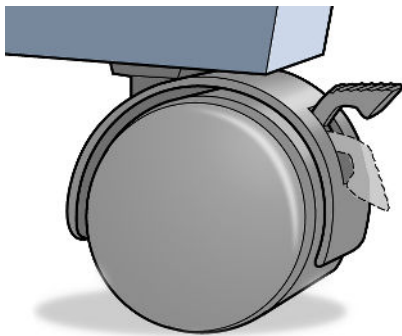
- [一般的なヒント](#)
- [ロールをスピンドルに取り付ける](#)
- [ロールをプリンタに取り付ける](#)
- [ロール紙を取り外す](#)
- [カット紙を取り付ける](#)
- [カット紙を取り外す](#)
- [感光紙モード](#)
- [用紙に関する情報を表示する](#)
- [用紙プリセット](#)
- [用紙情報の印刷](#)
- [用紙の移動](#)
- [用紙を保守する](#)
- [乾燥時間を変更する](#)
- [自動カッターのオン/オフを切り替える](#)
- [用紙を給紙してカットする](#)

一般的なヒント

⚠ **注意**：用紙の取り付けを開始する前に、プリンタの周辺（プリンタの前後の両方）に十分な空間があることを確認してください。

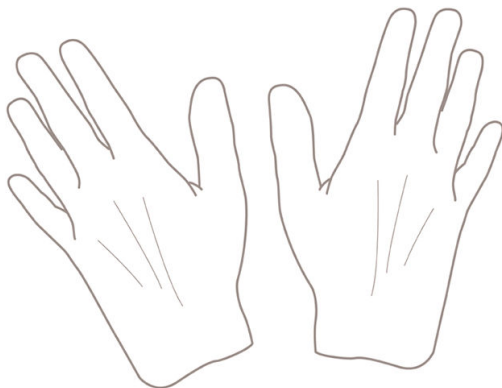


⚠ **注意**：プリンタのキャスターがロックされ（ブレーキレバーが押し下げられている状態）、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。



⚠ **注意**：すべての用紙は、280mm 以上である必要があります。A4 およびレター用紙は、横置きに取り付けられません。

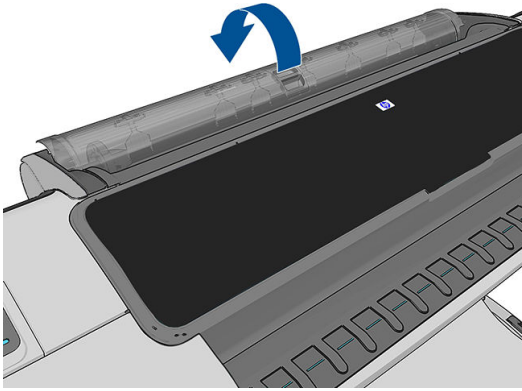
💡 **ヒント**：フォト用紙では、用紙に油が付着しないように、綿製の手袋を着用します。



⚠ **注意**：用紙取り付け作業中は、バスケットを閉めてください。

ロールをスピンドルに取り付ける

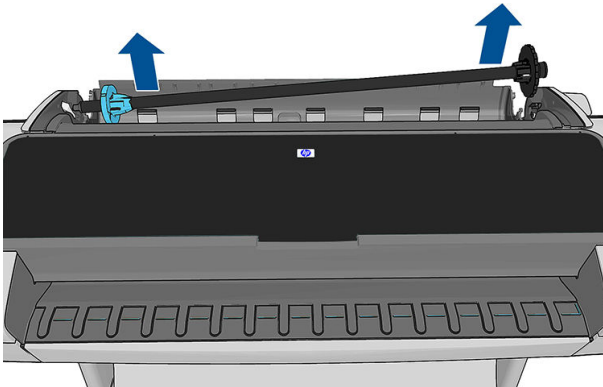
1. ロールカバーを開きます。



2. プリンタからスピンドルを、黒色側、青色側の順で取り外します。

⚠ 注意：必ず黒色側から取り外してください。青色側から取り外すと、黒色側が破損する場合があります。

⚠ 警告！取り外し作業の最中に、スピンドルサポートに指を入れしないでください。



3. スピンドルの両端には、ロールを正しい位置に固定するストッパが付いています。青いストッパを取り外して、新しいロール紙を取り付けることができます。このストッパは、幅の異なるロール紙を固定するためにスピンドルにそってスライドさせて調節します。スピンドルの端から青い用紙ストッパを取り外します。

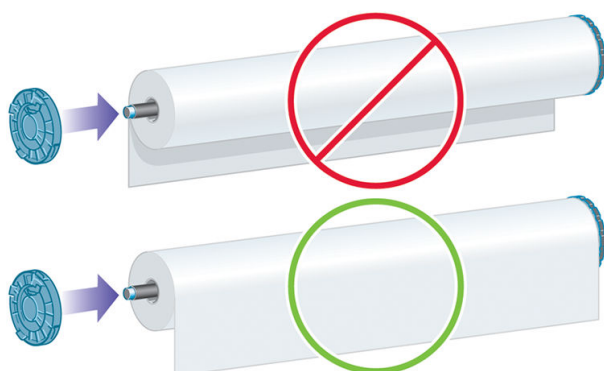


4. ロール紙が長い場合 スピンドルを机の上に水平に置きます。ロール紙も同じ机の上に置きます。

💡 ヒント：大きなロール紙の作業には、2人必要な場合があります。

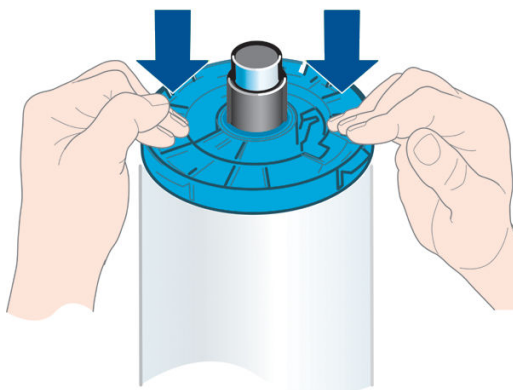
- 新しいロール紙をスピンドルに取り付けます。用紙の向きは、図のようになるように注意してください。向きを間違えた場合は、ロール紙を外して 180 度回転し、取り付け直します。スピンドルには、正しい向きを示すラベルが付貼されています。

 **注記：** プリンタの背面から、青いSTOPPAを右端のホルダーに差し込みます。



ロール紙の両端とスピンドルのSTOPPAの間には、できるだけ隙間がないようにしてください。

- スピンドルの開口部に青いSTOPPAを取り付け、ロール紙の端に向けて押し込みます。





- 青いSTOPPAができるだけ奥に押し込まれていることを確認します。両端がSTOPPAに付くまで押し込みます。


さまざまな種類の用紙を日常的に使用する場合は、異なる種類の用紙をあらかじめ取り付けられたスピンドルを複数準備しておく、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。追加のスピンドルは別途購入できます ([120 ページの「アクセサリ」](#)を参照)。



ロールをプリンタに取り付ける

この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。 [35 ページのロールをスピンドルに取り付ける](#)を参照してください。


 **ヒント：** 両方のロールカバーを一度に開こうとしないでください。問題が発生する場合があります。常に、一方のカバーを閉じてから、他方のカバーを開いてください。

 **注記：** 以下の最初の 3 つの手順はオプションです。手順 4 から開始できます。ただし、この場合はプリンタによりロール紙の長さが記録されず、次回取り外すときにロール紙の上にバーコードが印刷されません。このため、**【用紙情報の印刷】** オプションをオフにした場合を除き、手順 1 からすべての手順に従うことをお勧めします。 [48 ページの用紙情報の印刷](#)を参照してください。


1. フロントパネルで、 を押し、ロールアイコンを押して、**[取り付け]** を押します。

または、 を押し、次に  を押して、**[用紙]-[用紙の取り付け]-[ロール1の取り付け]** (Z5600のみ) または **[ロール2の取り付け]** を選択します。


選択したロール紙が既に取り付けられている場合、自動的に取り外されるまで待つ必要があります。


 **注記**：取り付けられている用紙をプリンタでカットできない場合、手動で取り外すよう求められます。

下部のロール紙(ロール紙2)を取り付ける場合は、プリンタの背面に立ってください。上部のロール紙(ロール紙1)を取り付ける場合は、プリンタの背面と前面のどちらに立ってもかまいません。

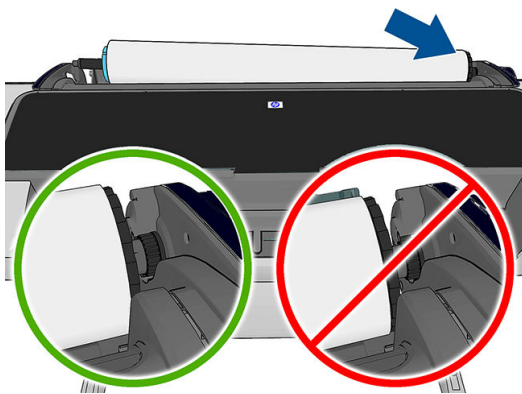
 **注意**：身長が160cm未満の場合、プリンタの前面に立ってロール紙を取り付けると、背中が痛くなるなど、その他の身体的な問題が生じることがあります。

2. Z5600のみ：ロール紙2が既に取り付けられているときにロール紙1の取り付けを開始した場合、ロール紙2はスタンバイ位置に引き出され、必要な場合は取り付け直さなくても再度印刷できるようになります。

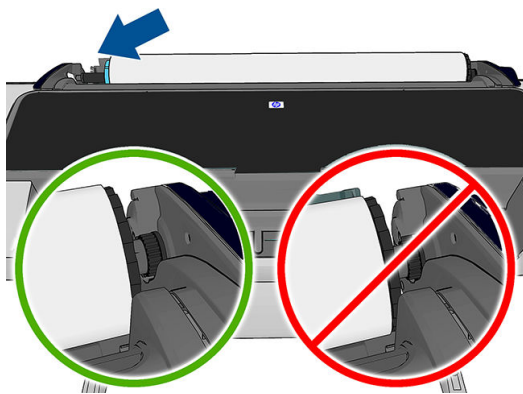
 **注記**：ロール紙2をプリンタで自動的にカットできない場合、ロール紙2はスタンバイ位置に移動されません。代わりに、手動で取り外すよう求められます。

 **注記**：ロール紙がスタンバイ位置にあるときにそのロールカバーを開いた場合は、ロール紙が取り外され、次回そのロール紙に印刷するときに取り付け直す必要があります。

3. まだ開いていない場合は、ロールカバーを開きます。
4. 左側のロール紙ホルダーにスピンドルの黒い端を載せます。ロール紙ホルダーに、スピンドルの端を完全に入れなくてください。

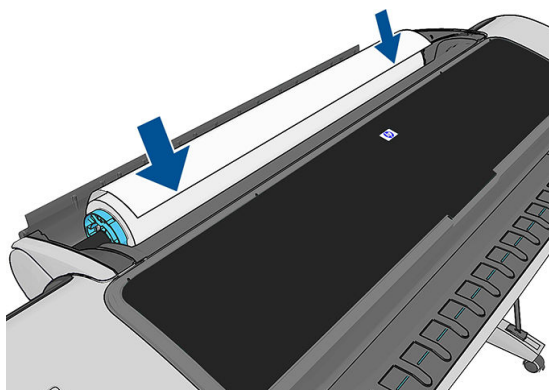


5. 右側のロール紙ホルダーにスピンドルの青い端を載せます。

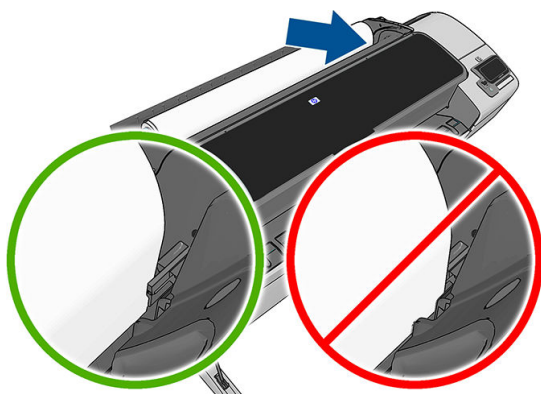


6. 両手を使って、両端のロール紙ホルダーに同時に押し込みます。
7. ロール紙の端が水平にならない場合 (ロール紙の端を固定するためのテープが原因で起こる場合があります)、用紙を少しだけ送り、端を水平にカットします。
8. 用紙の端をプリンタに差し込みます。

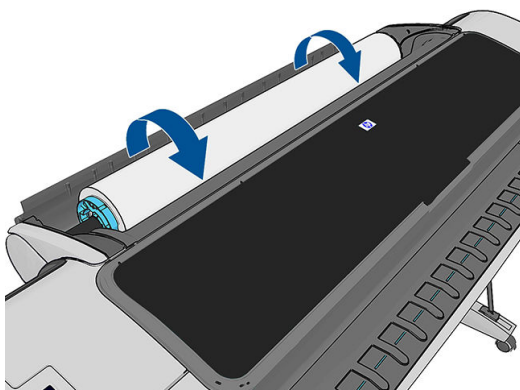
⚠ 警告! プリンタの用紙経路に指を入れないでください。



💡 ヒント: 上部のロール紙を取り付けるときは、ロール紙をカット紙のスロットに挿入しないでください。挿入した場合、プリンタのブザーが鳴り、フロントパネルに用紙を取り除くことを求める指示が表示されます。



9. 用紙がそれ以上入らなくなってわずかに曲がるようになるまで、用紙をプリンタに巻きつけます。プリンタが用紙を検出すると、用紙が自動的に給紙されます。



10. 用紙の先端にバーコードがある場合、プリンタにより読み取られ、バーコードがカットされます。用紙のカットされた帯を取り除いて破棄する必要があります。
11. 用紙の先端にバーコードがない場合、フロントパネルに用紙のカテゴリと種類を選択するように要求するメッセージが表示されます。

✦ **ヒント：**用紙リストにない用紙の種類を取り付けた場合は、[129 ページの用紙の種類がドライバに含まれていない](#)を参照してください。

12. **[用紙情報の印刷]** オプションが有効な場合、フロントパネルにロール紙の長さを指定するように要求するメッセージが表示されます。[48 ページの用紙情報の印刷](#)を参照してください。
13. プリンタは位置調整を行い、幅を測定します。次に、フロントパネルにロールカバーを閉じるように要求するメッセージが表示されます。

ロール紙が正しく取り付けられていない場合は、フロントパネルに表示される指示に従います。

カットできない用紙(キャンバス)

キャンバスなど一部の用紙の種類は、自動カッターでカットできません。このため以下の結果が発生します。

- 自動カッターが自動的に無効になります。
- フロントパネルのホーム画面と用紙タブに、自動カットを利用できないことを示すレポートが表示されます。
- ロール紙をスタンバイ位置に移動できません。
- ロール紙を自動的に取り外すことができません。手動で取り外す必要があります。
- 自動的なロール紙切替が無効になり、カットできないロール紙を取り外すまで、スタンバイロール紙に送信されたジョブが一時停止します。
- **[用紙情報の印刷]** オプションが自動的に無効になります。[48 ページの用紙情報の印刷](#)を参照してください。


📖 **注記：**用紙の取り付けのいずれかの段階で予想外の問題が発生したときは、[127 ページの用紙が正しく取り付けられない](#)を参照してください。


ロール紙を取り外す

ロール紙を取り外す前に、ロールに用紙があるかどうか、またはロールの用紙がなくなったかどうかを確認し、以下に説明する適切な手順に従ってください。

ロールに用紙がある場合の簡単な手順


ロールに用紙がある場合は、ロール紙をカットできない場合を除き(カットできない場合は [41 ページの手動での取り外し手順](#)を参照してください)、ロールカバーを開くだけでロール紙が自動的に取り外されます。



 **注記:** この方法でロール紙を取り外すと、ロール紙の上にバーコードが印刷されないため、次回取り付けたときにプリンタがロール紙の長さを認識しません。 [48 ページの用紙情報の印刷](#)を参照してください。

 **注記:** カット紙が取り付けられているときにロール紙 1 のカバーを開いた場合、カット紙も取り外されます。

ロールに用紙がある場合のフロントパネルの手順


ロールに用紙があるときは、フロントパネルから用紙を取り外すことができます。

1.  を押し、ロールアイコンを押して、**[取り外し]**を押します。

または、 を押し、次に  を押して、**[用紙] - [用紙の取り外し] - [ロール 1 の取り外し]**(Z5600のみ) または **[ロール 2 の取り外し]** を選択します。
2. 場合によっては、ロールカバーを開く必要があります。
3. 用紙をカットできない場合は、 [41 ページの手動での取り外し手順](#)を参照してください。

ロールに用紙がない場合の手順

用紙の最後が芯からすでに外れている場合は、以下の手順に従ってください。




1. すでに用紙の取り外しを開始している場合は、フロントパネルの  を押して、その手順をキャンセルします。
2. 左側の青いレバーを上げます。フロントパネルにレバーに関する警告が表示された場合は、無視してください。
3. プリンタから用紙を引き出します。用紙に手が届くどこからでも引き出すことができます。プリンタの背面をお勧めします。場合によっては、ロールカバーを開く必要があります。
4. 青いレバーを下げます。


手動での取り外し手順


自動カッターでカットできない用紙の種類は、手動で取り外す必要があります。

1. ロールカバーを開きます。
2. 左側の青いレバーを上げます。
3. スピンドルを手動で回して用紙を巻き戻し、用紙をプリンタから取り除きます。
4. 青いレバーを下げます。
5. ロールカバーを閉じます。


カット紙を取り付ける

1. ロール紙1のカバーが閉じていることを確認します。カット紙が取り付けられているときに開いている場合、カット紙はすぐに取り外されます。
2. フロントパネルで、 を押し、ロール1アイコンを押して、[取り付け]-[カット紙の取り付け]を押します。
または、 を押し、次に  を押して、[用紙]-[用紙の取り付け]-[カット紙の取り付け]を選択します。
3. ロール紙が既に取り付けられている場合は、スタンバイ位置に引き出されるまで待つ必要があります。カット紙が取り外された後すぐに取り付け直さなくても再度印刷できます。

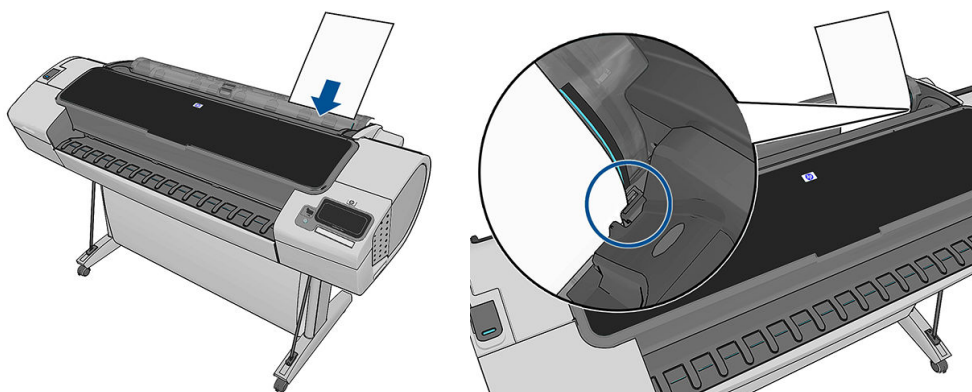
 **注記：**ロール紙がスタンバイ位置にあるときにそのロールカバーを開いた場合は、ロール紙が自動的に取り外され、次回そのロール紙に印刷するときに取り付け直す必要があります。

 **注記：**ロール紙をカットできない場合は、フロントパネルに手動で取り外すための手順が表示されます。

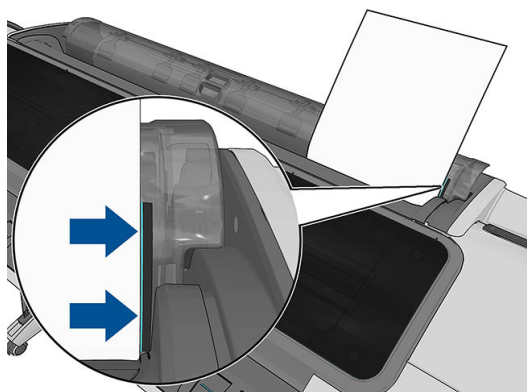
4. 用紙のカテゴリおよび種類を選択します。


 **ヒント：**用紙リストにない用紙の種類を取り付けた場合は、[129 ページの用紙の種類がドライバーに含まれていない](#)を参照してください。

5. フロントパネルに指示が表示されたら、プリンタの右側にあるカット紙スロットにカット紙を挿入します。




カット紙を取り付け線に合わせて取り付け、厚手のカット紙では、それ以上入らなくなるまで用紙を挿入します。




 **警告！** プリンタの用紙経路に指を入れないでください。

6. フロントパネルの **OK** ボタンを押すと用紙がプリンタに引き込まれます。プリンタがカット紙の位置を揃えます。これは特に厚手の用紙の場合は重要です。
7. プリンタは位置調整を行い、カット紙を測定します。


 **注記**：カット紙の長さによっては、プリンタ前面に排紙されます。



8. カット紙の長さが 600mm 未満の場合、フロントパネルに、カット紙の背面がロールカバーの上に逆方向に(プリンタのウィンドウの上に前方向ではなく)取り付けられていることを確認するように要求するメッセージが表示されます。
9. カット紙が正しく軸合わせされていない場合、正しく軸合わせするように求められることがあります。フロントパネルに表示される指示に従ってください。

 **注記**：用紙の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合は、[127 ページの用紙が正しく取り付けられない](#)を参照してください。

カット紙を取り外す

印刷後にカット紙を取り外すには、プリンタの前面から用紙を引き出します。

印刷せずにカット紙を取り外すには、フロントパネルで、 を押し、ロール紙 1 アイコンを押して、**取り外し - [カット紙の取り外し]** を選択します。

または、 を押し、次に  を押して、**[用紙] - [用紙の取り外し] - [カット紙の取り外し]** を選択します。

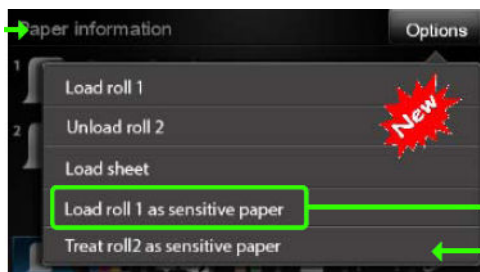
カット紙がプリンタの前面に排紙されます。手動で取り出すか、そのままバスケットに落とします。

感光紙モード

プリンタの感光紙モードは、特にゆがみや傷の影響を受けやすい用紙（フィルムなど）で高品質な印刷を行うことができるように設計されています。

感光紙モードは、次の2つの方法で有効にできます。

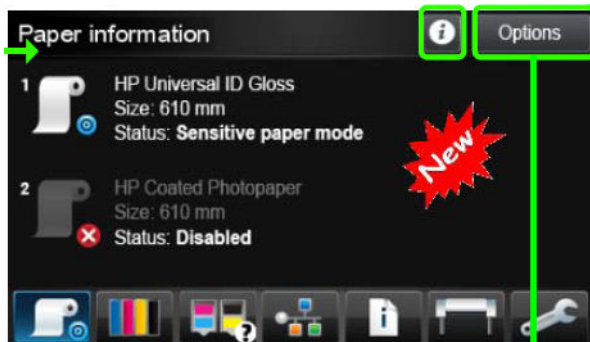
- ロール紙を取り付けるとき、フロントパネルオプションの[ロール 1/2 で感光紙の取り付け]を使用する
- ロール紙がすでに取り付けられている場合、フロントパネルオプションの[ロール 1/2 で感光紙を使用]を使用する



フロントパネルに手順を追ったプロセスが表示されます。プロセスの最後で、感光紙モードが有効になっている間はロールカバーを開いたままにするように表示されます。この点を除けば、通常どおり、選択したロール紙で印刷できます。

ロール紙が用紙切れになるまで、またはロール紙を通常の方法で取り外すまで、感光紙モードは有効な状態で保持されます。

感光紙モードが有効な場合、フロントパネルの用紙情報画面で  アイコンで示されます。



注記

- 感光紙モードは2本のロール紙で同時に有効にすることはできません。
- ロール紙を感光紙として取り付ける場合、または感光紙として使用する場合、プリンタによって待機位置に移動することはできません。これは、感光紙モードが有効な限り、他の用紙を印刷で使用できないことを意味します。
- 感光紙モードが有効な状態で2本目のロール紙を取り付ける場合、次のような処理が行われます。
 - － フロントパネルの用紙情報画面で、2本目のロール紙が一時的に無効であると示されます。
 - － 無効になっているロール紙で印刷するジョブはすべてジョブキューに保存され、「適当な用紙を待っています」と表示されます。
 - － 感光紙のロール紙が取り外されると、無効になっていたロール紙は有効になります。

用紙に関する情報を表示する

取り付けられた用紙の情報を表示するには、 を押し、ロールアイコンを押します。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- 選択した用紙の種類
- ロール紙またはカット紙のステータス
- 用紙の幅 (mm) (推定値)
- 用紙の長さ (mm) (推定値)

用紙が取り付けられていない場合は、「用紙がありません」というメッセージが表示されます。

同じ情報は、Windows 用 HP DesignJet Utility ([概要] タブ - [サプライ品ステータス] タブ)、Mac OS X 用 HP DesignJet Utility ([情報] グループ - [プリンタステータス] - [サプライ品の詳細情報])、および内蔵 Web サーバ(右上隅)に表示されます。


用紙プリセット

サポートされている用紙の種類にはそれぞれ独自の特徴があるため、最適な印刷品質を実現するために、用紙の種類によってプリンタの印刷方法が変更されます。用紙には、多量のインクを必要とする用紙もあれば、乾燥に長い時間を要する用紙もありますが、用紙の種類ごとに必要な設定の詳細をプリンタに伝える必要があります。この詳細のことを用紙プリセットといいます。用紙プリセットには、用紙の色の特徴を記述する ICC プロファイルが含まれます。また、色とは直接関連がない用紙の特徴および要件も含まれています。このプリンタの既存の用紙プリセットは、プリンタのソフトウェアにすでにインストールされています。

ただし、プリンタで使用可能なすべての用紙を表示するとスクロールに不便なため、このプリンタでは、一般的に最もよく使用される用紙の種類の用紙プリセットのみが用意されています。プリンタにないプリセットの用紙の種類を使用するときは、フロントパネルの表示からその用紙の種類を選択できません。


新しい用紙の種類にプリセットを割り当てるには2つの方法があります。


- Web からダウンロードした用紙プリセットをインポートします。[45 ページのダウンロードした用紙プリセットのインストール](#)を参照してください。
- HP Color Center を使用して、独自の用紙プリセットを作成できます。[46 ページの独自の用紙プリセットの作成](#)を参照してください。

 **注記：**最大 30 種類のカスタム用紙と追加用紙を使用できます。カスタム用紙または追加用紙のプリセットを削除するには、Color Center に移動し、[用紙プリセット管理] - [用紙プリセットの削除] を選択します。Mac OS X 用 HP DesignJet Utility で、[用紙プリセット管理] - [用紙プリセットの削除] を選択します。

ダウンロードした用紙プリセットのインストール

1. <http://www.hp.com/go/Z2600/paperpresets>、<http://www.hp.com/go/Z5600/paperpresets>、または用紙製造元の Web サイトに該当する用紙のプリセットが見つかったら、[今すぐダウンロード] ボタンをクリックして用紙プリセット (.oms ファイル) をコンピュータに保存します。

 **注記:** 必要な用紙プリセットが Web 上にない場合、プリンタの最新のファームウェアに追加されている場合があります。ファームウェアのリリースノートを参照して、情報を確認してください (117 ページの [ファームウェアをアップデートする](#) を参照)。

2. 新しいプリセットのインストールを開始する前に、プリンタがアイドル状態であり、プリンタ キューが停止していることを確認してください。新しい用紙プリセットをインストールすると、印刷の実行が中断します。
3. HP DesignJet Utility または内蔵 Web サーバを開始します。
 - Windows 用 HP DesignJet Utility で、**[Color Center]**、**[用紙プリセットのインポート]** の順に選択します。
 - Mac OS X 用の HP DesignJet Utility では、**[用紙プリセットのインポート]** を選択します。
 - 内蔵 Web サーバで **[セットアップ]** タブ - **[用紙プリセット管理]** - **[インポート]** タブを選択します。
4. **[インポート]** ページで、手順 1 でダウンロードした用紙プリセットファイルを選択します。
5. **[アップデート]** ボタンをクリックし、アップデート処理が終了するのを待ちます。時間がかかることがあります。プリンタはアップデートが完了すると自動的に再起動します。プリンタが再起動し、フロントパネルにプリンタの準備が完了したことが表示されるまで待ちます。
6. プリンタのフロントパネルで、**[追加の用紙]** または **[カスタム用紙]** のカテゴリに新しい用紙の種類が表示されていることを確認します。
7. Mac OS X の場合のみ、HP DesignJet Utility を開き、新しい用紙の種類をドライバと同期します。プリンタを選択し、**[用紙プリセット管理]** および **[用紙プリセットの同期]** を選択します ( ボタン)。

用紙プリセットをインポートしたので、フロントパネルおよび Mac OS X ドライバから用紙の種類を選択できます。新しい用紙の種類は ICC プロファイルは、アプリケーションで使用できます。


独自の用紙プリセットの作成


カスタム用紙の種類をプリンタで使用するには、新しい用紙のプリセットをプリンタに追加する必要があります。HP DesignJet Utility の HP Color Center を使用すると、新しい用紙プリセットを作成できます。

用紙プリセット名がプリンタ ドライバとフロントパネルに表示されます。

用紙プリセットを作成するには、以下の簡単な手順に従ってください。

1. HP DesignJet Utility (Windows) の **[Color Center]** タブまたは HP DesignJet Utility (Mac OS X) の **[用紙プリセット管理]** に移動します。
2. **新しい用紙プリセットの作成** を選択するか (Windows)、**[+]** ボタンを押します (Mac OS X)。
3. 用紙名を入力します。

 **ヒント:** 用紙の商品名を使用すると、プリンタの他のユーザにもわかりやすくなります。


4. プルダウンメニューから用紙のカテゴリを選択します。用紙のカテゴリは、使用するインク量とその他の基本的な印刷パラメータを決定します。詳細については、Color Center のオンラインヘルプ  および <http://www.hp.com/go/Z2600/paperpresets> または <http://www.hp.com/go/Z5600/paperpresets> を参照してください。以下のカテゴリを使用できます。

- **[普通紙とコート紙]**: ファイバーベースでつや消しの薄手の用紙です。これらの用紙には、マットブラックインクを使用し、比較的インク量を低くし、キャリッジ位置を高くします。
 - **[フォト用紙]**: 比較的厚手のフォトベース用紙で、つや消しや半光沢から光沢までさまざまな仕上げがあります。これらの用紙のつや消しフォト用紙以外には、フォトブラックインクを使用し、Baryte とつや消しフォト用紙以外は、比較的インク量を高くし、キャリッジ位置を低くします。通常はスターホイールを上げて印刷します。
 - **[バックライト]**: 合成の透明紙で、フォトブラックを使用し、インク量とキャリッジ位置を高くし、スターホイールを上げます。
5. Windows では**[次へ]**を、Mac OS では**[続ける]**をクリックします。
 6. カスタム用紙を取り付けます ([37 ページのロールをプリンタに取り付ける](#)または[42 ページのカット紙を取り付ける](#)を参照)。フロントパネルの**[カスタム用紙]**カテゴリに用紙名が表示されません。
 7. Color Center で ICC プロファイル名を選択します。この名前は、アプリケーションでプロファイルの選択に使用します。

必要に応じて、**[印刷プロパティの変更]** ボタンを使用して次のプロパティを変更します。

- **[用紙の厚さ]**: キャリッジの高さまたはプラテンの間隔に関係します。用紙の重さが 250 g/m² を超える場合またはプラスチックコートされていない場合は、**[厚い]** を選択する必要があります。
- **[乾燥時間]**: デフォルトの**[自動]**を使用することをお勧めしますが、必要に応じて**[長い]**に変更できます。
- **[スターホイール]**: スターホイールを上げてまたは下げて印刷します。
- **[カッター]**: カッターを有効または無効にします。
- **[グローバルインク量]**: 最初はそのままにして、印刷結果に応じて変更します。

用紙の種類によっては、異なるインク量 (少ない/標準/多い) で使用できるものもあります。インク量は一般的に色域の量に比例しますが、インク量が高いと印刷時にアーチファクト (にじみ、コアレッセンスなど) が生成されることがあります。HP 用紙には微調整されたインク量が使用されますが、他の用紙では一般的なインク量が使用されます。

 **注記**: オプションがグレーアウトされている場合は、そのオプションは選択した用紙の種類で使用できないことを示します。

8. Windows では**[次へ]**を、Mac OS では**[続ける]**をクリックします。
9. 用紙の種類によって可能な場合は、プリンタのカラーキャリブレーションを実行します (約 10 分間)。

用紙プリセットを作成したので、フロントパネル、および Mac OS X ドライバの**[カスタム用紙]**カテゴリから用紙の種類を選択できます。新しい用紙の種類の ICC プロファイルは、アプリケーションで使用できます。

新しい用紙プリセットは、コンピュータにエクスポートし、同じモデルの他の HP DesignJet プリンタで使用できます。Color Center で、**[用紙プリセット管理]**-**[用紙プリセットのエクスポート]**の順に選択し、画面の指示に従います。Mac OS X 用 HP DesignJet Utility で、**[用紙プリセット管理]**-**[用紙プリセットのエクスポート]**を選択します。別のプリンタにプリセットをインストールするには、[45 ページのダウンロードした用紙プリセットのインストール](#)を参照してください。

用紙情報の印刷

プリンタの未使用分のロール紙の推定の長さ、用紙の幅と種類を表示するには、**[用紙情報の印刷]**を有効にします。情報はバーコードとテキストの組み合わせから構成され、用紙をプリンタから取り外すとロールの上端に印刷されています。



24 inch wide (610 mm.) Plain Paper

- 注記：**未使用分の長さに関する情報は、ロール紙を取り付けるときの用紙の長さをプリンタに指定した場合のみ使用できます。この情報をプリンタに提供するには、用紙を取り付ける際にロール紙の長さをフロントパネルで指定するか、用紙データバーコードが印刷されているロール紙を取り付けます。
- 注記：**バーコードとテキストは、取り付けと取り外しをフロントパネルの**[用紙]**メニューから行った場合のみロール紙に印刷されます。
- 注記：**このオプションは、完全に不透明でカット可能な用紙を使用する場合のみ有効です。透明または半透明な用紙を使用する場合は失敗する可能性があります。カットできない用紙の種類が取り付けられている場合は無効になります。

[用紙情報の印刷] オプションを有効にするには、フロントパネルで を押し、次に を押して、**[セットアップ]-印刷設定-[用紙オプション]-[用紙情報の印刷の有効化]** を選択します。

- 注記：**このオプションを有効にすると、用紙の取り付けと取り外しの手順がわずかに変化します。

用紙の移動

プリンタがアイドル状態(印刷可能)のときに、フロントパネルから用紙を前または後ろに移動できます。最後に印刷したものと次に印刷するものとの間に余白をとりたいときに行います。

用紙を移動するには、 を押し、次に を押して、**[用紙]-[用紙を移動]**。

用紙を保守する



用紙の品質を保守するには、以下の推奨事項に従ってください。

- ロール紙を別の紙または布で覆って保管する
- カット紙をカバーで覆って保管し、プリンタに取り付ける前にクリーニングまたはブラッシングする
- 入出力プラテンをクリーニングする
- プリンタのウィンドウを常に閉じておく


- 注記：**フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です ([144 ページの印刷が擦り切れる、または傷がつく](#)を参照)。


乾燥時間を変更する

複数印刷で時間がより重要な場合、取り扱う前にインクが乾燥している必要がある場合など、印刷状況によっては、乾燥時間を変更する必要があります。

 を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[素材の取り扱い]>[乾燥時間の選択] を選択します。次のオプションを選択できます。



- [長い]: インクが完全に乾燥するように、推奨時間より長く設定します。
- [最適]: 選択した用紙のデフォルト時間(推奨)に設定します(デフォルト設定)。
- [短い]: 品質の重要性が低い場合は、推奨時間より短く設定します。
- [なし]: 乾燥時間を無効にして、印刷が終了するとすぐに印刷された用紙を取り出します。

 **注意:** 印刷された用紙が取り出される際にインクが乾燥していない場合は、出力トレイにインクを付いたり、印刷された用紙にインクを残したりすることがあります。


 **注記:** 印刷中に乾燥時間をキャンセルすると、同時に実行されているプリントヘッド保守が原因で、プリンタが用紙を正しく排紙/カットできなくなります。乾燥時間がゼロの場合は、プリンタは用紙をカットして、次にプリントヘッド保守を実行します。ただし、乾燥時間がゼロより大きい場合、プリントヘッド保守が終了するまでは、プリンタは用紙をカットしません。


自動カッターのオン/オフを切り替える


プリンタの用紙カッターのオン/オフを切り替えるには、以下の手順に従ってください。

- HP DesignJet Utility (Windows) で、[設定] タブを選択し、[プリンタ設定]-[詳細設定] を選択して [カッター] オプションを変更します。
- HP DesignJet Utility (Mac OS X) で、[プリンタ設定]-[プリンタ設定の構成]-[詳細設定] を選択して [カッター] オプションを変更します。
- 内蔵 Web サーバで、[セットアップ] タブを選択し、[プリンタ設定]-[詳細設定] を選択して [カッター] オプションを変更します。
- フロントパネルで、 を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[素材の取り扱い]-[カッターの有効化] を選択して、カッター オプションを変更します。



デフォルト設定は、[オン] です。

 **注記:** カッターがオフの場合、ジョブ間で用紙がカットされなくなりますが、取り付け、取り外し、およびロール紙の交換時には用紙がカットされ続けます。


 **注記:** プリンタでは、キャンバスなど一部の用紙の種類は、自動カッターでカットできないことが認識されています。また、カッターがオンになっている場合でも、カットが試みられません。


 **ヒント:** 自動カッターが無効になっているときにロール紙をカットするには、[49 ページの用紙を給紙してカットする](#)を参照してください。


用紙を給紙してカットする

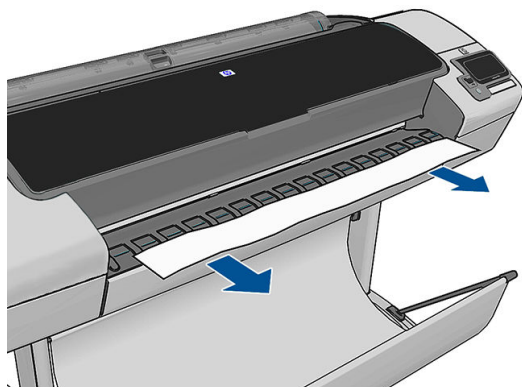
フロントパネルで  を押し、次に  を押して、[用紙]-[排紙/カット] を押した場合、プリンタから用紙が排出されて、先端が水平にカットされます。これが行われる理由はいくつかあります。


- 用紙が破れていたりまっすぐでない場合に、用紙の先端をカットするため
- 自動カッターが無効な場合に、用紙を排紙/カットするため
- プリンタが他のページのネスティングを待機中であるとき、待機時間をキャンセルして、印刷可能なページを直ちに印刷するため。


 **注記**：プリントヘッドは、印刷が終わるたびにサービスを受け、用紙は、プロセスが完了するまでカットできないため、遅れに気付く場合があります。

 **注記**：一部の用紙の種類は、自動カッターでカットできません。この場合、プリンタではカットを試みられることなく用紙が送られます。

 **注意**：排紙トレイからカットの切れ端を取り出します。出力トレイに用紙の切れ端や短い印刷用紙が残っている場合は、プリンタで紙詰まりが発生することがあります。



 **注記**：フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です ([144 ページの印刷が擦り切れる、または傷がつく](#)を参照)。

 **ヒント**：カットせずに用紙を移動するには、[48 ページの用紙の移動](#)を参照してください。

6 2本のロール紙を使用する (Z5600 のみ)

- [マルチロールプリンタの使用](#)
- [プリンタによるロール紙へのジョブの割り当て方法](#)

マルチロールプリンタの使用

マルチロールプリンタは、さまざまな方法で役立ちます。

- 必要に応じて、プリンタで用紙の種類を自動的に切り替えることができます。
- 必要に応じて、プリンタで用紙幅を自動的に切り替えることができます。これにより、小さいイメージを幅の狭い用紙に印刷して用紙を節約することができます。
- 同じ種類のロール紙をプリンタに取り付けると、最初のロール紙を使い切ると自動的に次のロール紙に切り替わるため、長時間の無人での印刷が可能になります。[67 ページの無人印刷/夜間印刷](#)を参照してください。



を押すと、両方のロール紙の現在のステータスが、フロントパネルに表示されます。

注記：保護されたロールは、ロール紙番号またはその用紙の種類が具体的に要求されない限り使用されないよう保護されています。[67 ページのロール保護](#)を参照してください。

注記：有効なロール紙を自動カッターでカットできない場合、自動的なロール紙切替が無効になり、カットできないロール紙を手動で取り外すまで、スタンバイロール紙に送信されたジョブが一時停止します。

注記：USB フラッシュドライブから印刷するか、または HP Direct Print を使用して印刷する場合、マルチロール印刷がかなり簡単に行えます。使用するロールを手動で指定するか、または **[用紙の節約]** を選択できます。どちらの場合も、プリンタは印刷に適する最も幅の狭いロールを選択します。用紙の種類を指定することはできません。


プリンタによるロール紙へのジョブの割り当て方法

内蔵 Web サーバまたはプリンタドライバから印刷ジョブを送信するときに、特定の用紙の種類への印刷を指定できます (**[用紙の種類]** または **[用紙の種類]** オプションを使用)。特定のロール紙 (1 または 2) への印刷も指定できます (**[給紙]**、**[給紙方法]**、または **[給紙トレイ]** オプションを使用)。プリンタでは、これらの要件を満たすように試行され、イメージを途切れないように印刷できる十分な大きさのロール紙が検索されます。


- 両方のロール紙がジョブに適している場合は、ロール切替ポリシーに従ってロール紙が選択されます。[23 ページのロール紙切替オプション \(Z5600 のみ\)](#)を参照してください。
- いずれかのロール紙のみがジョブに適している場合は、そのロール紙に印刷されます。
- どちらのロール紙もジョブに適していない場合は、用紙が一致しない場合の動作に応じて、一時停止されるか、適切でないロール紙に印刷されます。[23 ページの用紙が一致しない場合の動作](#)を参照してください。

Windows のプリンタドライバでは、現在プリンタに取り付けられている用紙の種類と幅、および印刷先のロール紙が通知されます。

通常の状況で使用される可能性がある設定を以下に示します。

 **注記：** [用紙の種類] および [給紙方法] 設定は、プリンタ ドライバと内蔵 Web サーバにあります。 [ロール紙切替ポリシー] は、フロントパネルで設定します。

- さまざまな種類の用紙が取り付けられている場合
 - － [用紙の種類]: 必要な用紙の種類を選択
 - － [給紙トレイ]: 自動選択/定義済み
 - － [ロール紙切替ポリシー]: 無効
- さまざまな幅の用紙が取り付けられている場合
 - － [用紙の種類]: プリンタ設定の使用
 - － [給紙トレイ]: 自動選択/定義済み
 - － [ロール紙切替ポリシー]: 用紙の消費を最小化

 **ヒント：** イメージの回転またはネスティングによって用紙を節約できる場合もあります。[65 ページの用紙を節約する](#)を参照してください。

- 同じロール紙が取り付けられている場合
 - － [用紙の種類]: プリンタ設定の使用
 - － [給紙トレイ]: 自動選択/定義済み
 - － [ロール紙切替ポリシー]: ロールの変更を最小化

7 印刷時

- [はじめに](#)
- [USB フラッシュドライブから印刷する](#)
- [内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility を使用してコンピュータから印刷する](#)
- [プリンタドライバを使用したコンピュータからの印刷](#)
- [詳細印刷設定](#)


はじめに

環境や設定に応じて、以下のさまざまな方法で印刷することができます。

- USB フラッシュドライブから直接、TIFF、JPEG、HP-GL/2、RTL、PDF、または PostScript ファイルを印刷します。[54 ページの USB フラッシュドライブから印刷する](#)を参照してください。
- すでにジョブキューにあるファイルを印刷します。[71 ページのキューからジョブを再印刷する](#)を参照してください。
- 内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility を使用して、プリンタに接続されたコンピュータから直接、TIFF、JPEG、HP-GL/2、RTL、PDF、または PostScript ファイルを印刷します。[55 ページの内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility を使用してコンピュータから印刷する](#)を参照してください。
- ファイルを開くことができるソフトウェアアプリケーション、およびプリンタ付属のプリンタドライバを使用して、プリンタに接続されているコンピュータからあらゆる種類のファイルを印刷します。[56 ページのプリンタドライバを使用したコンピュータからの印刷](#)を参照してください。

USB フラッシュドライブから印刷する

1. 1つ以上の TIFF、JPEG、HP-GL/2、RTL、PDF、または PostScript ファイルを含む USB フラッシュドライブをプリンタの USB ポートのいずれかに挿入します。

 **注記：** プリンタと USB フラッシュドライブの併用は、管理者によって無効になっている場合があります。[26 ページのプリンタへのアクセスを制御する](#)を参照してください。

2. フロントパネルで、ホーム画面に移動して、 を押します。
3. 印刷するファイルを選択します。印刷できるファイルには、ファイルの種類アイコンが付いています。



CALS ファイル



JPEG ファイル




PDF ファイル



PostScript ファイル






TIFF ファイル


印刷できないファイルには、 が付いています。


フォルダを押して、その内容を参照します。

4. デフォルト印刷設定が表示されます。変更する場合は、**[設定]** を押します。以下の設定があります。

- **[サイズ]**では、「元のサイズに対する比率」または「特定の用紙サイズに合わせる」の2つ方法で、印刷のサイズを変更できます。デフォルト値は100%です(元のサイズ)。
- **[カラー]**では、カラー印刷またはグレースケール印刷を選択できます。
- **[印刷品質]**では、印刷品質を**[高品質]**、**[標準]**、または**[高速]**に設定できます。
- **[ロール紙]**では、ロール紙1またはロール紙2で印刷を指定するか、または**[用紙の節約]**を選択して、印刷に適する最も幅の狭いロール紙を自動的に選択します。
- **[回転]**では、印刷対象を90度ごとに回転させることができます。また、**[自動]**を選択すると、印刷対象を自動的に回転させて、用紙が節約されます。
- **[プリンタのマージン]**には、2つのオプションがあります。
 - **[コンテンツからクリップ]**では、元のイメージからマージンがクリップされます。
 - **[コンテンツに追加]**では、元のイメージにマージンが追加されます。

 **注記:** この方法で、設定を変更する場合、変更された設定は現在のジョブに適用されますが、永久に保存されるわけではありません。デフォルト設定を変更するには、 を押し、次に  を押して、**[USBの詳細設定からの印刷]**を選択します。

5. フロントパネルに印刷されたジョブのプレビューを表示するには、 を押します。
プレビューが表示されたら、それを押して、拡大することができます。もう一度押すと、縮小することができます。
6. 印刷設定に満足している場合は、**[開始]**を押します。
7. 2本のロール紙が取り付けられている場合、どちらのロール紙で印刷するかを選択するか、またはプリンタに自動的に選択させることができます。

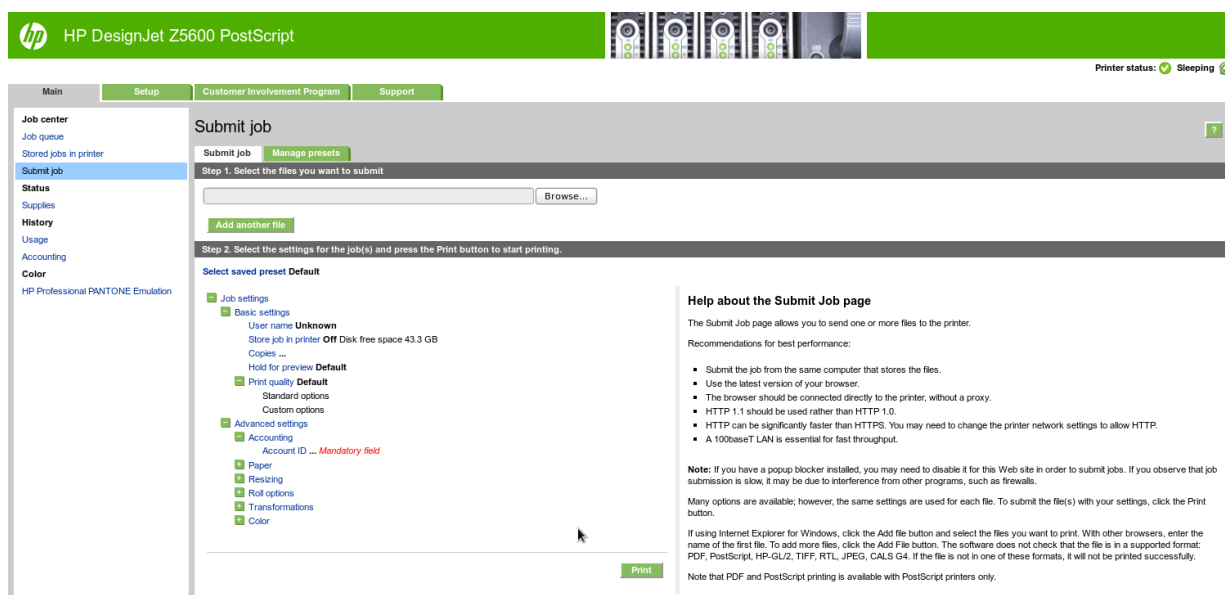
 **注記:** プリンタは、90度回転することによって用紙を節約できる場合には、自動的にイメージを90度回転させます。

8. 印刷後、別のファイルを印刷するか、またはジョブキューに移動するかを選択できます。ホーム画面に戻らずに直ちに別のファイルを印刷する場合は、前のファイルに使用された一時的な設定が再び使用されます。

内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility を使用してコンピュータから印刷する

プリンタの内蔵 Web サーバにアクセスできるコンピュータから、以下の方法でファイルを印刷できます。[29 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照してください。

内蔵 Web サーバで、**[メイン]**タブを選択して**[ジョブの送信]**を選択します。HP DesignJet Utility で、**[ジョブセンター]**-**[ジョブの送信]**を選択します。以下のウィンドウが表示されます。



[別のファイルを追加] ボタンを押して、印刷するコンピュータからファイルを選択します。ファイルは以下のいずれかの形式である必要があります。

- HP-GL/2
- RTL
- TIFF
- JPEG
- PDF
- PostScript

注記： ファイルに印刷する場合、ファイルは上記のいずれかの形式である必要がありますが、ファイル名は、.plt や .prn などの拡張子を持つことができます。

ファイルがこれらの形式のいずれでもない場合、ファイルは正常に印刷されません。

ジョブが適切な設定 (用紙サイズ、向き、サイズ変更、部数など) で生成された場合、**[印刷]** ボタンを押すだけでプリンタに送信されます。

印刷設定を指定する必要がある場合は、**[ジョブの設定]** セクションに移動し、必要なオプションを選択します。各オプションの右側には説明のテキストがあり、各設定の動作を確認できます。設定を**[デフォルト]**のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。ジョブに何も設定されていない場合は、プリンタの設定が使用されます。

いくつかのデフォルト以外の設定を選択していて、今後同じ設定グループを再使用する場合は、**[プリセットの管理]** タブから単一の名前下にあるすべてを保存し、後でその名前を使用して呼び出すことができます。

プリンタ ドライバを使用したコンピュータからの印刷

これはコンピュータから印刷する従来の方法です。正しいプリンタ ドライバがコンピュータにインストールされる必要があります ([13 ページの「ソフトウェアのインストール」](#)を参照)、またコンピュータはプリンタに接続される必要があります。

プリンタ ドライバがインストールされ、コンピュータがプリンタに接続されている場合は、アプリケーション独自の**[印刷]** コマンドを使用し、正しいプリンタを選択して、ソフトウェア アプリケーションから印刷できます。

詳細印刷設定

この章の残りの部分では、プリンタドライバ、内蔵 Web サーバ、または HP DesignJet Utility を使用して印刷する場合に使用可能なさまざまな印刷設定について説明します。これらの方法は、すべての要件を満たすために比較的多数の設定を提供しています。

※ **ヒント**：要件を満たさないことがわかっている場合を除いて、通常はデフォルト設定を使用することを推奨します。

ヒント：特定の設定グループを繰り返し使用する場合は、独自に選択した名前でこれらの設定を保存し、後で呼び出すことができます。保存された設定グループは、Windows プリンタドライバでは「クイック設定」、また、内蔵 Web サーバでは「プリセット」として知られています。

印刷品質を選択する

高品質の印刷では印刷速度が遅くなりますが、高速の印刷では印刷品質が低下するので、プリンタにはさまざまな印刷品質オプションが用意されています。



したがって、標準の印刷品質セレクトはスライダになっており、これを使用して品質と速度間の選択が可能です。用紙の種類によって適切な調整ができます。

その他の方法としては、ユーザ定義オプションの【高品質】、【標準】、および【高速】の中から選択します。【高速】を選択した場合、【Economode】を選択することもできます。Economode では、より低いレンダリング解像度が使用され、消費するインクが少なくなります。したがって、印刷速度はさらに向上しますが、印刷品質は下がります。【Economode】はユーザ定義オプションからのみ選択できます（スライダから選択することはできません）。

印刷品質に影響する追加カスタムオプションとして、【高精細】も提供されています。[63 ページの高品質で印刷する](#)を参照してください。

📖 **注記**：Windows ドライバのダイアログでは、ジョブに対するレンダリング解像度が【ユーザ定義オプション】に表示されます（【ユーザ定義オプション】を選択して【設定】を選択）。Mac OS X の【プリント】ダイアログのプリセットリストで【プリセットの表示】を選択し、【用紙/品質】リストを選択します。

印刷品質オプションは、以下の方法で指定することができます。


- **Windows ドライバのダイアログの場合**：【用紙/品質】タブに移動して【印刷品質】セクションを確認します。【標準オプション】を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。ユーザ定義オプションを選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **Mac OS X の【プリント】ダイアログの場合**：【用紙/品質】パネルに移動して【品質オプション】セクションを確認します。【標準】品質オプションを選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。カスタム品質オプションを選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **内蔵 Web サーバの【ジョブの送信】ページの場合**：【基本設定】-【印刷品質】を選択します。次に【標準オプション】を選択すると、【速度】および【品質】間の選択が可能です。ユーザ定義オプションを選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **フロントパネルを使用する場合**： を押し、次に  を押して、【セットアップ】-【印刷設定】-【印刷品質】。

📖 **注記**：コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。


📖 **注記**：プリンタに送信中または送信済みのページの印刷品質は、印刷がまだ開始されていない場合でも変更できません。



用紙サイズを選択


用紙サイズは、以下の方法で指定することができます。

 **注記**：ここでは、文書が作成された用紙サイズを指定する必要があります。印刷するために文書を拡大縮小できます。[60 ページの印刷を拡大縮小する](#)を参照してください。

- Windows ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質] タブを選択し、[文書サイズ] リストで用紙サイズを選択します。
- Mac OS X の [ページ設定] ダイアログの場合：[対象プリンタ] リストから使用するプリンタを選択し、[用紙サイズ] リストで用紙サイズを選択します。

 **注記**：アプリケーションに [ページ設定] ダイアログがない場合は、[印刷] ダイアログを使用してください。

- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[詳細設定]-[用紙]-[ページサイズ]-[標準] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[印刷設定]-[用紙オプション]-[用紙サイズを選択] を選択します。

 **注記**：コンピュータで用紙サイズが設定されている場合、フロントパネルで設定した用紙サイズよりもこちらが優先されます。

カスタム用紙サイズ

標準の用紙サイズ一覧にない用紙サイズを選択する場合は、さまざまな方法で指定できます。

Windows のプリンタ ドライバを使用する

1. [用紙/品質] タブを選択します。
2. [カスタム] ボタンを押します。
3. 新しい用紙サイズの名前と寸法を入力します。
4. [[OK]] を押します。新しい用紙サイズが自動的に選択されます。

この方法で作成されるカスタム用紙サイズには次の特徴があります。

- 用紙サイズは不変です。ドライバが閉じているか、コンピュータの電源がオフの場合、用紙サイズは表示されません。
- 用紙サイズは、プリンタ キューに対してローカルです。用紙サイズは、同じコンピュータの他のプリンタ キューから参照されません。
- Domain サーバネットワークでは、用紙サイズは、コンピュータに対してローカルです。用紙サイズは、プリンタ キューを共有する他のコンピュータから参照されません。
- Workgroup ネットワークでは、用紙サイズは、プリント キューを共有するすべてのコンピュータ間で共有されます。
- プリンタ キューが削除されると、用紙サイズも削除されます。

Windows の用紙を使用する

1. [スタート] メニューまたは [コントロールパネル] から、[プリンタと FAX] を選択します。
2. [ファイル] メニューから、[サーバのプロパティ] を選択します。


3. [用紙] タブで、[新しい用紙を作成する] ボックスをオンにします。
4. 新しい用紙サイズの名前と寸法を入力します。マージンは 0.00 のままにします。
5. [用紙の保存] ボタンをクリックします。
6. プリンタ ドライバに移動し、[用紙/品質] タブを選択します。
7. 用紙サイズのプルダウン メニューから [詳細...] を選択します。
8. カスタム サイズのグループから新しい用紙サイズを選択します。

この方法で作成されるカスタム用紙サイズには次の特徴があります。

- 用紙サイズは不変です。ドライバが閉じているか、コンピュータの電源がオフの場合、用紙サイズは表示されません。
- 制限されたユーザは新しい用紙を作成できません。Windows Active Directory の「ドキュメントの管理」ロールが最小限必要です。
- 用紙サイズは、コンピュータに対してローカルです。用紙サイズは、コンピュータで作成されたすべてのプリンタ キューまたはそのサイズの用紙をサポートするすべてのプリンタ キューで表示されます。
- プリンタ キューが共有される場合、この用紙サイズは、すべてのクライアント コンピュータで表示されます。
- プリンタ キューが別のコンピュータから共有される場合、この用紙サイズは、ドライバの文書サイズ一覧では表示されません。共有されるキュー内の Windows 用紙は、サーバで作成される必要があります。
- プリンタ キューが削除されても、用紙サイズは削除されません。

Mac OS X のプリンタ ドライバを使用する

1. [ページ設定] ダイアログに移動します。

 **注記：** アプリケーションに [ページ設定] ダイアログがない場合は、[印刷] ダイアログを使用してください。

2. [用紙サイズ]-[カスタム サイズを管理] を選択します。

内蔵 Web サーバを使用する場合


1. [ジョブの送信] ページに移動します。
2. [詳細設定]-[用紙]-[ページサイズ]-[カスタム] を選択します。

マージン オプションを選択する

デフォルトでは、イメージの端と用紙の端の間には 5mm マージンがあります (カット紙の下端では 17mm まで広がります)。ただし、いくつかの方法でこの動作を変更できます。

- Windows ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質] タブを選択し、[マージン/レイアウト] ボタンをクリックします。
- Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：[マージン/レイアウト] パネルを選択します。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[詳細設定]-[用紙]-[レイアウト/マージン] を選択します。

以下のオプションのいくつかが表示されます。


 **注記** : Mac OS X では、使用できるマージン オプションは選択した用紙サイズによって異なります。たとえば、フチ無し印刷では、「マージンなし」が含まれている用紙サイズ名を選択する必要があります。

- **[標準]** : イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に狭いマージンが取られます。イメージは、マージン部分より小さいサイズにする必要があります。
- **[オーバーサイズ]** : イメージは、選択したサイズより若干大きいページに印刷されます。マージンを切り落とす場合は、イメージの端と用紙の端の間にマージンを入れずに、選択したサイズのページを保持します。
- **[内容をマージンでクリップ]** : イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に狭いマージンが取られます。このオプションでは、イメージがページと同じサイズの場合、プリンタでイメージの両端が白または重要でないと判断され、印刷の必要がないと見なされます。これは、イメージにフチがある場合に役に立ちます。
- **[フチ無し]** : イメージは、選択したサイズのページにマージンなしで印刷されます。イメージは、イメージの端と用紙の端の間にマージンが残らないように、若干拡大されます。**[プリンタで自動]** を選択した場合、この拡大は自動的に行われます。**[アプリケーションで手動]** を選択した場合、印刷するページより若干大きいカスタム ページサイズを選択する必要があります。[63 ページのマージンなしで印刷する](#)も参照してください。

取り付けられている用紙への印刷

プリンタに取り付けられている任意の用紙にジョブを印刷するには、プリンタ ドライバの [用紙の種類] オプションで **[プリンタ設定の使用]** を選択します。

- **Windows ドライバのダイアログの場合** : [用紙/品質] タブを選択します。次に、[用紙の種類] プルダウン メニューから **[プリンタ設定の使用]** を選択します。
- **Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合** : [用紙/品質] パネルを選択し、[用紙の種類] プルダウンメニューから **[任意]** を選択します。

 **注記** : **[プリンタ設定の使用]** (Windows) または **[すべて]** (Mac OS X) がデフォルトで選択される用紙の種類です。

印刷を拡大縮小する



イメージを特定のサイズでプリンタに送信し、プリンタの側でサイズを拡大縮小 (大体は拡大) するように指定することができます。これは、次のような場合に便利です。

- 使用しているソフトウェアで大判印刷がサポートされていない場合。
- ファイルサイズが大きすぎてプリンタのメモリでは対応できない場合。この場合は、ソフトウェアで用紙サイズを小さくし、印刷時にフロントパネルのメニューを使用して拡大することができます。

プリンタでの拡大縮小は、以下の方法で行うことができます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合** : **[機能]** タブに移動して **[サイズ変更オプション]** セクションを確認します。
 - － **[文書を印刷する用紙]** オプションを使用すると、選択した用紙サイズで印刷できるように、イメージサイズを調整できます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO

A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。

- **[% (元のサイズに対する比率)]** オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲 (ページからマージンをマイナスした範囲) を指定した比率で拡大/縮小し、マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- Mac OS X の **[プリント] ダイアログ** の場合 : **[仕上げ]** パネルで **[文書を印刷する用紙]** を選択し、イメージサイズを調整する用紙サイズを選択します。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
- 内蔵 Web サーバの **[ジョブの送信] ページ** の場合 : **[詳細設定] - [サイズ変更]** を選択します。
 - **[標準]** オプションと **[カスタム]** オプションを使用すると、イメージサイズが、選択した標準またはカスタムの用紙サイズに調整されます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A4 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A3 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A3 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
 - **[% (元のサイズに対する比率)]** オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲 (ページからマージンをマイナスした範囲) を指定した比率で拡大/縮小し、マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- フロントパネルを使用する場合 :  を押し、次に  を押して、**[セットアップ] - [印刷設定] - [用紙オプション] - [サイズ変更]**。



1 枚の用紙に印刷する場合は、イメージをページ内に収めることができるかどうかを確認してください。イメージが途切れる可能性があります。

重なった線の処理方法を変更する

 **注記** : このトピックは HP-GL/2 ジョブを印刷する場合にのみ適用されます。

マージオプションでは、イメージ内での重なった線の処理方法を設定できます。以下の 2 種類の設定があります。

- オフ : 線が交差している場合、前面の線の色のみが印刷されます。これはデフォルトの設定です。
- オン : 線が交差している場合、2 つの線の色がマージされます。

マージ設定を [オン] にするには、フロントパネルに移動して、 を押し、次に  を押して、**[セットアップ] - [印刷設定] - [HP-GL/2 の設定] - [マージの有効化]** を選択します。一部のアプリケーションでは、ソフトウェアからマージオプションを設定できます。ソフトウェアの設定は、フロントパネルの設定よりも優先されます。

印刷をプレビューする



画面上で印刷をプレビューすると、印刷前に印刷のレイアウトを確認できます。これにより、誤った印刷による用紙やインクの無駄を防ぐことができます。

- Windows では、次のオプションで印刷をプレビューできます。



- アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
- **[印刷プレビューの表示]** オプションをクリックします。このオプションは、ドライバの**[用紙/品質]** タブと**[機能]** タブにあります。このプレビューは内蔵 Web サーバより提供され、Web ブラウザのウィンドウに表示されます。
- Mac OS X では、次のオプションで印刷をプレビューできます。
 - アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
 - 最新バージョンの Mac OS X の**[プリント]** ダイアログ ボックスの下部には、**[プレビュー]** ボタンがありません。印刷プレビューは常に、ほとんどのアプリケーションの**[プリント]** ダイアログ ボックスの左上に表示されます。
 - ジョブキュー ウィンドウで**[一時停止]** をクリックして、ジョブを印刷に送信し、**[プリンタに追加]** を選択します。次に、ジョブキュー ウィンドウでジョブをダブルクリックします。
 - **[プリント]** ダイアログ ボックスの下部にある**[PDF]** メニューから**[HP 印刷プレビュー]** オプションを選択します。印刷プレビューは、別個の HP 印刷プレビュー アプリケーションに表示されます。
- 内蔵 Web サーバを使用して印刷をプレビューするには、**[ジョブの送信]-[基本設定]-プレビュー待ち** を選択します。


試し印刷をする

高速の試し品質の印刷は、以下の方法で指定できます。

- Windows ドライバのダイアログの場合：**[用紙/品質]** タブに移動して**[印刷品質]** セクションを確認します。印刷品質のスライダを左端 (**[速度]**) まで移動させます。
- Mac OS X の**[プリント]** ダイアログの場合：**[用紙/品質]** パネルに移動し、印刷品質のスライダを左端 (**[速度]**) まで移動させます。
- 内蔵 Web サーバの**[ジョブの送信]** ページの場合：**[基本設定]-[印刷品質]-[標準オプション]-[速度]** を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[印刷設定]-[印刷品質]-[品質レベルの選択]-[高速]** を選択します。



以下の手順で Economode を使用して、さらに高速で試し品質の印刷を指定できます。これは、テキストや線画のみを含む文書を主に想定しています。


- Windows ドライバのダイアログの場合：**[用紙/品質]** タブに移動して**[印刷品質]** セクションを確認します。**[ユーザ定義オプション]** を選択し、品質レベルを**[高速]** に設定して、**[Economode]** チェック ボックスをオンにします。
- Mac OS X の**[プリント]** ダイアログの場合：**[用紙/品質]** パネルに移動して品質オプションを**[ユーザ設定]** に設定し、品質を**[高速]** に設定して**[Economode]** チェック ボックスをオンにします。
- 内蔵 Web サーバの**[ジョブの送信]** ページの場合：**[基本設定]-[印刷品質]-[カスタム]** を選択します。**[品質レベル]** を**[高速]** に設定し、**[Economode]** を**[オン]** に設定します。
- フロントパネルを使用する場合： を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[印刷設定]-[印刷品質]-[エコノモードの有効化]** を選択します。

 **注記：** コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

高品質で印刷する



高品質の印刷は、以下の方法で指定できます。


- Windows ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。印刷品質のスライダを右端 ([品質]) まで移動させます。
- Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：[用紙/品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを右端 ([品質]) まで移動させます。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[基本設定] - [印刷品質] - [標準オプション] - [品質] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： を押し、次に  を押して、[セットアップ] - [印刷設定] - [印刷品質] - [品質レベルの選択] - [高品質] を選択します。

 **注記**：コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

高解像度のイメージがある場合

イメージがレンダリング解像度より大きい解像度である場合 (Windows では [ユーザ定義オプション] で確認可能)、[高精細] オプションを選択すると、印刷の鮮明度を増すことができます。このオプションは、光沢紙に [高品質] 印刷品質で印刷する場合にのみ使用できます。

- ドライバのダイアログ (Mac OS X の [プリント] ダイアログ) の場合：[標準] 印刷品質ではなく [カスタム設定] を選択し、[高精細] ボックスをオンにします。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[基本設定] - [印刷品質] - [カスタム] を選択します。[品質レベル] を [高品質] に、[高精細] を [オン] に設定します。
- フロントパネルを使用する場合： を押し、次に  を押して、[セットアップ] - [印刷設定] - [印刷品質] - [高精細の有効化] を選択します。

 **注記**：[高精細] オプションを選択すると、フォト用紙の場合に印刷速度が遅くなりますが、使用するインク量が増えるわけではありません。


マージンなしで印刷する

マージンなしで (用紙の端まで) 印刷します。フチ無し印刷とも呼ばれます。光沢ロール紙を使用する場合のみ実行できます。

マージンを残さずに印刷するために、用紙の端より少し外側まで印刷されます。用紙の外に付着したインクは、プラテンに取り付けられたスポンジに吸収されます。

マージンなしで印刷する設定は、以下の方法で行います。


- Windows ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質] タブを選択し、[マージン/レイアウト] ボタンをクリックします。次に[縁なし]を選択します。
- Mac OS X の[ページ設定] ダイアログの場合：「マージンなし」という文字列が含まれた用紙サイズ名を選択します。次に、[プリント] ダイアログで[マージン/レイアウト]-[フチ無し]を選択します。

 **注記**：アプリケーションに[ページ設定] ダイアログがない場合は、[印刷] ダイアログを使用してください。

- 内蔵 Web サーバの[ジョブの送信] ページの場合：[詳細設定]-[用紙]-[レイアウト/マージン]-[縁なし]を選択します。

[縁なし]を選択する場合は、以下のいずれかのイメージ拡大オプションも選択する必要があります。

- [プリンタにより自動的に]を選択すると、プリンタは用紙のエッジを越えて印刷するために、自動的にイメージを僅かに(通常は、各方向に数 mm)拡大します。
- [アプリケーションにより手動で]を選択した場合は、アプリケーション自体でイメージを拡大し、かつ、実際の用紙サイズより僅かに大きいカスタム用紙サイズを選択する必要があります。

 **注記**：用紙をプリンタに取り付けた後、最初の印刷ジョブがフチ無し印刷ジョブの場合、印刷前に用紙の先端がカットされます。



フチ無し印刷の最後に、通常、印刷がフチ無しになるように、印刷された用紙が画像エリアの少し内側までカットされます。イメージの残りが次の印刷に含まれないようにするために、用紙が再度カットされます。ただし、ジョブがキャンセルされた場合、またはイメージの下部に余白がある場合、用紙は1度だけカットされます。

切り取り線付きで印刷する



切り取り線は、選択した用紙サイズまで縮めるにはどの位置で用紙をカットするべきかを示します。個々のジョブで自動的に切り取り線を印刷するには、以下の手順に従います。

- Windows ドライバのダイアログの場合：[機能] タブを選択し、[切り取り線]を選択します。
- Mac OS X の[プリント] ダイアログの場合：[仕上げ] パネルを選択して、次に[切り取り線]を選択します。
- 内蔵 Web サーバの[ジョブの送信] ページの場合：[詳細設定]-[ロール紙オプション]-[切り取り線の有効化]-[はい]を選択します。

または、以下の手順に従って、デフォルトで切り取り線を印刷する設定にすることもできます。

- 内蔵 Web サーバの場合：[セットアップ]-[プリンタ設定]-[ジョブ管理]-[印刷時に切り取り線を使用する]-[オン]を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[印刷設定]-[用紙]-[切り取り線の有効化]-[オン]を選択します。

ネスティングしたジョブ ([65 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する](#)を参照) で切り取り線を印刷するには、以下の異なるオプションを選択する必要があります。

- 内蔵 Web サーバの場合：[セットアップ]-[プリンタ設定]-[ジョブ管理]-[ネスティング有効時に切り取り線を使用する]-[オン]を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[ジョブ管理]-[ネスティングの設定]-[切り取り線の有効化]-[オン]を選択します。

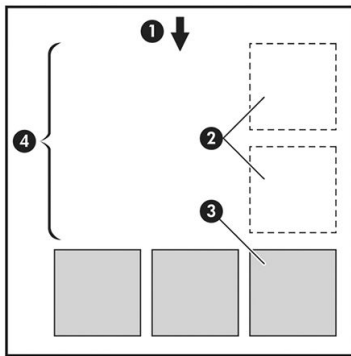
用紙を節約する

用紙を節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 比較的小さいイメージや文書ページを印刷する場合は、ネスティングを使用して、順々に印刷するのではなく並べて印刷できます。[65 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する](#)を参照してください。
- 以下のオプションを選択すると、ロール紙を節約できます。
 - Windows ドライバのダイアログの場合：[機能] タブを選択し、[上下の余白を削除] を選択し、必要に応じて [90°回転] または [自動回転] を選択します。
 - Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：[仕上げ] パネルを選択し、[余白を削除] または [90°回転] あるいはその両方を選択します。
 - 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[詳細設定] - [ロール紙オプション] - [上下の余白を削除] または [回転] あるいはその両方を選択します。
- 印刷前にコンピュータ上で印刷プレビューを確認することで、明らかな間違いのある印刷を避けることができ、用紙を節約できます。[61 ページの印刷をプレビューする](#)を参照してください。

ジョブをネスティングしてロール紙を節約する

ネスティングとは、イメージまたは文書の複数のページを順々にではなく同じ用紙に並べて自動的に印刷することです。これにより、用紙を節約することができます。



1. 用紙が進む方向
2. ネスティング オフ
3. ネスティング オン
4. ネスティングで節約される用紙

プリンタがページをネスティングする場合

次の両方に当てはまる場合：

- プリンタに、カット紙ではなくロール紙が取り付けられている。
- プリンタの [ネスティング] オプションの設定がオンになっている。[24 ページのネスティングをオン/オフにする](#)を参照してください。

ネスティングが可能なページ

ページが大きすぎてロール紙に横に並べて収まらない場合やページが多すぎてロール紙の残りの長さに収まらない場合を除いて、すべてのページをネスティングできます。ネスティングによって1つのグループになったページは、2つのロール紙間で分割できません。



ネスティングに適したページ

同じネスト内にページを入れるには、個々のページが次のすべてに当てはまる必要があります。

- すべてのページが、同じ印刷品質の設定 ([Economode]、[高速]、[標準]、または [高品質]) であること。
- すべてのページで [高精細] の設定が同じであること。
- すべてのページで [レイアウト/マージン] の設定が同じであること。
- すべてのページで同じ [左右反転] 設定であること。
- すべてのページで [レンダリング用途] 設定が同じであること。
- すべてのページで [カッター] の設定が同じであること。
- ページはすべてカラーか、すべてグレースケールであること。つまり、一部がカラーで一部がグレースケールではないこと。
- すべてのページが次の2つのグループのいずれかに属している(2つのグループは同じネストに混在できない)。
 - － HP-GL/2、RTL、TIFF、JPEG
 - － PostScript、PDF
- 解像度が 300dpi を超える解像度の JPEG および TIFF ページは、他のページとネスティングできない場合があります。

プリンタが別のファイルを待つ時間

プリンタはネスティングを最適化できるように、ファイルを受け取ってから待ち、その後続くページがファイルにネスティングされているか、またはすでにキューにあるページにネスティングされているかを確認します。この待ち時間はネスティング待ちと呼ばれ、デフォルトで2分に設定されています。これは、プリンタが最後のファイルを受け取ってから最後のネスティングを印刷するまで待機する最大時間が2分であることを意味します。プリンタのフロントパネルからこの待ち時間を変更

できます。 を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[ジョブ管理オプション]-[ネスティングの設定]-[待ち時間の選択] を選択します。使用可能な範囲は、1～99分です。

プリンタがネスティングのタイムアウトまで待っている間、残り時間がフロントパネルに表示されません。

インクを節約する

インクを節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 試し印刷を行うには、普通紙を使用し、印刷品質スライダをスケールの左端 ([速度]) まで移動させます。さらに経済的にするには、ユーザ定義オプションを選択し、[高速] および [Economode] を選択します。
- プリントヘッドのクリーニングは、必要なときだけ、クリーニングが必要なプリントヘッドのみ行います。プリントヘッドのクリーニングは便利ですが、少量のインクを消費します。
- プリンタの電源を入れたままにしておくと、プリンタが自動的にプリントヘッドを良好な状態に維持します。このプリントヘッドの定期保守では少量のインクが使用されますが、この定期保守を行わない場合、プリントヘッドの状態を回復するために、より多くのインクが使用される必要があります。
- プリントヘッドの保守では少量のインクが使用され、その頻度はプリントヘッドによって行われるパス数に関連するため、縦向きで印刷するより、横向きで印刷するほうがインクを節約できま


す。したがって、ジョブをネスティングすることで用紙を節約するとともにインクも節約できます ([65 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する](#)を参照)。


ロール保護

ロール紙を保護すると、ロール紙番号またはロール紙に取り付けられる用紙の種類が明示的に指定されている場合にのみジョブがそのロール紙に印刷されます。これは、たとえば以下の場合に便利です。

- 重要でないジョブが高価な用紙に誤って印刷されないようにする場合。
- HP プリンタ ドライバを操作せずに AutoCAD から印刷するときに、特定のロール紙に印刷されないようにする場合。

ロール紙を保護するには、フロントパネルで  を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[印刷設定]-[用紙オプション]-[ロールの保護]。

 **注記** : ロール紙を保護し、後で現在のロール紙を取り外して新しいロール紙を取り付けた場合、新しいロール紙も保護され続けます。特定のロール紙ではなく、ロール紙番号を保護しているためです。そのロール紙番号は、保護をキャンセルするまで保護されたままになります。


 **ヒント** : ロール紙番号または用紙の種類を指定せずに印刷する場合は、保護されたどのロール紙にも印刷できません。

無人印刷/夜間印刷



このプリンタは、マルチロール機能、および信頼性の高い、一貫性のある印刷品質を提供し、長時間の無人印刷ジョブに最適です。

長い印刷ジョブのキューの処理を行う場合は、次の推奨事項を参考にしてください。

- 可能であれば、新品の長いロール紙を使用します。
- 一部使用済みのロール紙に印刷する場合は、内蔵 Web サーバまたはフロントパネルで用紙の種類と残りの長さをチェックし、すべてのジョブを印刷できる十分な長さの用紙があることを確認できます。

 **注記** : 残りの長さに関する情報は、ロール紙を取り付けたときにその長さをプリンタに入力した場合、またはプリンタがロール紙に印刷されたバーコードからその長さを読み取った場合にのみ確認できます。

- ジョブに適している 2 つのロール紙を取り付けます。1 つのロール紙が終了したら、もう 1 つのロール紙に自動的に切り替えられます。
- 2 本のロール紙を使用する場合は、1 本目のロール紙にカットできない用紙(キャンバスなど)を使用しないでください。これは、プリンタで他のロール紙に切り替えることができなくなるためです。
- すべてのジョブを印刷できる十分な幅の用紙があることを確認します。幅が広すぎるジョブは、用紙が一致しない場合の動作が **[ジョブを保留にする]** に設定されている場合、一時停止することがあります ([23 ページの用紙が一致しない場合の動作](#)を参照)。
- インクカートリッジのインク残量を確認します。
- 印刷ジョブを送信したら、遠隔地から内蔵 Web サーバを使用して、そのステータスを監視できます。

- [乾燥時間] を **[最適]** に設定する必要があります。
-  を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[印刷設定]-[用紙オプション]-[ロール紙切替オプション]-[ロール紙の変更を最小化]または[用紙の少ないロール紙を使用]を選択します。

用紙および印刷の種類に応じて、以下の設定を推奨しています。

無人での印刷の推奨設定

印刷の種類	印刷品質	高精細	乾燥時間	用紙の種類
行	標準	オフ	最適	コート紙、普通紙、厚手コート紙、光沢紙
線と塗りつぶし	標準	オフ	最適	コート紙、普通紙、厚手コート紙、光沢紙
地図	高品質	オフ	最適	コート紙、厚手コート紙、光沢紙
レンドリング、写真	高品質	オフ	最適	コート紙、厚手コート紙、光沢紙


8 Web に接続されている印刷

プリンタは、Web に接続するとさまざまなメリットがあります。

- 自動ファームウェアアップデート ([117 ページのファームウェアをアップデートする](#)を参照)
- 印刷するファイルが添付ファイルとして付属した電子メールメッセージをプリンタに送信することで、そのプリンタで印刷します。PDF、TIFF、および JPG ファイルがサポートされています。

最新情報については、<http://www.hp.com/go/designjetprinters> を参照してください。

電子メールから印刷する

Web サービスを有効にしたら、電子メールからプリンタで印刷することができます。Web サービスメニューまたは ePrint メニューを確認するか、ホーム画面ヘッダーの  アイコンを押してプリンタの電子メールアドレスを確認し、印刷するファイルを添付ファイルとしてその電子メールアドレスに送信するだけです。


この方法では、プリンタドライバがなくてもインターネット接続を使用してどこからでも印刷できます。ただし、いくつか制限がある点に注意してください。

- 印刷する添付ファイルは PDF、JPEG、または TIFF 形式にする必要があります。
- 最大ファイルサイズは 10MB ですが、電子メールサーバ側の制限がそれより小さいことがあります。
- ファイルは、元のドキュメントサイズ(100%の倍率)、標準印刷、カラー、および通常は縦向き(一部のプリンタでは自動回転されます)で印刷されます。
- 用紙の種類は、普通紙に設定されています。他の用紙の種類を取り付けると、用紙が一致しない場合の動作に応じて、プリンタで印刷がそのまま実行されるか、保留されます ([23 ページの用紙が一致しない場合の動作](#)を参照)。

9 ジョブキューの管理

- [フロントパネルのジョブキュー](#)
- [内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility のジョブキュー](#)

フロントパネルのジョブキュー

フロントパネルでジョブキューを表示するには、ホーム画面で  を押します。

ジョブキューのページ


ジョブキューのページには、ジョブキューにあるすべてのジョブが表示されます。このページには、受信、解析、レンダリング、印刷されているジョブ、およびすでに印刷されたジョブが含まれます。


各行に、ジョブの名前とそのステータスが表示されます。ジョブのプレビューを含む、特定のジョブについての詳細は、ジョブを示す行を押してください。


何らかの理由で完了できないジョブは、キューの最上部に表示されます。

ジョブのプレビュー



プリンタでは送信されてくる各ジョブについて、ジョブのプレビューとして表示可能な JPEG ファイルを生成します。ジョブのプレビューはジョブが処理されるたびに利用できます。

 **注記:** 64 ページを超えるジョブをプレビューしないでください。ソフトウェアの問題が発生する可能性があります。

ジョブをプレビューするには、まず、ジョブキューにジョブの名前を入力します。フロントパネルに、ジョブについての情報のページが表示されます。プレビューを表示するには、 を押します。



 **注記:** プレビューは、管理者によってブロックされる場合があります。その場合には表示できません。

プレビューが表示されたら、それを押して、拡大することができます。もう一度押すと、縮小することができます。

また、前のジョブをプレビューするには、 を押し、次のジョブをプレビューするには、 を押すこともできます。

キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する

 **注記:** [印刷の開始] オプションは、PostScript ジョブでは使用できません。

キュー内にあるファイルを印刷したい時点で選択できます。 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[ジョブ管理オプション]-[印刷の開始]** を選択します。

選択可能な3つのオプションがあります。

- **[処理後]** が選択される場合、プリンタはページ全体が処理され印刷が開始されるまで待機します。これは最も時間がかかる設定ですが、大量で複雑な印刷の場合に最高の印刷品質を保証します。
- **[すぐに]** が選択される場合、プリンタはページの処理時に印刷します。これは最速の設定ですが、プリンタはデータを処理するために、印刷の途中で終了する場合があります。この設定は、濃い色の複雑なイメージには推奨されません。
- **[最適化]** が選択される場合 (これはデフォルト設定です)、プリンタはページの印刷を開始する最適な時間を計算します。通常は、**[処理後]** および **[すぐに]** の設定間で最適な調整を行います。

キュー内の特定ジョブを優先させる

キュー内のジョブを選択して、次に印刷するジョブにすることができます。ジョブを選択したら、**[キューの先頭に移動する]** を押します。

ネスティングがオンになっている場合は、優先させたジョブも他のジョブと一緒にネスティングされます。このジョブをどうしても次に印刷する必要があり、他のジョブとネストしない場合は、まずネスティングをオフにして、前述の方法でキューの先頭にジョブを移動します。

以下の場合には、**[キューの先頭に移動する]** ボタンは表示されません。

- ジョブがすでにキューの先頭にある
- ジョブが保留状態にある：この場合には、代わりに、**[印刷の再開]** ボタンが表示されます。
- ジョブが終了している：この場合には、代わりに、**[再印刷]** ボタンが表示されます。
- ジョブが何らかのエラー状態にある

キュー内のジョブを一時停止する

現在印刷中のキュー内のジョブを選択する場合、**[一時停止]** ボタンが表示され、これを押すと印刷を一時停止することができます。**[一時停止]** ボタンは **[再開]** ボタンに変わり、これを押すと印刷を再開することができます。

または、ジョブキュー画面の右上にある **[オプション]** ボタンを押し、次に **[印刷の一時停止]** を押すことができます。


キューからジョブを再印刷する

すでに印刷されたジョブを再印刷するには、キューからジョブを選択して、次に **[再印刷]** を選択します。

印刷ジョブを再印刷すると、ジョブがすでにラスタライズされているため、印刷設定を変更できません。

キューからジョブを削除する

通常的环境下、印刷後にキューからジョブを削除する必要はありません。これは、さらにファイルが送信されるとキューの末尾からジョブが消えていくためです。ただし、ファイルを間違えて送信し、それを印刷しないという場合は、ジョブを選択して、**[削除]** を押すことができます。


 **注記**：管理者パスワードが設定されている場合は、管理者パスワードが必要です。

同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。

ジョブが現在印刷中 (ステータスが「印刷しています」) の場合は、【キャンセル】を押し、次に【削除】を押すことができます。

すべてのジョブを削除する

キュー内のすべてのジョブを削除するには、ジョブ キュー画面の右上にある【オプション】ボタンを押し、次に【ジョブをすべて削除】を押します。

 **注記**：管理者パスワードが設定されている場合は、管理者パスワードが必要です。

ジョブのキューをオフにする

ジョブ キューをオフにするには、 を押し、次に  を押して、【セットアップ】-【ジョブ管理オプション】-【キュー】-【オフ】を選択します。

内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility のジョブキュー

HP DesignJet Utility は、内蔵 Web サーバのジョブ管理機能にアクセスする異なる方法を提供しますが、その機能は、内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility のどちらを使用してもまったく同じです。

内蔵 Web サーバでキューを表示するには、**[メイン]** タブの **[ジョブキュー]** を選択します。

ジョブキューのページ

デフォルトでは、すべてのユーザがジョブキューにアクセスできます。管理者がパスワードを設定することによって、ユーザが次の操作を行う際にパスワードを必要とすることができます。

- ジョブのプレビューの表示
- ジョブのキャンセルまたは削除


ジョブキューのページには、印刷キューにあるすべてのジョブが表示されます。印刷キューには、受信、解析中、レンダリング中、印刷中、およびすでに印刷されたジョブが含まれます。

内蔵 Web サーバでは、印刷ジョブごとに、以下の情報が表示されます。

- **[プレビュー:]** ジョブプレビューを表示するにはこのアイコンをクリックします。ジョブのプレビューは、ジョブが処理されるたびに利用できます。
- **[ファイル名:]** ジョブのプロパティを表示するには、ファイル名をクリックします。
- **[ステータス:]** 現在のジョブステータスを表示します。
- **[ページ数:]** ジョブのページ数。
- **[部数:]** 印刷される部数。
- **[日付:]** プリンタがジョブを受信した日時。
- **[ユーザ:]** ユーザの名前。

キュー内のジョブは対応する列のタイトルをクリックして、(プレビューを除く)任意の情報項目別にソートできます。キュー内の1つまたはすべてのジョブで以下の操作を実行できます。

- **[キャンセル:]** 選択したジョブをキャンセルします。ジョブがキャンセルされる前に確認するように要求されます。ジョブはプリンタに保存されたままですが、**[再印刷]** をクリックしない限り印刷は行われません。
- **[保留:]** **[続行]** をクリックして印刷を続行するまで、選択したジョブを保留します。
- **[続行:]** 保留状態にあるすべての選択したジョブが印刷を続行します。
- **[再印刷:]** ジョブのコピーをさらに印刷します。コピー部数(デフォルトは1、最大99)を入力し、**[印刷]** をクリックします。
- **[キューの先頭に移動する:]** すべての選択したジョブをジョブキューの先頭に送信します。
- **[削除:]** ジョブキューから選択したジョブを削除します。ジョブが削除される前に確認するように要求されます。


 **注記:** **[削除]** 操作は、管理者によって無効にすることができます。

- **[更新:]** ページを更新し、情報がアップデートされていることを確認します。

 **注記:** ジョブキューページは自動的にアップデートされません。

ジョブのプレビュー


プリンタでは送信されてくる各ジョブについて、ジョブのプレビューとして表示可能な JPEG ファイルを生成します。ジョブのプレビューはジョブが処理されるたびに利用できます。

 **注記:** 64 ページを超えるジョブをプレビューしないでください。ソフトウェアの問題が発生する可能性があります。

プレビュー ページにアクセスするには、虫めがねのアイコンをクリックします。虫めがねのアイコンはジョブ キュー ページの [プレビュー] 列に表示されます。プレビュー ページには、ジョブのサムネイルプレビューと共に、以下のジョブの詳細が表示されます。

- **[ファイル名:]** ジョブのファイル名。
- **[取り付けられている素材:]** プリンタに取り付けられている用紙の種類。
- **[ジョブの寸法:]** ジョブの寸法です。

より大きなジョブのプレビューを見るには、ジョブのサムネイルまたは虫めがねのアイコンをクリックします。虫めがねのアイコンはプリンタのイメージの右側に表示されます。

 **注記:** Adobe Flash プラグインが入っていないブラウザでは、ジョブのイメージが黄みがかって表示されます。Adobe Flash プラグインのバージョン 7 以上が入っているブラウザでは、プリンタに取り付けられている用紙にジョブのイメージが印刷された状態の高機能プレビューが表示されます。

キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する

 **注記:** [印刷の開始] オプションは、PostScript ジョブでは使用できません。

キュー内にあるファイルを印刷したい時点で選択できます。**[セットアップ]** タブを選択し、**[プリンタ設定]** - **[印刷の開始]** を選択します。

選択可能な 3 つのオプションがあります。

- **[処理後]** が選択される場合、プリンタはページ全体が処理され印刷が開始されるまで待機します。これは最も時間がかかる設定ですが、大量で複雑な印刷の場合に最高の印刷品質を保証します。
- **[すぐに]** が選択される場合、プリンタはページの処理時に印刷します。これは最速の設定ですが、プリンタはデータを処理するために、印刷の途中で終了する場合があります。この設定は、濃い色の複雑なイメージには推奨されません。
- **[最適化]** が選択される場合 (これはデフォルト設定です)、プリンタはページの印刷を開始する最適な時間を計算します。通常は、**[処理後]** および **[すぐに]** の設定間で最適な調整を行います。

キュー内の特定ジョブを優先させる

キュー内の任意のジョブを選択して、次に印刷するジョブにすることができます。ジョブを選択したら、**[再印刷]** をクリックします。

ネスティングがオンになっている場合は、優先させたジョブも他のジョブと一緒にネスティングされます。このジョブをどうしても次に印刷する必要があり、他のジョブとネストしない場合は、まずネスティングをオフにして、前述の方法でキューの先頭にジョブを移動します。

キューからジョブを削除する


通常的环境下では、印刷後にキューからジョブを削除する必要はありません。これは、さらにファイルが送信されるとキューの末尾からジョブが消えていくためです。ただし、ファイルを間違えて送信し、それを印刷しないという場合は、ジョブを選択して、**[削除]** を選択することができます。


同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。


ジョブが現在印刷中(ステータスが「印刷しています」)の場合は、[キャンセル]を押し、次に[削除]を選択することができます。

キュー内のジョブを再印刷またはコピーする

キュー内のジョブのコピーを再印刷または作成するには、内蔵 Web サーバでジョブを選択し、[再印刷]アイコンをクリックして、部数を指定します。ジョブはキューの先頭に移動されます。フロントパネルからキュー内でまだ印刷されていないジョブの印刷物を複数部作成するには、ジョブを選択し、[部数]を選択して、必要な部数を指定します。上記の設定は、ソフトウェアで指定された値より優先されます。

 **注記:** ファイル送信時に[回転]が[オン]になっている場合は、各コピーもすべて回転した状態で印刷されます。


 **注記:** この方法は、PCL3 ジョブでは使用できません。以前のジョブが PCL3 である場合、使用するオペレーティングシステムのプリンタ スプーラで再印刷できます。ただし、以前のジョブを保存するようスプーラを設定しておく必要があります。この機能は、使用するオペレーティングシステムによって異なります。


 **注記:** 印刷ジョブを再印刷すると、ジョブがすでにラスタライズされているため、印刷設定を変更できません。

ジョブのステータス メッセージ

以下は、表示されるジョブのステータス メッセージです。メッセージはおおよそ、この順序で表示されます。

- **データを受信しています:** プリンタがコンピュータからジョブを受信しています。
- **処理を待っています:** ジョブがプリンタで受信され、レンダリングを待っています(埋め込み Web サーバ経由で送信されたジョブのみ)。
- **データを処理しています:** プリンタがジョブを解析およびレンダリングしています。
- **印刷の準備を行っています:** プリンタがジョブの印刷前に出力システムの確認を実行中です。
- **印刷待ち:** 印刷エンジンが印刷に移行できるようになるのを待っています。
- **ネスティング待ち:** プリンタでネスティングがオンに設定されているため、ネスティングを完了して印刷に移行するために他のジョブを待っています。
- **一時停止しています:** ジョブは[プレビューを表示する]オプションを使用して送信され、一時停止中です。

 **注記:** プレビューするページが 64 ページを超えるジョブを送信しないでください。ドライバソフトウェアがクラッシュする可能性があります。

 **注記:** ジョブの印刷中にプリンタが停止した場合、キュー機能がオンになっていると、一部しか印刷されていないジョブはプリンタが再起動したときに、キューに「一時停止しています」と表示されます。ジョブを再開すると、中断したページから印刷が開始されます。

- **適当な用紙を待っています:** 正しい用紙がプリンタに取り付けられていないため、または有効なロール紙をカットできないことからプリンタでスタンバイ ロール紙に自動的に切り替えられないため、ジョブを印刷できません。必要な用紙を取り付け(34 ページの「用紙の取り扱い」を参照)、[続行]をクリックしてジョブを再開します。
- **アカウント ID 情報を待機中:** プリンタがすべてのジョブにアカウント ID を要求しているため、ジョブを印刷できません。ジョブを再開するには、アカウント ID を入力して[続行]をクリックします。

※ **ヒント**：アカウント ID を設定するには、[27 ページのアカウント ID を要求する](#)を参照してください。

- 印刷時
- 乾燥中
- 用紙をカットしています
- 素材を排出しています
- キャンセルしています：ジョブはキャンセルされましたが、プリンタのジョブキューには残りません。
- 削除しています：プリンタからジョブを削除しています。
- 印刷済み
- キャンセル：プリンタによってジョブがキャンセルされました。
- ユーザの指示によりキャンセルしました
- ジョブがありません：ジョブに印刷するものが含まれていません。

保留中のジョブを再度有効にする

プリンタが保留中のジョブを置く場合、アラートを受信します ([167 ページのアラート](#)を参照)。これには、ジョブが保留中である理由が説明されています。画面に表示される指示に従って、保留を解除、印刷を続行します。

ジョブのキューをオフにする

ジョブキューをオフにするには、**[セットアップ]** タブを選択し、**[プリンタ設定]**-**[ジョブ管理]**-**[キュー]**を選択して**[オフ]**を選択します。

10 カラーマネジメント

- [はじめに](#)
- [色が表される仕組み](#)
- [カラーマネジメントプロセスの概要](#)
- [カラーキャリブレーション](#)
- [プリンタドライバからのカラーマネジメント](#)
- [プリンタドライバからのカラーマネジメント](#)
- [内蔵 Web サーバからのカラーマネジメント](#)
- [フロントパネルからのカラーマネジメント](#)

はじめに

カラー マネージメントは、ディスプレイまたは印刷デバイスで可能な限り正確に色を再現できる一連のソフトウェア ツールを使用して実行されます。

加えて、本プリンタは、先進のハードウェアとソフトウェアによって期待通りの信頼できる結果を約束します。

- 一貫した色を再現するためにカラーキャリブレーションを行います。
- フォト ペーパーに印刷するときは、フォトブラック インクが純粋な黒を再現します。
- その他の HP DesignJet プリンタのカラー エミュレーション

色が表される仕組み

カラーは通常、数字の配列で表されます (RGB カラー モデルでは 3 つの数字または CMYK のカラー モデルでは 4 つの数字)。これらの数字は、特定のカラーを生成する混合で使用されるベースカラーの尺度です。RGB は、赤 (Red)、緑 (Green)、青 (Blue) の混合を使用して特定のカラーを生成していることを意味します。CMYK の場合は、シアン (Cyan)、マゼンタ (Magenta)、イエロー (Yellow)、キー (Key) (キーは、歴史的な理由で黒を意味します)。

ほとんどのモニタでは RGB モデルが使用されますが、ほとんどのプリンタでは CMYK カラー モデルが使用されます。

イメージは、あるカラー モデルから別のカラー モデルに変換できます。ただし、一般に変換は完全ではありません。本プリンタは、RGB カラー モデルを使用しています。これは、モニタで使用されているものと同じカラー モデルです。

これにより、カラーのマッチングの問題は単純化されますが、完全に解決されるわけではありません。各デバイスは、たとえ同じカラー モデルを使用していても、他のデバイスとは少し異なるカラーを再現します。ただし、カラー マネジメントソフトウェアから、特定のデバイスの特性に従ってイメージのカラーを調整できます。その際、正しい色を実現するためにデバイスのカラー プロファイルが使用されます。

カラー マネジメント プロセスの概要

正確で一貫した期待どおりの色を得るために、使用する用紙の種類に応じて以下の手順に従ってください。



1. 一貫した色を再現するために、用紙の種類に対してカラーキャリブレーションを行います。キャリブレーションはときどき行う必要があります ([78 ページのカラーキャリブレーション](#)を参照)。また、特に色再現が重要な印刷ジョブの前には、ただちにキャリブレーションを実行します。
2. 印刷時に、使用する用紙の種類に合った適切な用紙プリセットを選択します。用紙プリセットには、カラー プロファイルと用紙の他のさまざまな特徴が含まれます。[45 ページの用紙プリセット](#)を参照してください。

カラー キャリブレーション


カラーキャリブレーションを行うことによって、プリンタの特定のプリントヘッド、インク、および使用する用紙の種類に合わせて、また特定の環境条件に応じて、色調を統一することができます。カラーキャリブレーションを行うと、異なる場所にある 2 つのプリンタから同様の印刷物を出力することができます。

用紙の種類によってはキャリブレーションを行うことができない場合があります。それ以外の種類の用紙では、以下の状況の場合にキャリブレーションを行ってください。


- プリントヘッドを交換した場合
- 現在のプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない新しい用紙の種類を使用する場合
- 環境条件 (温度や湿度など) が大きく変化した場合

現在取り付けられている用紙のカラー キャリブレーション ステータスは、フロントパネルの  を押し、次に  を押すことで、いつでも確認できます。ステータスは以下のいずれかになります。

- **推奨:** この用紙でキャリブレーションが実行されていません。




 **注記:** プリンタのファームウェアを更新した場合、すべての用紙のカラーキャリブレーション ステータスは**推奨**にリセットされます。

- **失効:** この用紙でキャリブレーションが実行されましたが、プリントヘッドが交換されて現在失効しているため、キャリブレーションをもう一度実行する必要があります。
- **完了:** この用紙でキャリブレーションが実行され、そのキャリブレーションが有効です。
- **無効:** この用紙でキャリブレーションを実行することはできません。

 **注記:** カラーキャリブレーションは、普通紙やすべての種類の透明紙では実行できません。

カラーキャリブレーションのステータスは、HP DesignJet Utility でも確認できます。

カラーキャリブレーションは、以下の方法で開始できます。

- HP DesignJet Utility (Windows) から : **[Color Center] - [用紙のキャリブレーション]** を選択し、キャリブレーションを実行する用紙を選択します。
- HP DesignJet Utility (Mac OS) から : **[用紙プリセット管理]** を選択して、キャリブレーションを実行する用紙を選択し、 ボタンを押して **[用紙のキャリブレーション]** を選択します。
- フロントパネルで  を押し、次に  を押して、**[イメージ品質の保守] - [カラー キャリブレーション]** を押します。

キャリブレーション プロセスは完全自動であり、キャリブレーションする種類の用紙 (幅が 355 mm を超える用紙) を取り付けした後、自動的に実行できます。複数のロールが取り付けられている場合、キャリブレーションに使用するロールの確認が求められます。

この処理には 3~5 分ほどかかります。以下の手順で実行されます。

1. キャリブレーションチャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチが印刷されています。



2. チャートは、インクが乾いてカラーが安定するまでプリンタに保持されます。この時間は用紙の種類によって異なります。
3. チャートがスキャンされ、計測されます。
4. 計測結果を基に、必要な修正要素が算出され、その用紙の種類で再現性のあるカラー印刷を行うために適用されます。また、その用紙に使用される各インクの最大量も計算されます。


プリンタドライバからのカラーマネジメント

カラーマネジメントオプション

カラーマネジメントの目的は、あらゆるデバイスで色をできるだけ正確に再現することにあります。これによって、イメージを印刷するとき、モニタ上でそのイメージを見たときと限りなく近い色で印刷することができます。

プリンタのカラーマネジメントには2つの基本的な方法があります。

- **[アプリケーションで管理]**：この場合、アプリケーションプログラムで、イメージに埋め込まれた ICC プロファイルやプリンタおよび用紙の種類の ICC プロファイルを使用して、プリンタおよび用紙の種類のカラースペースに合わせてイメージの色が変換されます。
- **[プリンタで管理]**：この場合、アプリケーションプログラムではカラー変換が行われずにイメージがプリンタに送信され、プリンタでカラースペースに合わせて色に変換されます。このプロセスの詳細は、使用しているグラフィック言語によって異なります。
 - － **PostScript**: PostScript インタプリター モジュールでは、プリンタに保存されたプロファイルおよび PostScript ジョブと共に送信された追加のプロファイルを使用してカラー変換を実行します。この種のカラーマネジメントは、PostScript ドライバを使用してプリンタのカラーマネジメントを指定した場合や、内蔵 Web サーバを介してプリンタに PostScript、PDF、TIFF または JPEG ファイルを直接送信した場合に実行されます。どちらの場合も、デフォルトとして使用するプロファイル(ジョブで指定されない場合に備えて)および適用するレンダリング用途を選択する必要があります。
 - － **PostScript 以外 (PCL3、HP-GL/2、CAL5/G4)**: カラーマネジメントは、保存されたカラーテーブルのセットを使用して実行されます。ICC プロファイルは使用されません。この方法は他の方法よりも用途が限られていますが、使いやすさや速さに優れ、標準的な HP の用紙の種類で良好な結果が得られます。この種のカラーマネジメントは、内蔵 Web サーバを使用して、プリンタに直接、PCL3、HP-GL/2、または CAL5/G4 ファイルを送信したときに実行されます。

 **注記**: プリンタに保存されたカラーテーブルを使用してカラースペースに変換できるのは、次のカラースペースだけです (Windows の場合は Adobe RGB と sRGB、Mac OS X の場合は Adobe RGB)。

使用するアプリケーションのカラーマネジメントオプションの使用方法については、HP サポートセンター ([174 ページの HP サポートセンター](#)を参照) を参照することをお勧めします。

[アプリケーションで管理] および **[プリンタで管理]** を選択するには：

- Windows ドライバのダイアログの場合：[カラー] タブを選択します。
- Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：[カラー マッチング] パネルを選択します。[ベンダ マッチング] または [プリンタ内] は、[プリンタで管理] モードに対応します。[ColorSync] は、アプリケーションの印刷ダイアログボックスで、[アプリケーションで管理] を選択できない場合にのみ使用する必要があります。
- 一部のアプリケーションの場合：アプリケーションで選択できます。

プリンタドライバからのカラーマネジメント

HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション

イメージで特定の PANTONE カラーを使用すると、通常、アプリケーションによってそのカラーに近い CMYK または RGB カラーがプリンタに送信されます。ところが、アプリケーションではプリンタや用紙の種類が考慮されないため、PANTONE カラーに一般的に近いカラーが再現されるだけで、異なるプリンタや用紙では違う色に見えます。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]では、プリンタや用紙の種類の特徴を考慮に入れることによって、最も近いカラーを再現することができます。特定のプリンタで特定の用紙を使用して再現されるカラーは、元の PANTONE カラーと可能な限り同じように見えるようになります。この技術は、プリプレスのプロフェッショナルが手作業で設定したエミュレーションと同様のエミュレーションを実現することを目的としています。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]を使用するには、この機能をオンにするだけです。通常は、デフォルトでオンになっています。

- Windows ドライバのダイアログの場合: [カラー] タブに移動し、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を選択します。
- Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合: [カラー オプション] パネルに移動し、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を選択します。

また、内蔵 Web サーバを使用して、プリンタが再現する PANTONE カラーのエミュレーションを示す見本帳を印刷することもできます。この見本帳には、各エミュレーションと元の PANTONE スポットカラーの間の色の差 (ΔE) の値も示されます。HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーションは、プリンタで実現可能な最も近い色を生成するだけではありません。エミュレーションが元のスポットカラーとどれほど近いかに関する明確な情報も提供します。[83 ページの PANTONE 見本帳の印刷](#) を参照してください。

カラー エミュレーション

お使いのプリンタでは、他のデバイス (モニタなどの RGB デバイス、印刷機やプリンタなどの CMYK デバイス) の色の作用をエミュレートできます。

カラー エミュレーションは、以下の方法で設定できます。

- Windows ドライバのダイアログの場合: [カラー] タブの [プリンタで管理] を選択します。
- [Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合:] [カラー マッチング] パネルを選択し、[プリンタ内] を選択します。カラー エミュレーションは、Mac OS X では PostScript ドライバによりのみサポートされます。

適切なエミュレーションを実行するために、プリンタでは、これらのデバイスで再現できるカラーの仕様が重要です。これらの情報をカプセル化するための標準的な方法は、ICC プロファイルです。この解決策の一部として、弊社では、さまざまなデバイスで最も共通性の高い標準規格を用意しました。

オプションは以下のとおりです。

RGB カラー エミュレーション

お使いのプリンタには、以下のカラー プロファイルが用意されています。

- [なし (ネイティブ)] は、エミュレーションを行いません。カラー変換がアプリケーションまたはオペレーティングシステムによって行われ、データがすでにカラーマネジメントされた状態でプリンタに送られる場合に使用します。
- [sRGB IEC61966-2.1] は、一般的な PC モニタの特性をエミュレートします。このカラー スペースは、多数のハードウェア メーカーとソフトウェア メーカーから支持されており、さまざまなスキャナ、プリンタ、ソフトウェア アプリケーションに標準装備されるカラー スペースになりつつあります。
- [ColorMatch RGB] は、Radius Pressview モニタ固有のカラー スペースをエミュレートします。このカラー スペースは、[Adobe RGB (1998)] よりも色域が狭く、印刷製作作業に使用することができます。

- **[Apple RGB]** は、一般的な Apple モニタの特性をエミュレートしており、さまざまな DTP アプリケーションで使用されています。このカラー スペースは、Apple モニタでファイルを表示する場合、または古い DTP ファイルを処理する場合に使用します。
- **[Adobe RGB (1998)]** は、RGB カラーの広い色域を再現します。このカラー スペースは、印刷物に幅広い範囲の色が必要な場合に使用します。

内蔵 Web サーバからのカラーマネジメント

[ジョブの送信] のオプション

内蔵 Web サーバの **[ジョブの送信]** ページを使用してプリンタにジョブを送信するとき、以下のカラーマネジメント オプションが使用できます。

オプションを **[デフォルト]** のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。ジョブに何も設定されていない場合は、プリンタのフロントパネルの設定が使用されます。

すべてのジョブ

- **[カラー/グレースケール]** : カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するかを選択できます。
- **[デフォルト RGB ソース プロファイル]** : プリンタによって認識され、選択された RGB ソース プロファイルから選択できます。

PostScript ジョブまたは PDF ジョブのみ

- **[デフォルト CMYK ソース プロファイル]** : プリンタによって認識され、選択された CMYK ソース プロファイルから選択できます。デフォルト : **[US Coated SWOP v2]**。
- **[レンダリング用途]** : レンダリング用途を選択できます。
- **[黒点補正]** : 黒点補正をオンまたはオフにすることができます。
- **[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]** : HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーションをオンまたはオフにすることができます。

レンダリング用途

レンダリング用途とは、カラー変換を行う際に使用する設定の 1 つです。印刷するカラーの一部がプリンタで再現できない場合があります。レンダリング用途を使用すると、これらのいわゆる色域外の色を処理する 4 つの方法のいずれかを選択できます。

- **[彩度 (グラフィック)]** : 明るい、鮮やかな色を使用するプレゼンテーション用のグラフィック、表、またはイメージに最適です。
- **[知覚的 (イメージ)]** : 中間色が多数含まれた写真またはイメージに最適です。カラーの全体的な見栄えは、可能な限り維持されます。
- **[相対カラーメトリック (ブルーフィング)]** : 特定の色と調和させる場合に最適です。この方法は、主にブルーフィングに使用されます。正確にカラーを印刷できる状態では、正確なカラーが確実に印刷されます。これ以外のオプションでは、より望ましい色の範囲が再現される場合もありますが、特定の色が正確に印刷されるとは限りません。また、このオプションでは、入力カラー スペースの白が、印刷する用紙の白にマッピングされます。
- **[絶対カラーメトリック (ブルーフィング)]** : [相対カラーメトリック] と同様ですが、白のマッピングは行われません。このレンダリングも主にブルーフに使用されますが、この場合のブルーフは、1 台のプリンタの出力のシミュレーション (白点を含む) を目的に行います。

黒点補正を行う

黒点補正オプションでは、カラー空間間でカラーを変換するときに、黒点の差異を調整するかどうかが設定します。このオプションを選択すると、完全なダイナミックレンジのソーススペースが、完全なダイナミックレンジのデスティネーションスペースにマップされます。このオプションにより、変換元スペースの黒点の変換先スペースの黒点より濃い場合に、暗い部分を保持することができます。このオプションは、レンダリング用途として【[相対カラーメトリック](#)】が選択されている場合(82 ページのレンダリング用途を参照)にのみ使用できます。



PANTONE 見本帳の印刷



内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility を使用して、プリンタが再現する PANTONE カラーのエミュレーションを示す見本帳を印刷することができます。この見本帳には、各エミュレーションと元の PANTONE スポット カラーの間の色の差 (ΔE) の値も示されます。:


見本帳を印刷するには、内蔵 Web サーバの【メイン】タブを選択し、【HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション】を選択します。エミュレートする PANTONE ストックを選択し、印刷する PANTONE カラーのストリップを1つまたは複数選択します。複数の PANTONE ストックからカラーストリップを選択できます。必要なカラーをすべて選択したら、【次へ】ボタンを押します。次のウィンドウに選択内容が表示されます。【印刷】を押して選択内容を印刷するか、【戻る】を押して選択内容を変更することができます。



フロントパネルからのカラーマネジメント

フロントパネルから  を押し、次に  を押して、【イメージ品質の保守】-【カラー キャリブレーション】を選択することによって、取り付けられた用紙の種類のカラー キャリブレーションを行うことができます。[78 ページのカラー キャリブレーション](#)を参照してください。

フロントパネルにある他のカラー オプションはすべて、 を押し、次に  を押して、【印刷設定】-【カラー オプション】を選択すると表示できます(【[詳細な印刷設定](#)】にもあります)。

 **注記:** フロントパネルでのこれらの設定はすべて、プリンタ ドライバまたは内蔵 Web サーバのジョブ送信設定で上書きできます。

すべてのジョブ

- **[カラー/グレースケール]** : カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するかを選択できます。デフォルト : **[カラー印刷]**。
- **[RGB ソース プロファイルの選択]** : プリンタによって認識され、選択された RGB ソース プロファイルから選択できます。デフォルト : **[sRGB IEC 1966-2.1]**。

PostScript および PDF ジョブのみ

- **[CMYK ソース プロファイルの選択]** : プリンタによって認識され、選択された CMYK ソース プロファイルから選択できます。デフォルト : **[US Coated SWOP v2]**。
- **[レンダリング用途の選択]** : レンダリング用途を選択できます。デフォルト : **[コントラスト]**。
- **[黒点補正]** : 黒点補正をオンまたはオフにすることができます。デフォルト : **[オン]**。
- **[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]** : HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーションをオンまたはオフにすることができます。デフォルト : **[オン]**。

11 実際の印刷の例

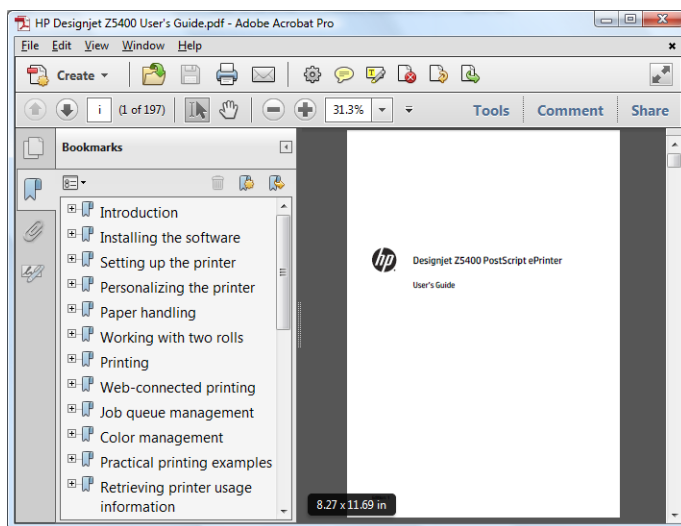
- [正しい倍率で試し印刷する](#)
- [適切な色を使用してドキュメントを印刷する](#)
- [プロジェクトの印刷](#)
- [プレゼンテーションの印刷](#)
- [Microsoft Office からの印刷および拡大縮小](#)

正しい倍率で試し印刷する


このセクションでは、Adobe Acrobat から正しい倍率で試し印刷する方法を示します。

Adobe Acrobat を使用する

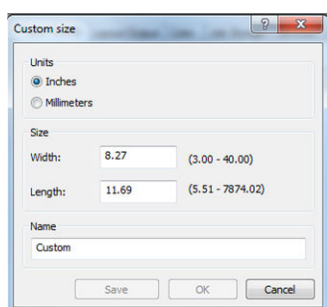
1. Acrobat のウィンドウで、マウスのカーソルをドキュメント ウィンドウの左下隅まで移動してページサイズを確認します。



2. [ファイル]-[印刷] を選択し、[ページの拡大/縮小] が [なし] に設定されていることを確認します。

 **注記：** ページサイズは、描画サイズにより自動的に選択されるわけではありません。

3. [プロパティ] ボタンをクリックし、[用紙/品質] タブを選択します。
4. 使用する [文書サイズ] および [印刷品質] を選択します。新しいカスタム用紙サイズを定義する場合は、[ユーザ定義] ボタンをクリックします。



5. [機能] タブを選択し、[自動回転] を選択します。
6. [OK] をクリックし、[印刷] ダイアログ ボックスの印刷プレビューが正しいことを確認します。

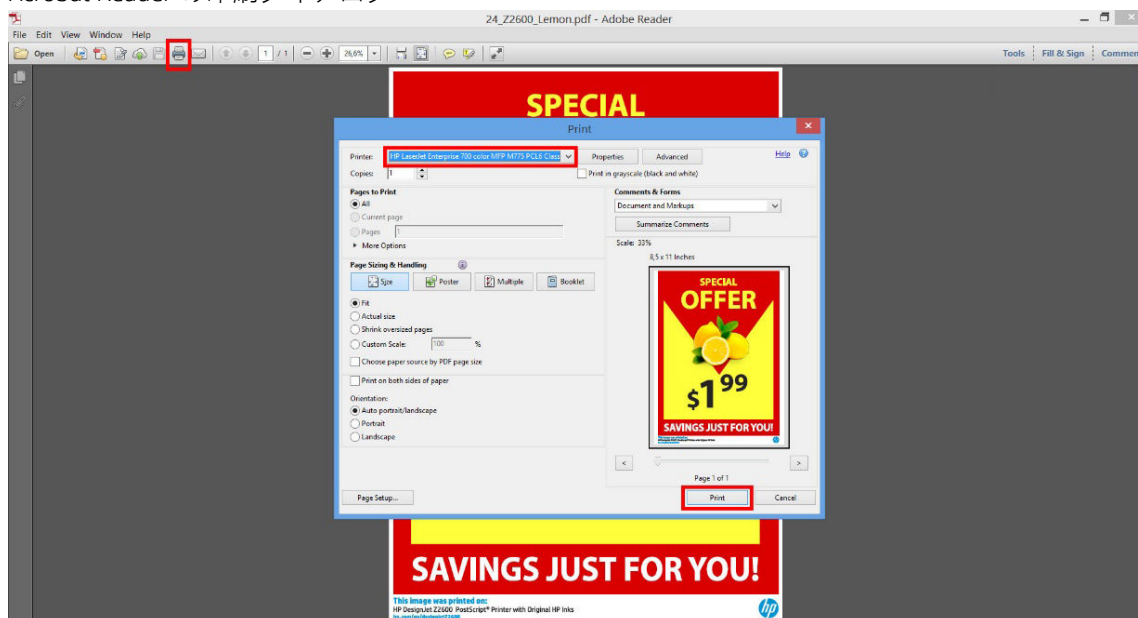
適切な色を使用してドキュメントを印刷する

このセクションでは、カラー マネージメントで強調を使用して、Adobe Acrobat からドキュメントを印刷する方法を示します。

Adobe Acrobat Reader を使用

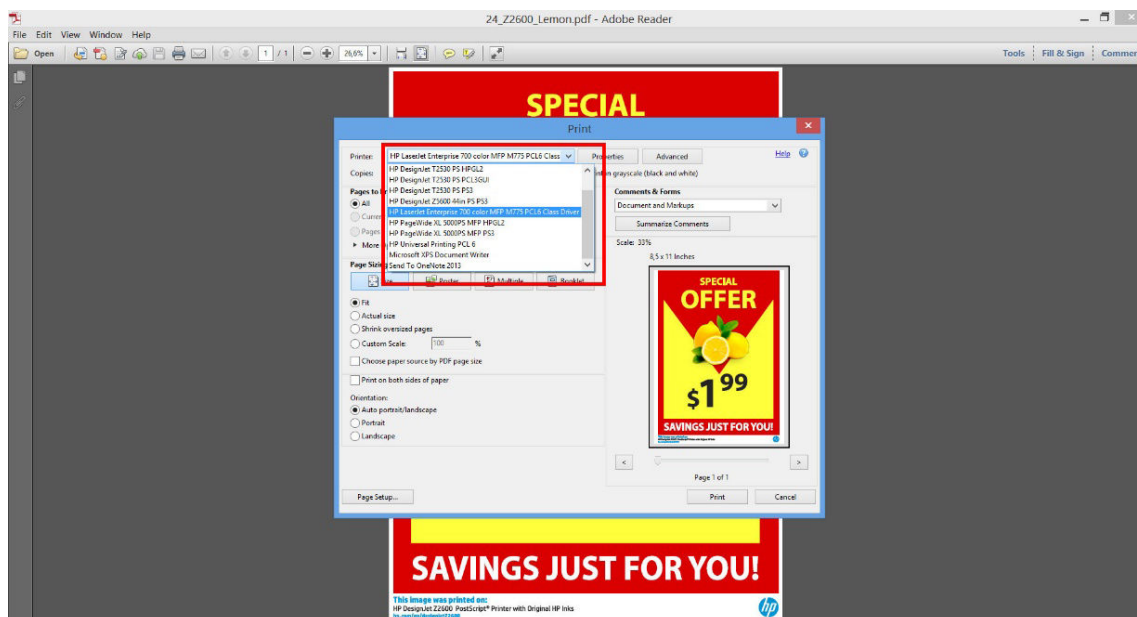
Acrobat Reader は、PDF ファイルの最も基本的なアプリケーションです。より高度なアプリケーションによく付属しているカラー マネージメント ツールは、明確には存在せず、デフォルトでは変更不可のプリセットで動作します。たとえば、作業用カラー スペースを選択する方法はありません。デフォルトのカラー スペース (ほとんどの場合は sRGB) が適用されます。このカラー スペースは、たとえばスクリーンディスプレイなどに使用されます。さらに、後述するように、ファイルによりプロファイルが指定されていない場合の代替のカラー プロファイルとしても使用されます。

Acrobat Reader の印刷ダイアログ

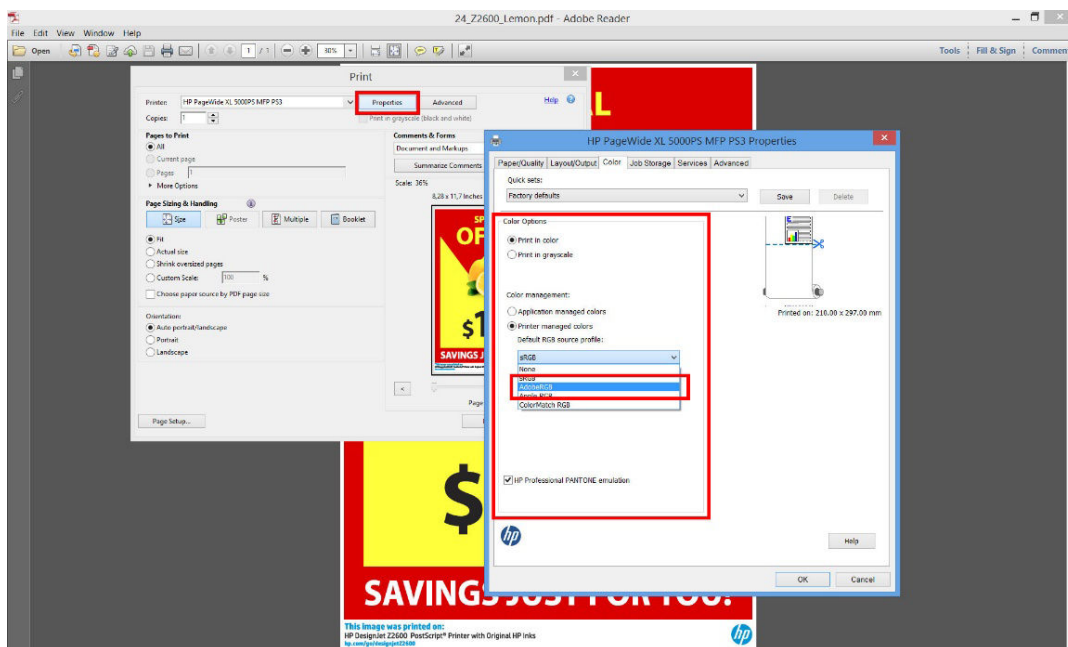


印刷のプロセスは非常にシンプルです。

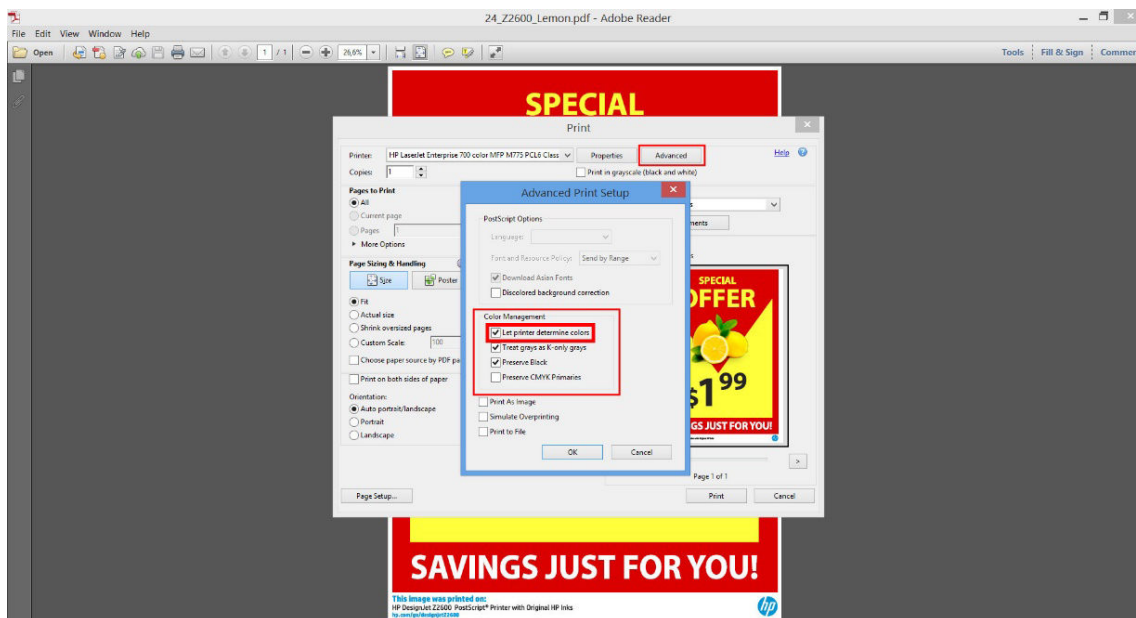
1. [印刷] ダイアログ ボックスの [プリンタ] ドロップダウン メニューからプリンタとドライバを選択します。[プロパティ] ボタンをクリックして、ドライバの設定を調整できます。



2. ドライバのプロパティ ウィンドウでのカラー設定を調整します。



3. カラー マネージメント オプションを設定するには、[印刷] ダイアログ ボックスの [詳細設定] ボタンをクリックします。[プリンタによるカラー指定] チェック ボックスをオンにします。HP では、特定のカラーの純度を維持する他のカラー マネージメント ボックス ([グレーをKのみのグレーとして処理]、[黒を維持]、[CMYK 原色を維持]) をオンにすることをお勧めします。



4. ドキュメントに複数のカラー プロファイルが含まれており、結果がはっきりとわからない場合、まずドキュメントを平らにし、画面に表示されたとおりに印刷できます。これを行うには、印刷設定の [詳細設定] ダイアログ ボックスで [画像として印刷] をオンにします。この場合、ドライバを呼び出す前に Acrobat Reader によりラスター化が実行されます。一方、このボックスをオンにしない場合、ラスター化がドライバにより実行されます。したがって、ボックスをオンにすると、印刷されるドキュメントの外観に目に見える影響があります。

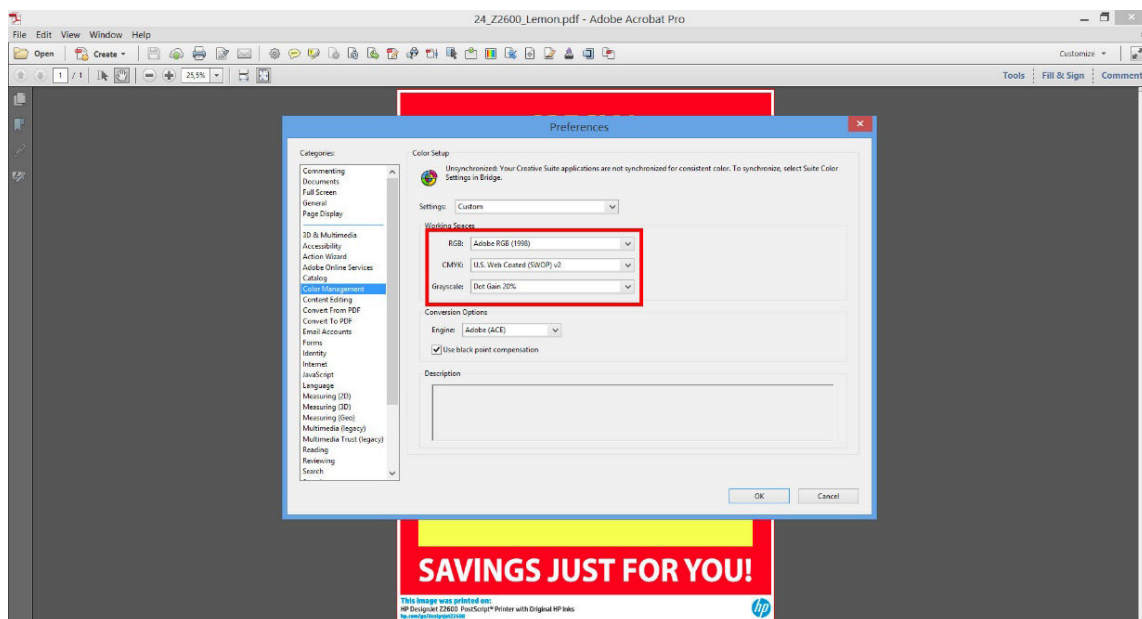
Adobe Acrobat Pro を使用する

Acrobat Pro は、フルカラー マネジメントが可能なプロフェッショナルアプリケーションです。このセクションでは、作業用カラー スペースの選択オプション、イメージを目的のカラー スペースに変換するオプション、印刷オプションについて簡単に説明します。

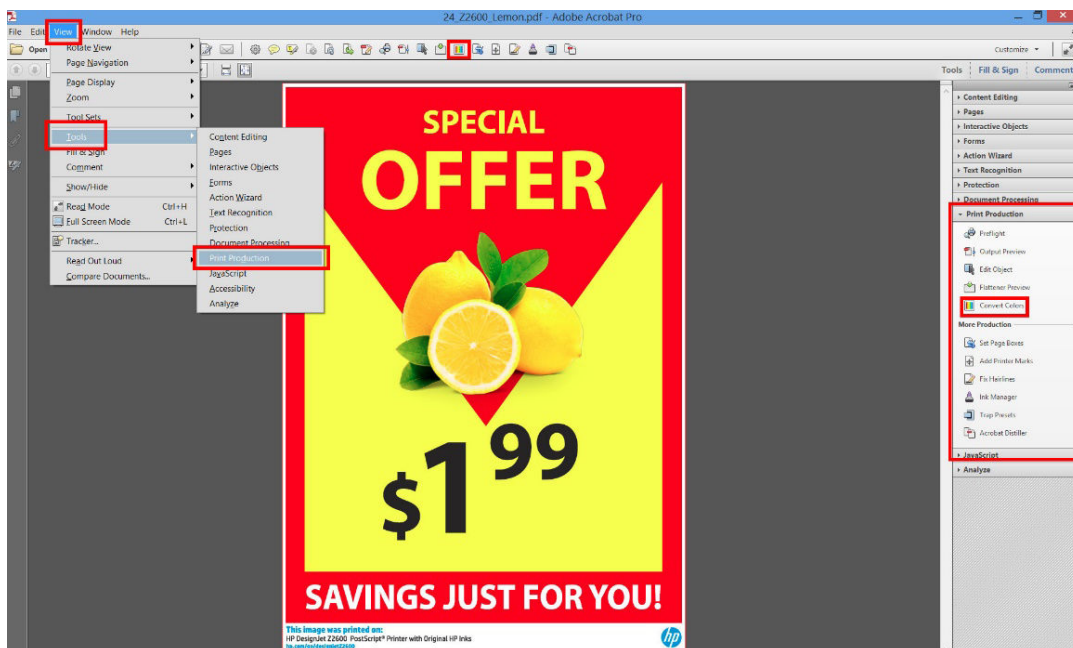
1. PDF ファイルには、カラー プロファイルが含まれていない可能性があります。カラー プロファイルがない場合、Acrobat はデフォルトで作業用カラー スペースを使用します。作業用カラー スペースを選択するには、まず **【編集】-【環境設定】** をクリックします。



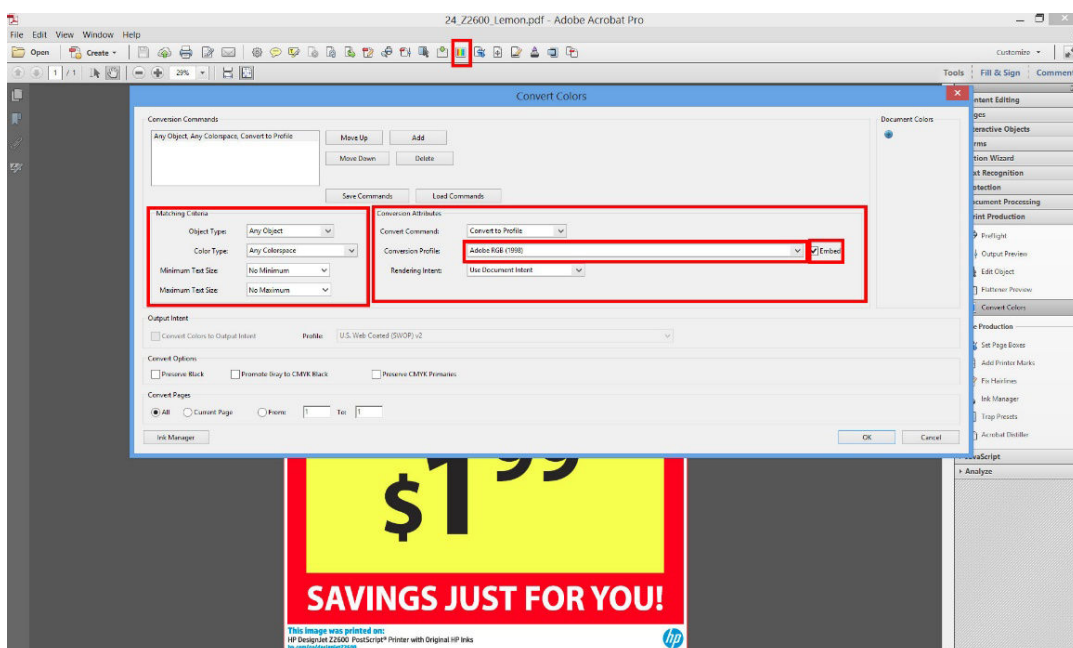
2. [環境設定] ダイアログ ボックスでは、RGB、CMYK、およびグレースケールの中から作業用カラー スペースを選択できます。




3. PDF ファイルには、異なるカラー プロファイルを持つ要素を含めることができます。カラー プロファイルのある要素とない要素を混在させることができます。作業用カラー スペースは、カラー プロファイルのない要素にのみ影響を与えます。特定のカラー プロファイルを文書に添付する場合、以下のように、文書の内容を変換する必要があります。まず、[表示]-[ツール]-[印刷制作] から [カラーを変換] を選択するか、ステータスバーのアイコンをクリックします。



4. 一致基準 (オブジェクトの種類やカラーの種類) を指定し、変換属性を選択することにより、変換する要素を選択します。埋め込みカラー プロファイルを変更するには、[一致基準] セクションで [すべてのオブジェクト] と [すべての色空間] を選択します。[変換属性] セクションでは、たとえば Adobe RGB (1998) プロファイルの埋め込みを選択できます。そのためには、[変換プロファイル] として選択して [埋め込む] ボックスをオンにした後、[OK] ボタンをクリックし、ファイルを保存して変更を保持します。保存されたファイルには、埋め込まれた Adobe RGB カラー プロファイルが設定されます。

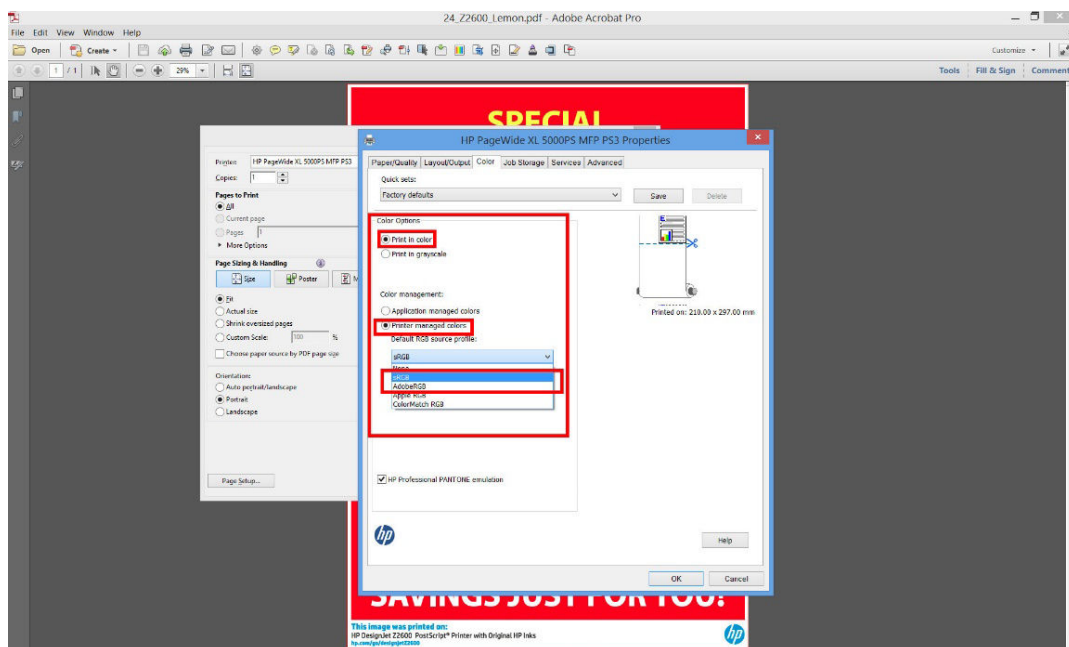


5. ドキュメントを印刷するは、[プリント] ダイアログ ボックスからプリンタを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックして [カラー] タブでカラー オプションを設定します。

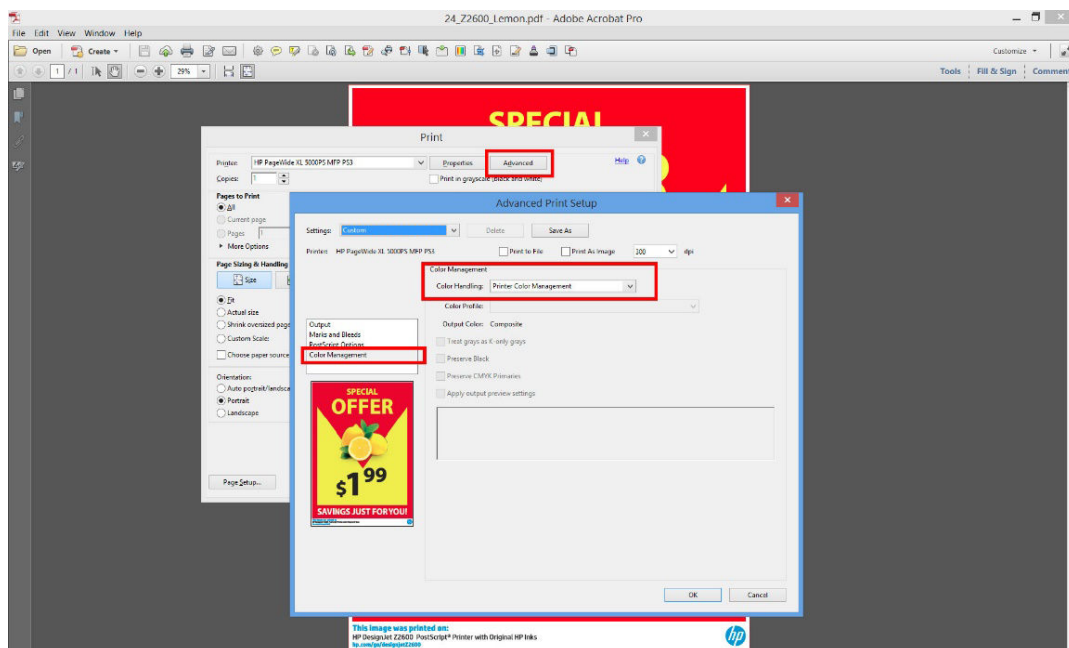
 **重要** : [カラーで印刷]と[プリンタ管理カラー]を選択します。

カラー プロファイルがないすべての要素により使用されるデフォルト カラー プロファイルを選択することもできます。HP による推奨は次のとおりです。

- RGB: sRGB または Adobe RGB を選択します。後者の方がより鮮明なカラーになる傾向があります。
- CMYK: Coated FOGRA39 または US Web Coated (SWOP) v2 を選択します。



6. [印刷] ダイアログ ボックスで [詳細設定] ボタンを押し、[カラー処理] を [プリンタ カラー マネージメント] に設定して、[OK] をクリックします。



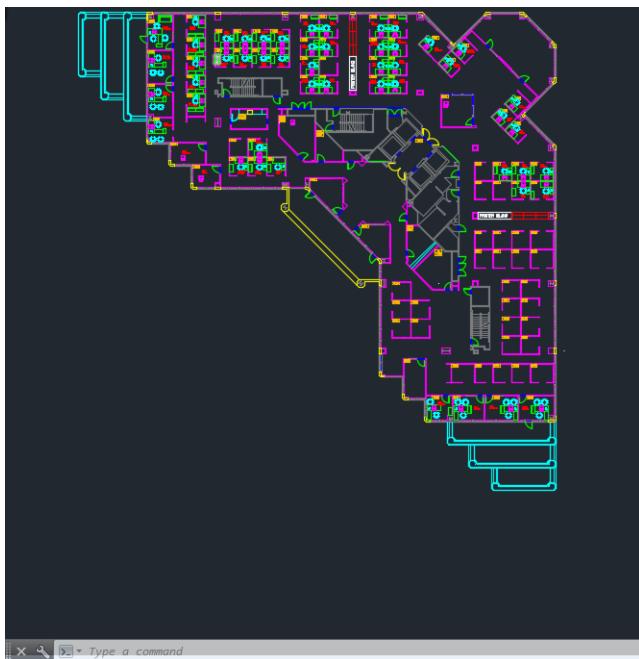
7. [印刷] ダイアログ ボックスで、[印刷] ボタンをクリックしてドキュメントを印刷します。

プロジェクトの印刷

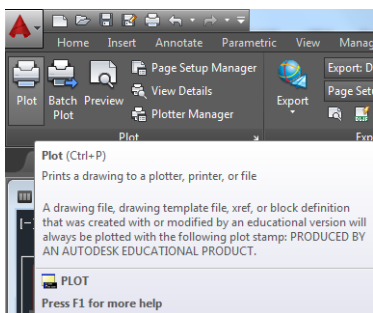
このセクションでは、AutoCAD およびプリンタの内蔵 Web サーバからプロジェクトを印刷する方法を示します。

AutoCAD を使用する


1. AutoCAD ウィンドウには、モデルやレイアウトを表示できます。通常は、モデルではなくレイアウトが印刷されます。




2. ウィンドウの上部の [プロット] アイコンをクリックします。



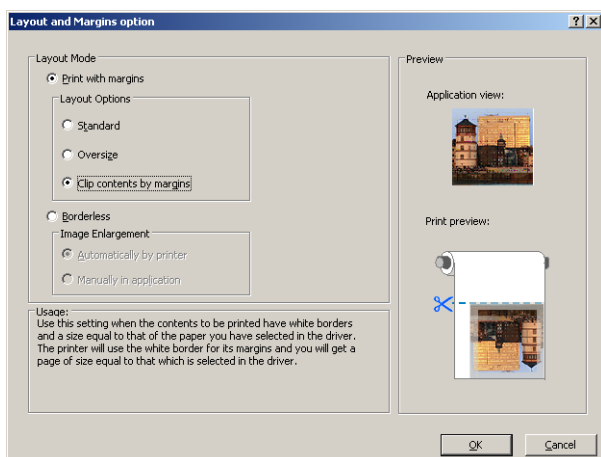
3. [プロット] ウィンドウが開きます。
4. ウィンドウの右下隅の丸いボタンをクリックすることで、追加のオプションを表示できます。

 **注記** : ここでの [品質] オプションは、最終的な印刷品質ではなく、印刷用に送信される AutoCAD ビューポートオブジェクトの品質のことを指します。

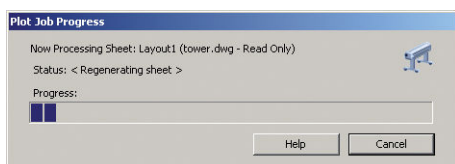
5. [プロパティ] ボタンをクリックします。
6. [デバイスとドキュメントの設定] タブを選択し、[カスタム プロパティ] ボタンをクリックします。
7. [用紙/品質] タブで、[印刷プレビューの表示] チェック ボックスをオンにし、使用する用紙の種類を選択します。

 **注記**：給紙方法と用紙の種類のうちどちらも選択しなかった場合、プリンタは保護されたどのロール紙にも印刷しません (67 ページの [ロール保護](#) を参照)。

- 印刷品質 (印刷の速度と品質の間での任意の選択) を選択します。
- ロール紙に印刷する場合は、プリンタが用紙をカットする場所を決定してください。[マージン/レイアウト] ボタンを押し、[内容をマージンでクリップ] を選択します。

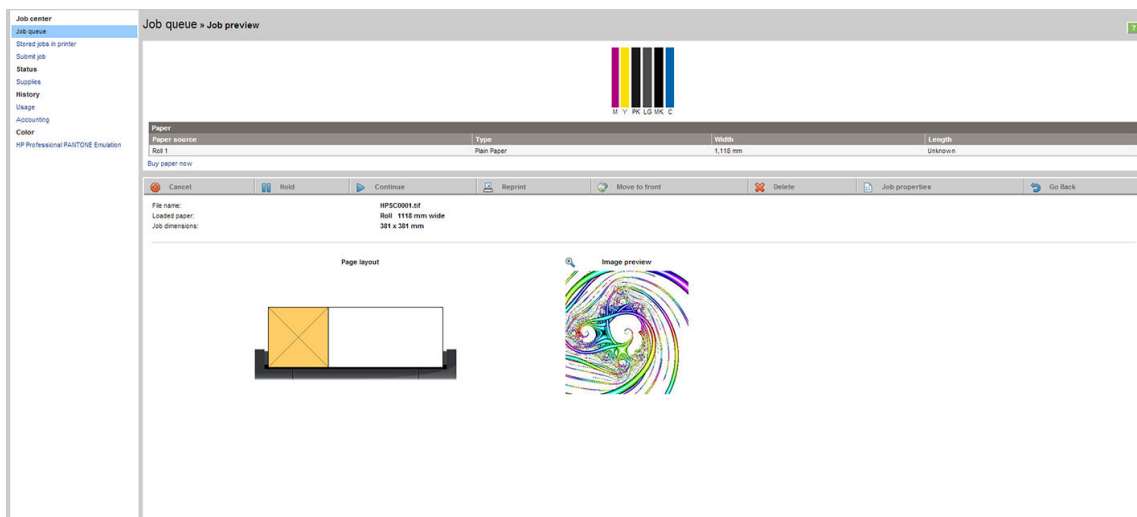


- [機能] タブを選択し、[自動回転] オプションおよび [切り取り線] オプションを選択します。自動回転は用紙を節約することに役立ち、切り取り線は印刷後に用紙をカットする場所を示します。
- [OK] ボタンをクリックし、PC3 ファイルに設定の変更を保存します。
- [プロット] ウィンドウで [OK] ボタンをクリックすると、プリンタによって印刷プレビュー画面が作成されます。



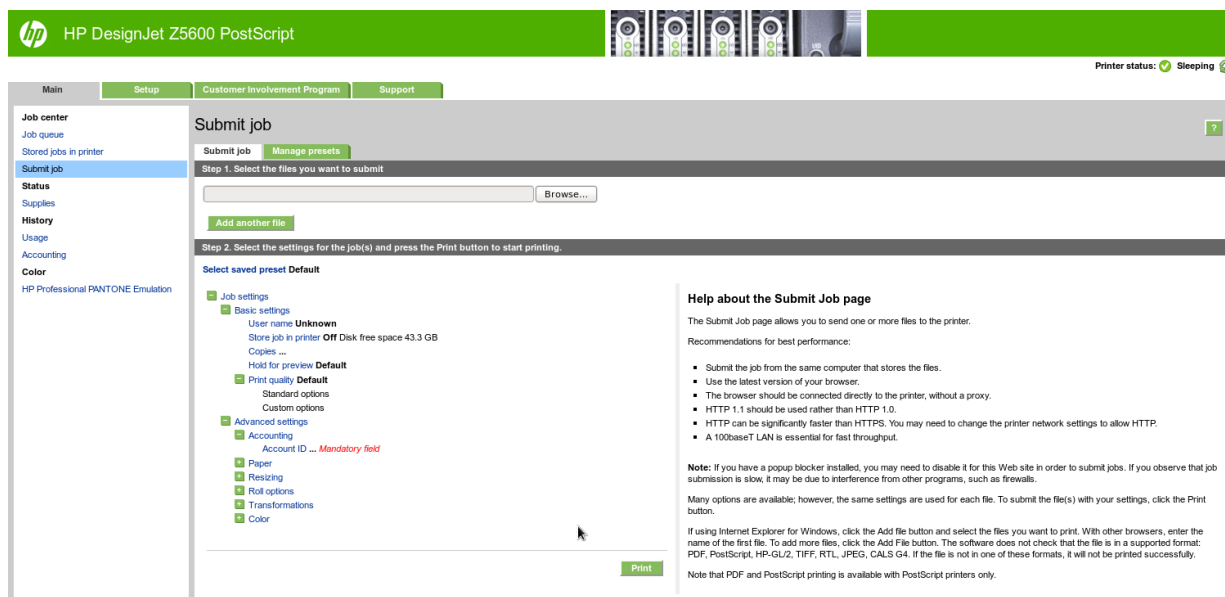
Preview in progress

Status: Waiting to receive the job...




内蔵 Web サーバを使用したファイルの送信

HP DesignJet Utility または内蔵 Web サーバで、[ジョブセンター]-[ジョブの送信]を選択します。一部の Web ブラウザでは、下のウィンドウが表示されます。他の Web ブラウザでは、ファイルを追加するメカニズムが少し異なります。



[ファイルの追加] ボタン (または [ファイルの選択]、[ファイルを追加]) を押し、コンピュータから印刷するファイルを選択します。ファイルは以下のいずれかの形式である必要があります。

- PDF
- PostScript
- TIFF
- JPEG
- HP-GL/2
- RTL

 **注記** : ファイルに印刷する場合、ファイルは上記のいずれかの形式である必要がありますが、ファイル名は、.plt や .prn などの拡張子を持つことができます。

ファイルがこれらの形式のいずれでもない場合、ファイルは正常に印刷されません。

ジョブが適切な設定 (用紙サイズ、向き、サイズ変更、印刷数など) で生成された場合、[印刷] ボタンを押すだけでプロジェクトがプリンタに送信されます。

印刷設定を指定する必要がある場合は、[ジョブの設定] セクションに移動し、必要なオプションを選択します。各オプションの右側には説明のテキストがあり、各設定の動作を確認できます。設定を [デフォルト] のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。ジョブに何も設定されていない場合は、プリンタの設定が使用されます。

内容をマージンでクリップする

このマージン オプションは、[詳細設定]-[用紙]-[レイアウト/マージン]-[マージンを含めて印刷]-[レイアウト]-[内容をマージンでクリップ] で選択できます。

印刷する内容に白いフチがあり、サイズが選択した用紙サイズと同じ場合は、このオプションを使用します。白いフチはプリンタによってマージンとして使用され、ドライバで選択したページサイズと同じサイズのページが得られます。

プレゼンテーションの印刷

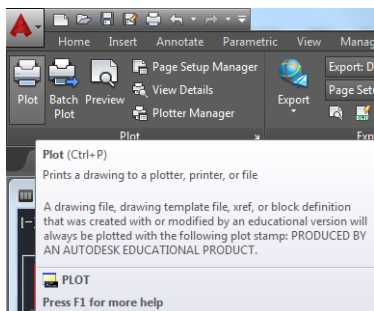
このセクションでは、AutoCAD および Photoshop からプレゼンテーションを印刷する方法を示します。

AutoCAD を使用する


1. AutoCAD ファイルを開いて、レイアウトを選択します。



2. ウィンドウの上部の [プロット] アイコンをクリックします。

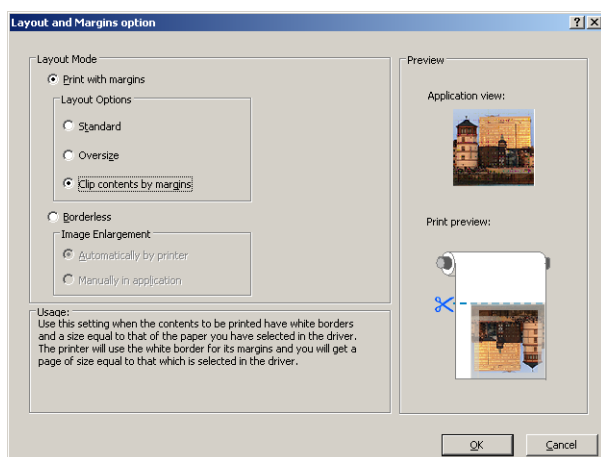


3. 正しいプリンタが選択されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリックします。
4. [デバイスとドキュメントの設定] タブを選択し、[カスタム プロパティ] ボタンをクリックします。
5. [用紙/品質] タブで、[印刷プレビューの表示] チェック ボックスをオンにし、使用する用紙の種類を選択します。

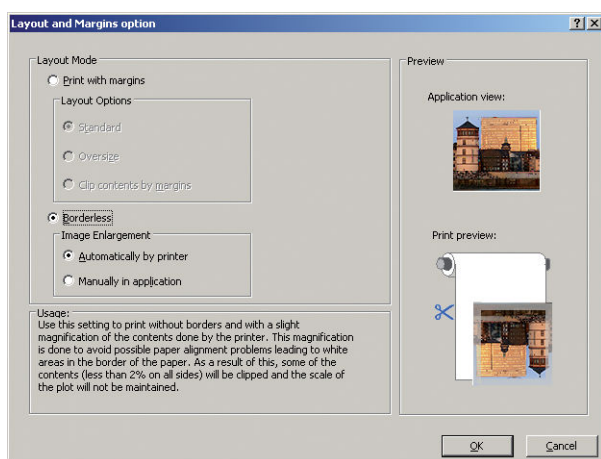
 **注記:** 給紙方法と用紙の種類のどちらも選択しなかった場合、プリンタは保護されたどのロール紙にも印刷しません ([67 ページのロール保護](#)を参照)。

6. 印刷品質 (印刷の速度と品質の間での任意の選択) を選択します。

7. ロール紙に印刷する場合は、プリンタが用紙をカットする場所を決定してください。[マージン/レイアウト] ボタンを押し、[内容をマージンでクリップ] を選択します。

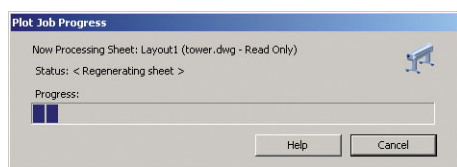


8. フォト紙または光沢紙を使用する場合は、[フチ無し] 印刷を選択できます。



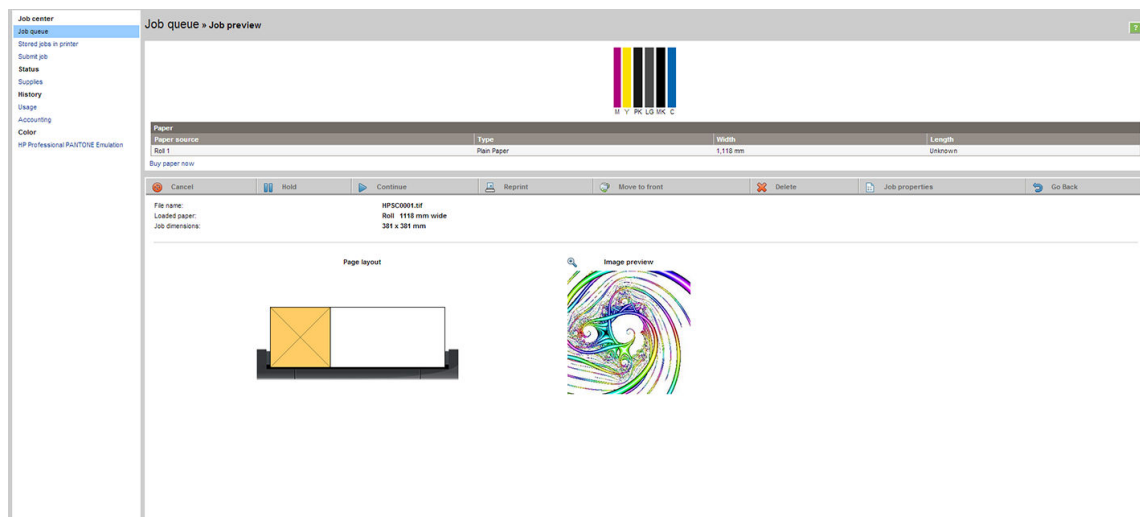
9. [機能] タブを選択し、[自動回転] オプションおよび [切り取り線] オプションを選択します。自動回転は用紙を節約することに役立ち、切り取り線は印刷後に用紙をカットする場所を示します。
10. [OK] ボタンをクリックし、PC3 ファイルに設定の変更を保存します。

11. [プロット] ウィンドウで [OK] ボタンをクリックすると、プリンタによって印刷プレビュー画面が作成されます。



Preview in progress

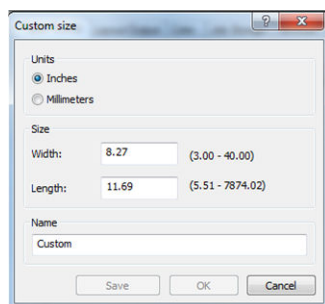
Status: Waiting to receive the job...



Adobe Photoshop を使用する

1. Photoshop で、[ファイル]-[印刷] を選択し、プリンタを選択します。
2. [印刷設定] を選択し、[用紙/品質] タブを選択します。
3. 使用できる用紙サイズから選択します。

使用する用紙サイズが見つからない場合は、[カスタム] ボタンを押します。カスタム用紙サイズの幅、長さ、および名前を入力します。[保存] ボタンおよび [OK] ボタンをクリックします。



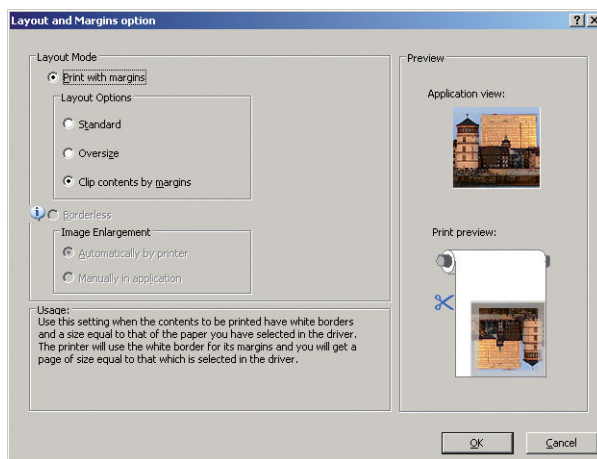
4. [印刷プレビューの表示] を選択します。また、デフォルトの給紙方法、用紙の種類および印刷品質を変更できます。
5. Photoshop で [プリンタで管理] を選択しているため、[カラー] タブのカラー マネジメント オプションは、デフォルトの [プリンタで管理] が正しいオプションとなります。

Microsoft Office からの印刷および拡大縮小

このセクションでは、Microsoft Office 2013 から印刷および拡大縮小する方法を示します。

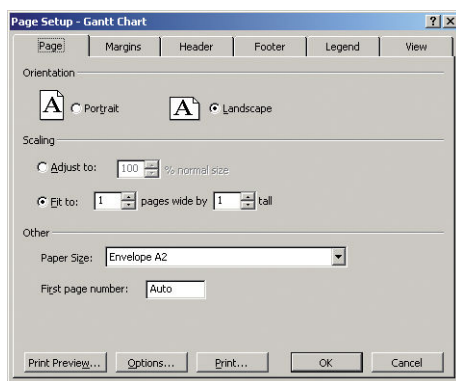
PowerPoint を使用する

1. [ファイル]-[印刷] を選択し、プリンタ名を選択します。
2. [プリンタ プロパティ]-[機能]-[文書を印刷する用紙] を選択して、特定のサイズに合わせて文書を拡大縮小します。
3. [用紙/品質] タブを選択し、[給紙方法] および [用紙の種類] を選択します。
4. [マージン/レイアウト] ボタンをクリックし、[内容をマージンでクリップ] を選択して、サイズを維持します。



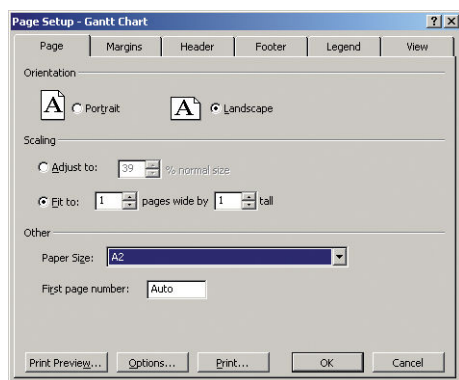
Project を使用する

1. [ファイル]-[ページ設定]-[印刷] を選択します。



2. お使いのプリンタの名前を選択し、[閉じる] を選択します。

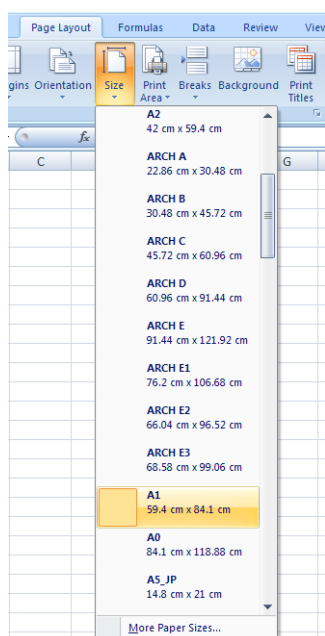
3. [ページ設定] を選択し、使用する [用紙サイズ] を選択します。



4. [オプション] を選択して、プリンタドライバに移動します。[用紙/品質] タブでは、多くの場合、デフォルトのオプションである、[用紙トレイ]:[プリンタの自動選択]、および [用紙の種類]: [プリンタ設定の使用] を選択します。
5. [機能]-[文書を印刷する用紙] を選択して、特定のサイズに合わせて文書を拡大縮小します。代わりに、Project で文書を拡大縮小することもできます。

Excel を使用する

1. [ファイル]-[印刷] をクリックします。プリンタの名前を選択し、戻る矢印をクリックして [ファイル] メニューを終了します。
2. [ページレイアウト] タブを選択して [サイズ] を選択し、必要な用紙サイズを選択します。



3. [ファイル]-[印刷]-[プリンタ プロパティ] を選択し、プリンタドライバに移動します。[用紙/品質] タブを選択し、[給紙方法]、[用紙の種類]、および [印刷品質] を選択します。
4. [機能]-[文書を印刷する用紙] を選択して、特定のサイズに合わせて文書を拡大縮小します。代わりに、Excel で文書を拡大縮小することもできます。

12 プリンタの使用状況に関する情報を取得する

- [プリンタのアカウントティング情報](#)
- [使用状況に関する情報を確認する](#)
- [ジョブの使用状況に関する情報を確認する](#)
- [電子メールによるアカウントティングデータの要求](#)


プリンタのアカウント情報

プリンタからアカウント情報を取得するには、さまざまな方法があります。

- プリンタの使用期間全体のプリンタの使用状況に関する情報を表示します ([101 ページの使用状況に関する情報を確認する](#)を参照)。
- HP DesignJet Utility を使用して、最近のそれぞれのジョブに対するインクと用紙の使用量を表示します ([102 ページのジョブの使用状況に関する情報を確認する](#)を参照)。HP DesignJet Utility を利用できない場合は、[29 ページの HP DesignJet Utility へのアクセス](#)を参照してください。
- 電子メールでアカウントデータを要求します。プリンタは、XML 形式のデータを指定された電子メールアドレスに定期的送信します。データは、サードパーティのアプリケーションで解釈されて要約されるか、Excel スプレッドシートで表示されます。[102 ページの電子メールによるアカウントデータの要求](#)を参照してください。
- インターネットを介してプリンタからプリンタ ステータス、プリンタの使用状況、またはジョブのアカウントデータを要求するには、サードパーティ アプリケーションを使用してください。プリンタは、必要に応じていつでもアプリケーションに XML でデータを提供します。HP では、このようなアプリケーションの開発を促進するためにソフトウェア開発キットを提供しています。

使用状況に関する情報を確認する

プリンタの使用状況に関する情報を確認するには、さまざまな方法があります。

 **注記** : 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。



内蔵 Web サーバから

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします([29 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照)。
2. [メイン]タブに移動します。
3. [履歴] > [使用状況] を選択します。

HP DesignJet Utility から


1. HP DesignJet Utility にアクセスします ([29 ページの HP DesignJet Utility へのアクセス](#)を参照)。
2. Windows では、[概要]タブに移動し、[プリンタ使用状況] リンクをクリックします。
Mac OS X では、[プリンタ使用状況] を選択し、[検索] ボタンをクリックします。

フロントパネルから

1.  を押します。
2.  を押します。
3. [印刷メニュー]を押します。
4. [ユーザ情報の印刷]を押します。
5. [使用状況レポートの印刷]を押します。

ジョブの使用状況に関する情報を確認する

特定のジョブの使用状況に関する情報を確認するには、2つの方法があります。

 **注記**：使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

HP DesignJet Utility でのアカウントिंग情報

1. HP DesignJet Utility にアクセスします ([29 ページの HP DesignJet Utility へのアクセス](#)を参照)。
2. Windows では、**[ジョブセンター]**を選択して最近のジョブに関する情報を表示し、**[アカウントिंग]**リンクをクリックします。

Mac OS X では、**[ジョブアカウントिंग]**を選択し、**[検索]** ボタンをクリックします。

内蔵 Web サーバでのアカウントिंग情報

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします ([29 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照)。
2. **[メイン]**タブに移動します。
3. **[履歴]-[アカウントिंग]**を選択します。

電子メールによるアカウントिंगデータの要求

1. IT 部門から、送信メールサーバ(SMTP)の IP アドレスを取得します。これは、電子メールメッセージの送信に必要です。
2. 送信メールサーバが、プリンタから送信される電子メールメッセージのリレーが可能になるように設定されていることを確認します。
3. Web ブラウザを開き、プリンタの内蔵 Web サーバに接続します。
4. **[セットアップ]**タブを選択します。
5. 左側列にある設定メニューから、**[日付と時刻]**を選択します。
6. プリンタの日付および時刻が正しく設定されていることを確認します。
7. 設定メニューから、**[電子メールサーバ]**を選択します。
8. 送信メールサーバ(SMTP)の IP アドレスを入力します。
9. プリンタの電子メールアドレスを指定します。プリンタはメッセージを受信できないので、プリンタの電子メールアドレスは有効な電子メールアドレスである必要はありません。ただし、電子メールアドレスの形式は保つ必要があります。これは、電子メールメッセージが送信された際に、プリンタを特定するのに役立ちます。
10. 設定メニューから、**[プリンタ設定]**を選択します。
11. アカウントिंगセクションで、**[アカウント ID の要求]**を**[オン]**に設定している場合は、印刷ジョブをプリンタに送信するたびに、アカウント ID を指定する必要があります。例えば、自分が所属する部門に対応する ID または特定のプロジェクトまたはクライアントに対応する ID など。アカウント ID を提供しないでジョブを送信する場合、プリンタはその特定されないジョブをアカウント ID が提供されるまで印刷せずにキューに保留にします。

[アカウント ID の要求]を**[オフ]**に設定している場合、プリンタはアカウント ID を持っているか否かにかかわらず、すべてのジョブを印刷します。
12. **[アカウントिंगファイルの送信]**を有効に設定します。


13. **[アカウントティング ファイルの送信先]**をアカウントティング情報を送信したい電子メールアドレス(単一または複数)に設定します。これは、プリンタが自動的に生成したメッセージを受信するように特別に作成したアドレスでもかまいません。
14. **[アカウントティング ファイルの送信頻度]**を、情報を送信してほしい頻度に設定し、特定の日数または印刷数を選択します。
15. アカウントティング メッセージに個人情報が含まれないように、**[電子メール アカウントの個人情報の保護]**を**[オン]**に設定できます。このオプションが**[オフ]**の場合、ユーザ名、ジョブ名、アカウント ID の情報が含まれます。

上記の手順を完了すると、アカウントティング データが電子メールにより指定した頻度でプリンタから送信されます。データは XML で提供され、サードパーティ製のプログラムで簡単に解釈できます。各印刷ジョブで提供されたデータには、ジョブの送信日、ジョブの印刷日、印刷時刻、画像の種類、ページ数、コピー部数、用紙の種類およびサイズ、使用された各色のインク量およびジョブの他のさまざまな属性が含まれます。アカウントティング データはスキャンおよびコピー ジョブでも提供されません。

XML データをスプレッドシートの形式でより読みやすく表示する Excel のテンプレートを HP の Web サイト (<http://www.hp.com/go/designjet/accounting>) からダウンロードできます。

アカウントティング データを分析することで、顧客へのより正確な請求およびプリンタのより柔軟な利用が可能になります。例えば、以下が可能です。

- 各顧客に、特定の期間に使用したインクおよび用紙の総量を請求する。
- 各顧客に、ジョブごとに別々の請求をする。
- 各顧客に、ジョブ単位に分けられたプロジェクトごとに別々の請求をする。

 **注記** : 状況によっては、Excel により数値の小数点が削除されたり、間違っ配置される可能性があります。たとえば、数値 5.1806 は 51806 と間違っ解釈されたり、51,806 と表示されることがあります。これは、HP では解決できない Excel の問題です。

13 インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い

- [インクカートリッジについて](#)
- [インクカートリッジのステータスを確認する](#)
- [インクカートリッジを取り外す](#)
- [インクカートリッジを挿入する](#)
- [プリントヘッドについて](#)
- [プリントヘッドのステータスを確認する](#)
- [プリントヘッドを取り外す](#)
- [プリントヘッドを取り付ける](#)

インクカートリッジについて



インクカートリッジにはインクが収められており、用紙にインクを噴射するプリントヘッドに接続されています。追加のカートリッジの購入については、[120 ページの「アクセサリ」](#)を参照してください。

⚠ 注意：インクカートリッジは静電気放電敏感性デバイスであるため、取り扱いには注意が必要です ([181 ページの用語集](#)を参照)。ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。

📖 注記：このプリンタは、再利用可能なインクシステムを使用するようには設計されていません。印刷を再開するには、インク連続供給システムをすべて取り外し、HP 純正カートリッジ(または互換性があるインクカートリッジ)を取り付けます。

📖 注記：このプリンタは、インクカートリッジが空になるまで使用するようには設計されています。空になる前にカートリッジを補充すると、プリンタが故障する可能性があります。このような場合、印刷を続行するには新しいカートリッジ(正規版の HP カートリッジまたは互換性があるカートリッジ)を取り付けます。

インクカートリッジのステータスを確認する

インクカートリッジのインク量を表示するには、フロントパネルの  を押し、次に  を押しします。希望する場合には、インク情報ページに **[インクカートリッジの交換]** オプションがあります ([105 ページのインクカートリッジを取り外す](#)も参照)。

インクカートリッジの詳細を表示するには、情報を確認するカートリッジの色を押します。

HP DesignJet Utility から情報を取得することもできます。

インクカートリッジのステータス メッセージの詳細は、[156 ページのインクカートリッジのステータスメッセージ](#)を参照してください。

HP DesignJet Utility での手順

- HP DesignJet Utility (Windows) では、**[概要]** タブに移動すると、**[サプライ品ステータス]-[カートリッジ]** の下に、各カートリッジのステータスが表示されます。
- HP DesignJet Utility (Mac OS X) では、**[情報]** グループの **[プリンタ ステータス]** を選択します。

インクカートリッジを取り外す

インクカートリッジの取り外しが必要になる状況は、2 とおり考えられます。





- カートリッジのインクが僅かで、無人印刷を実行するために満杯のカートリッジに交換する必要がある場合(元のカートリッジは都合のよいときに使い切ることができます)
- インクカートリッジが空になったまたは問題があり、印刷を続行するために交換する場合。

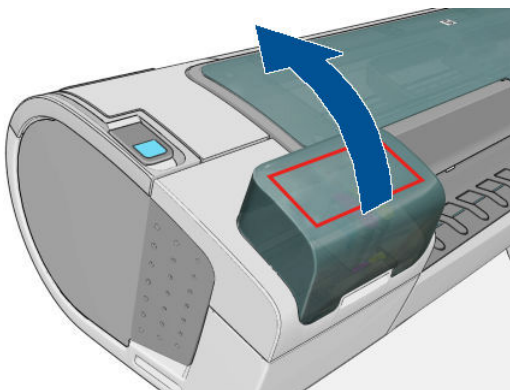
⚠ 注意：印刷中はインクカートリッジを取り外さないでください。

注意：インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してから行ってください。

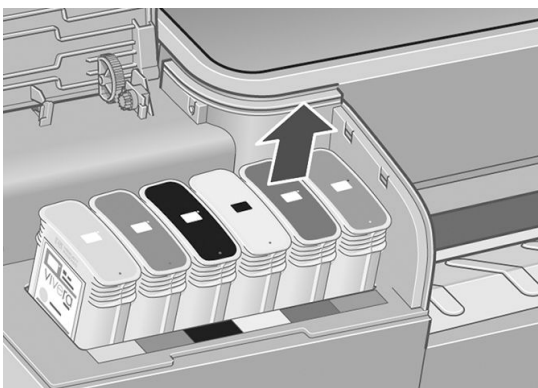
注意：プリンタのキャスターがロックされ(プレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。


📖 注記：カートリッジがインク切れになると、現在のジョブは自動的にキャンセルされます。手動でキャンセルした場合を除いて、空のカートリッジを交換すると印刷が再開されます。カートリッジの交換が遅れると、印刷物にバンディングが入ることがあります。


1. フロントパネルから、 を押し、次に  を押して、[インクカートリッジの交換]。
または、 を押し、次に  を押して、[インク]-[インクカートリッジの交換] を選択します。
2. プリンタの左側にあるインクカートリッジカバーを開きます。

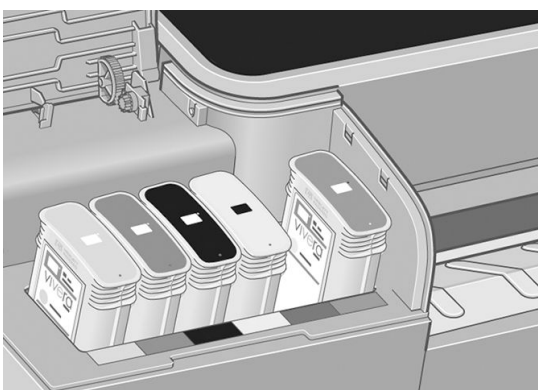


3. 取り外すカートリッジをつかみます。
4. カートリッジを真上に引き上げます。



 **注記**：プリンタとの接続部分には触らないでください。接続部分にインクが付着している場合があります。

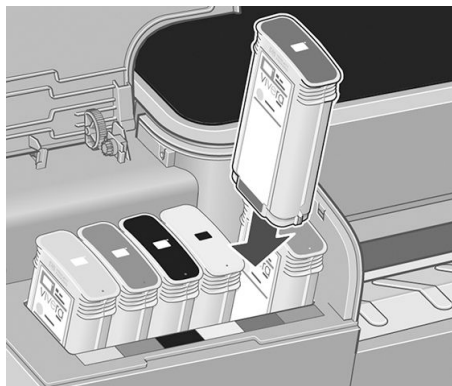
 **注記**：一部使用済みのインクカートリッジは保管しないようにしてください。



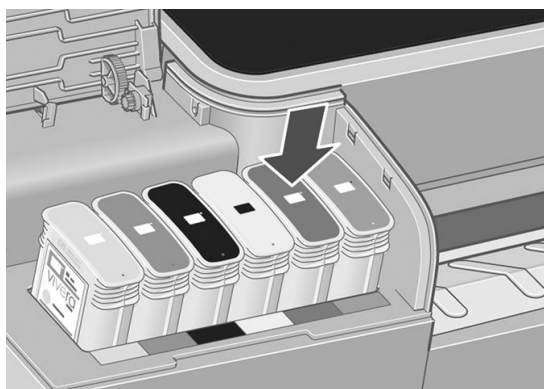
5. フロントパネルに、インクカートリッジが取り付けられていないことが表示されます。

インクカートリッジを挿入する

1. インクカートリッジは、袋から取り出す前によく振ります。
2. 新しいインクカートリッジを取り出し、ラベルを参照してインクの色を確認します。空いたスロットに印された文字(このイラストの場合、マゼンタを意味する M) と、カートリッジのラベルの文字が同じであることを確認します。
3. インクカートリッジをスロットに取り付けます。

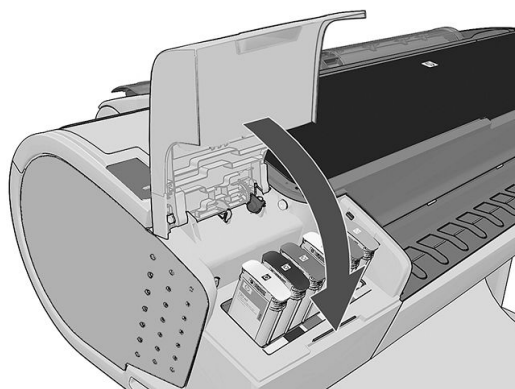


4. 音がして固定されるまでカートリッジをスロットに押し込みます。カートリッジが取り付けられると、ブザーが鳴り、確認メッセージが表示されます。



取り付けにくい場合は、[156 ページのインクカートリッジを挿入できない](#)を参照してください。

5. すべてのカートリッジを取り付けたら、カバーを閉めます。



6. フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが表示されます。



プリントヘッドについて

プリントヘッドはインクカートリッジに接続されており、用紙にインクを噴射します。

⚠注意：プリントヘッドは静電気放電敏感性デバイスであるため、取り扱いには注意が必要です(181 ページの用語集を参照)。ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。

プリントヘッドのステータスを確認する

印刷が終わるごとに、プリンタは自動的にプリントヘッドの確認と保守を行います。使用しているプリントヘッドの詳細を確認するには、以下の手順を実行します。

1. フロントパネルから、 を押し、次に  を押して、情報が必要なプリントヘッド:。
2. フロントパネルには以下の情報が表示されます。
 - カラー
 - 製品名
 - 製品番号
 - シリアル番号
 - ステータス(169 ページの「フロントパネルエラー メッセージ」を参照)
 - 使用済みインク量
 - 保証期限

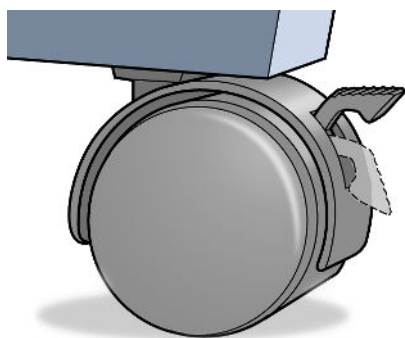
HP DesignJet Utility からもこの情報のほとんどを取得できます。

プリントヘッドのステータスメッセージの詳細は、[161 ページのプリントヘッドのステータスメッセージ](#)を参照してください。





保証期限が「[保証に関する注記を参照](#)」の場合は、HP 製以外のインクが使用されていることを示します。保証の詳細は、プリンタに付属している[法律情報に関するドキュメント](#)を参照してください。

プリントヘッドを取り外す

⚠注意：プリンタのキャスターがロックされ(ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。



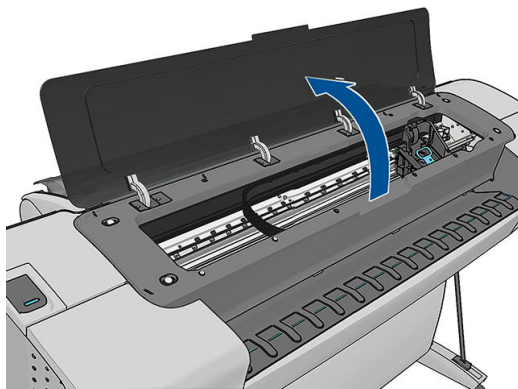
⚠注意：プリントヘッドの交換は、プリンタの電源を入れた状態で行ってください。

1. フロントパネルから、 を押し、次に  を押し、[プリントヘッドの交換] を押します。
または、 を押し、次に  を押して、[インク]-[プリントヘッドの交換] を選択します。

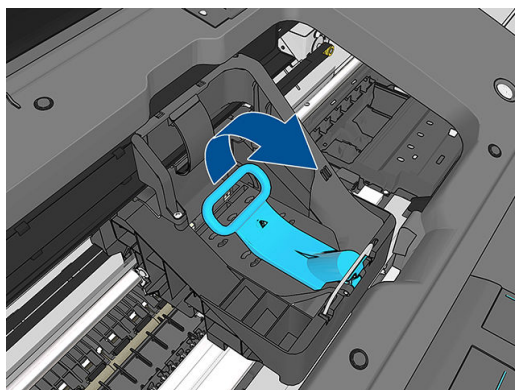
2. キャリッジが適切な位置に移動します。

△注意：キャリッジは、取り外し位置に移動してからプリントヘッドの取り付けや取り外しが行われずに3分以上放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

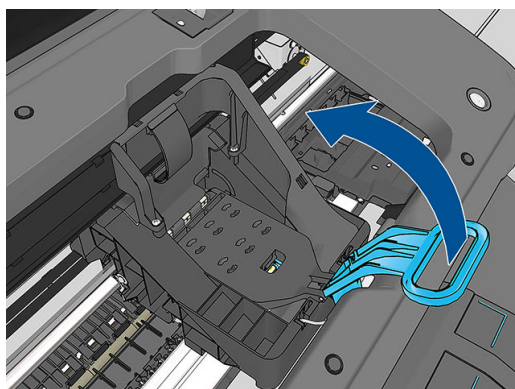
3. キャリッジが停止すると、ウィンドウを開くようフロントパネルにメッセージが表示されます。



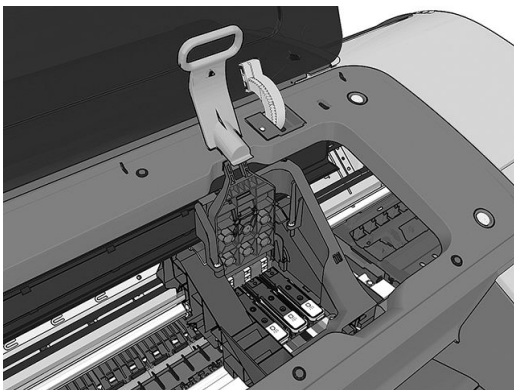
4. プリンタの右側にあるキャリッジを確認します。
5. ハンドルを手前に引き上げ、ワイヤーループを解除します。



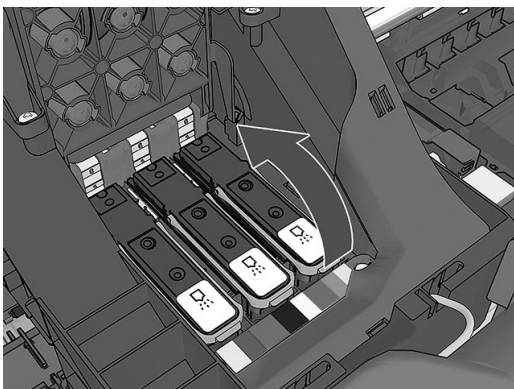
6. ハンドルを押し戻して、カバーのふたを起こします。



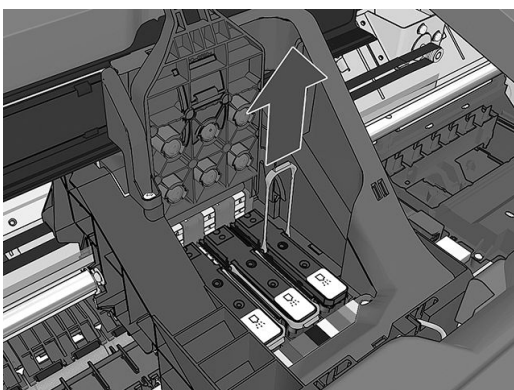
7. プリントヘッドにアクセスできるようになります。



8. 取り外すプリントヘッドの青いハンドルを持ち上げます。

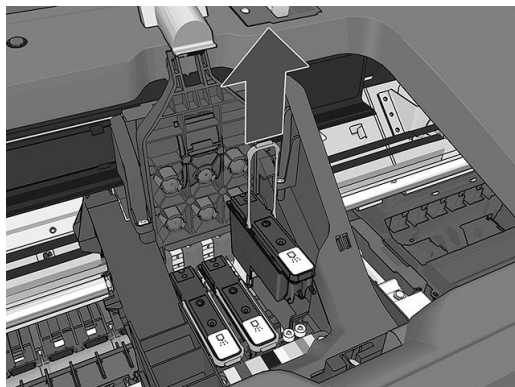


9. 青いハンドルを使って、一定の力でプリントヘッドを静かに取り外します。



10. プリントヘッドがキャリッジから外れるまで、青いハンドルを引き上げます。

⚠ 注意：急いで引き上げるとプリントヘッドが破損することがありますので、ゆっくりと引き上げてください。

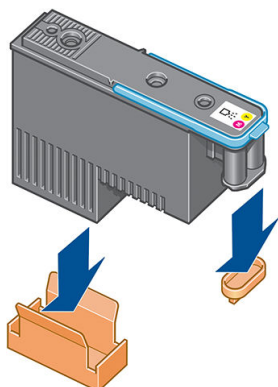


11. フロントパネルに、取り付けられていないプリントヘッドが表示されます。

プリントヘッドを取り付ける

📖 注記：接続されたインクカートリッジの中身が空か空に近い状態の場合は、新しいプリントヘッドを正常に取り付けることができません。この場合は、インクカートリッジを交換してから、新しいプリントヘッドを取り付けてください。

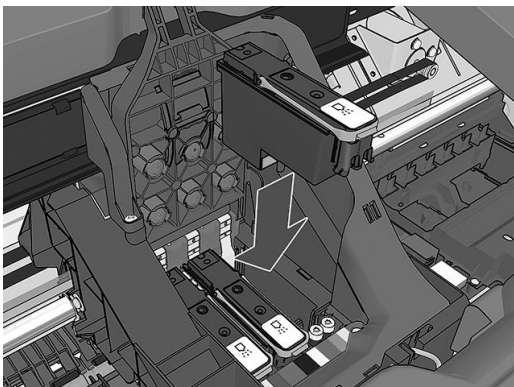
1. オレンジの保護キャップを引き下げて取り外します。



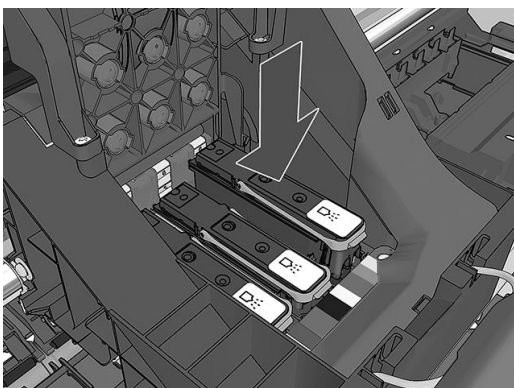
2. プリントヘッドは、間違ったスロットに取り付けられないよう設計されています。プリントヘッドのラベルの色と、プリントヘッドを取り付け先のキャリッジスロットのラベルの色が合っていることを確認してください。

3. 新しいプリントヘッドを、キャリッジの該当するスロットに取り付けます。

⚠ 注意：プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付ける際に回したりすると、破損することがあります。

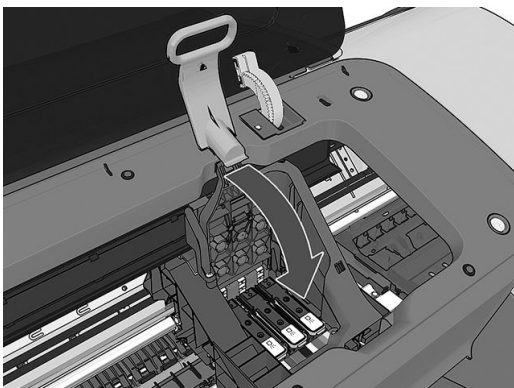


4. 図の矢印のとおり、プリントヘッドを下に押し込みます。

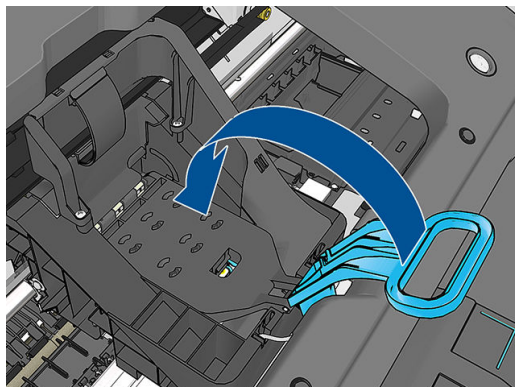


⚠ 注意：新しいプリントヘッドを取り付ける場合は、しっかりと、またゆっくりと押し込んでください。ブザーが鳴り、フロントパネルにプリントヘッドが取り付けられたことを示す確認画面が表示されます。取り付けにくい場合は、[156 ページのプリントヘッドが挿入できない](#)を参照してください。

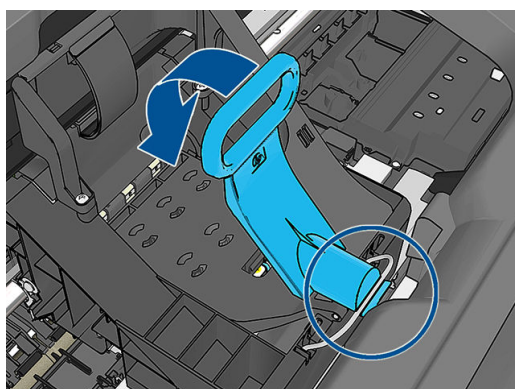
5. 必要なプリントヘッドをすべて取り付けたら、キャリッジのカバーを閉じます。




6. 青いハンドル先端が、キャリッジの手前側のワイヤーループに掛かっていることを確認します。



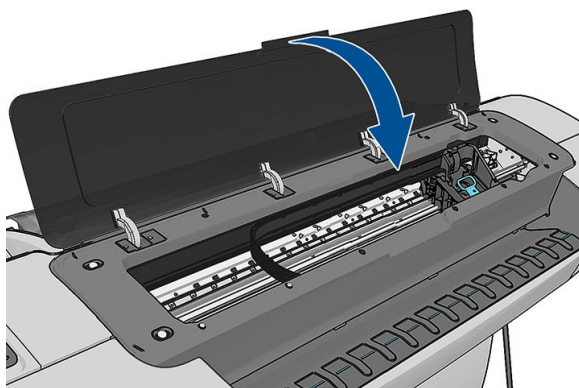
7. ハンドルをキャリッジカバーの上まで押し下げます。



すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられ、プリンタがそれを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

 **注記：** プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに[交換して下さい]というメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを取り付け直してください。

8. ウィンドウを閉じます。



9. フロントパネルに、すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられたことが表示されます。プリントヘッドの確認と準備が開始されます。すべてのプリントヘッドを交換した場合、通常の処理はデフォルトで20分ほどかかります。プリントヘッドの準備中に問題が発見された場合、この処理に最大で45分ほどかかることがあります。プリントヘッドを1つだけ取り付けた場合は、2~40分ほどかかります。用紙が取り付けられていれば、すべてのプリントヘッドの確認と準備

の終了後に、プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されます。[159 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。


10. 新しいプリントヘッドを取り付けたら、カラー キャリブレーションを実行することをお勧めします。[78 ページのカラー キャリブレーション](#)を参照してください。

14 プリンタを保守する

- [プリンタ ステータスを確認する](#)
- [プリンタ外観のクリーニング](#)
- [インクカートリッジをメンテナンスする](#)
- [プリンタを移動または保管する](#)
- [ファームウェアをアップデートする](#)
- [ソフトウェアをアップデートする](#)
- [プリンタ保守キット](#)
- [安全なディスク消去](#)

プリンタ ステータスを確認する

プリンタのステータスは、以下のさまざまな方法で確認できます。

- HP DesignJet Utility を起動して、使用するプリンタを選択すると、プリンタ、用紙、インク サプライ品のステータスが記述されたページが表示されます。
- 内蔵 Web サーバにアクセスすると、プリンタの全般的なステータスに関する情報が表示されます。[メイン]タブの[サプライ品]ページに、用紙およびインク サプライ品のステータスが表示されます。
- 用紙、インク容量、インクカートリッジ、およびプリントヘッドに関する情報を表示するには、フロントパネルで、 を押します。現在問題がある場合には、最も緊急な問題がある領域が自動的に表示されます。

現在アラートがある場合には、ホーム画面の上部行に、優先度が最も高いアラートが表示されます。アラートメッセージを押すと、現在のすべてのアラートのリストが表示されます。

プリンタ外観のクリーニング

プリンタの外部や、通常の操作で触れるその他の部分のクリーニングには、湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹸など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用します。

⚠ 警告！ 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタの電源がオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。

⚠ 注意： プリンタに研磨剤入りクリーナーを使用しないでください。

インクカートリッジをメンテナンスする

インクカートリッジは、通常の使用期間内であれば特別なメンテナンスは必要ありません。ただし、最高の印刷品質を維持するため、使用期限に達したカートリッジは交換してください。カートリッジが使用期限に達すると、プリンタのフロントパネルに表示されます。

カートリッジの使用期限はいつでも確認できます。[116 ページのプリンタ ステータスを確認する](#)を参照してください。

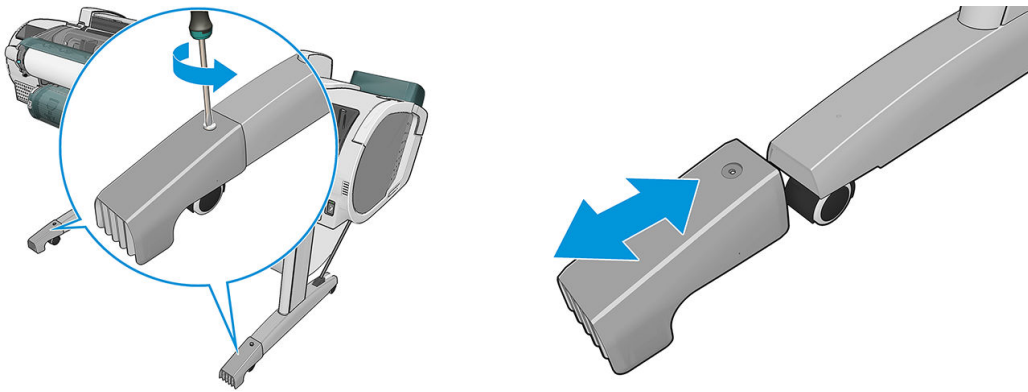
[104 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」](#)も参照してください。

プリンタを移動または保管する

プリンタを移動する必要がある場合は、損傷を防ぐために適切な準備作業を行ってください。プリンタの準備作業を行うには、以下の手順に従います。

1. インクカートリッジ、プリントヘッドは取り外さないでください。
2. 用紙がすべてプリンタから取り外されていることを確認します。
3. プリンタの電源がオフであることを確認します。
4. プリンタからケーブルをすべて取り外します。

⚠ 注意： 戸口からプリンタを移動する前に、必要に応じて脚部の延長部分を取り外し、プリンタを設置する前に必ず組み立て直してください。



長期間プリンタを保管する必要がある場合は、以下の手順を実行します。

1. フロントパネルの電源ボタンを押して、電源をオフにします。
2. プリンタの背面にある電源スイッチもオフにします。
3. プリンタの電源ケーブルを取り外します。

⚠ 注意：プリンタを逆さにすると、プリンタ内部にインクが漏れてプリンタに重大な故障が発生することがあります。

プリンタの電源を入れ直すと、プリンタの初期化、およびプリントヘッドの確認と準備に約3分かかります。プリントヘッドの準備は、通常、1分強かかります。ただし、プリンタを6週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大45分かかることがあります。

⚠ 注意：プリンタの電源を6週間以上オフのままにしておいた場合、プリントヘッドが使用できなくなる可能性があります。この場合、プリントヘッドを新品に交換する必要があります。

💡 ヒント：プリントヘッドの準備と除去には時間がかかり、インクが消費されるので、プリントヘッドの状態を良好に保つために、プリンタの電源を常にオン、またはスリープモードにしておくことを強くお勧めします。どちらの場合も、随時プリンタは自動的に起動し、プリントヘッドが保守されます。そのため、プリンタを使用する前に、準備処理に長い時間をかけずに済みます。

📖 注記：印刷せずにプリンタの電源をオンのまま保つ場合は、用紙にピンチホイールの跡が残らないように、6時間ごとに用紙がわずかに送られます。

ファームウェアをアップデートする

プリンタのさまざまな機能は、プリンタ内のファームウェアによって制御されています。

ファームウェアのアップデートは、随時、HPのサポート窓口から入手することができます。これらのアップデートによって、プリンタの機能が強化されます。小さい問題が修正されることもあります。

📌 重要：最新の開発機能を活用するため、ファームウェアを定期的に更新することを強く推奨します。

ファームウェアのアップデートをダウンロードおよびインストールするには、下記のようなさまざまな方法があります。最も便利な方法を選択できます。自動アップデートと手動アップデートの2つのカテゴリに分けることができます。

📖 注記：ファームウェアには、最も一般的に使用される用紙プリセットが含まれています。追加の用紙プリセットは、別途ダウンロードできます。[45ページの用紙プリセット](#)を参照してください。

自動ファームウェア アップデート

自動ファームウェア アップデートは、Webに接続したプリンタで使用すると便利です。プリンタで最新のファームウェア リリースを自動的にダウンロードし、インストールすることができます。

重要な注意事項

- プリンタがインターネットに接続されている必要があります。[21 ページの Web 接続プリンタを設定する](#)を参照してください。
- 自動ファームウェア アップデートを設定するには、フロントパネルまたは内蔵 Web サーバを使用します。[21 ページの Web 接続プリンタを設定する](#)を参照してください。
- 管理者パスワードが設定されている場合は、以下の設定を変更する必要があります。
- ファームウェア アップデートのパッケージサイズが大きい可能性があります。ネットワーク接続またはインターネット接続に何らかの影響を与えないかどうかを検討してください。Jetdirect アダプタを介したダウンロードは、内蔵イーサネット アダプタを介したものより遅くなります。
- ファームウェア アップデートはバックグラウンドでダウンロードされます。プリンタは、同時に印刷することができます。ただし、バックグラウンドでインストールすることはできません。印刷を停止する必要があります。

手動ファームウェア アップデート

手動ファームウェア アップデートは、以下のいずれかの方法で実行できます。

- 使用する内蔵 Web サーバで**[ファームウェアのアップデートの保守]**タブをクリックし、**[ファームウェアのアップデート]**を選択します。**[今すぐ確認]**を押して、新しいファームウェアを入手可能かどうかを確認します。新しいファームウェアが入手可能な場合は、そのファームウェアに関する情報が表示されるので、必要に応じて、ダウンロードしてインストールすることができます。
- Windows で HP DesignJet Utility を使用して使用するプリンタを選択し、**[サポート]**タブ、**[ファームウェアのアップデート]**を選択します。
- Mac OS X で HP DesignJet Utility を使用して**[サポート]**グループの**[ファームウェアのアップデート]**を選択します。
- HP Web Jetadmin を使用して、ファームウェアのアップデートを手動で行うことができます。また、自動アップデートを要求することもできます。
- USB フラッシュ ドライブを使用して、<http://www.hp.com/go/Z2600/firmware> または <http://www.hp.com/go/Z5600/firmware> から USB フラッシュ ドライブにファームウェア ファイルをダウンロードし、それをフロントパネルのそばにある高速 USB ホスト ポートに挿入します。ファームウェアのアップデート アシスタントがフロントパネルに表示され、アップデート処理手順を説明します。

ソフトウェアをアップデートする

プリンタのプリンタ ドライバおよび他のソフトウェアをアップデートするには、<http://www.hp.com/go/Z2600/drivers> または <http://www.hp.com/go/Z5600/drivers> を参照してください。

Windows をご使用の場合、HP ソフトウェア アップデートによってソフトウェアが定期的に自動更新されます。

プリンタ保守キット

プリンタには3種類の保守キットが用意されており、長期間使用したコンポーネントを交換できます。コンポーネントの交換が必要なときは、フロントパネルにメッセージが表示されるか、HP DesignJet Utility によってメッセージが表示されます。

メッセージが表示されたときは、HP サポート ([175 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)を参照) までお問い合わせの上、保守キットを入手してください。キットをインストールできるのは、サービスエンジニアだけです。

安全なディスク消去


プリンタのハードディスクは、印刷ジョブの一時的な格納領域として使用されます。安全なディスク消去機能を使用すれば、ハードディスクから情報を完全に消去して、許可のないアクセスから情報を保護できます。特定のファイルを消去することも、ハードディスク全体を消去することも可能です。

安全なディスク消去機能では、次の3つのセキュリティレベルを設定できます。

- **非セキュア高速消去**：情報の参照元がすべて消去されます。情報そのものは、その情報が入っているディスク領域が他の目的で必要になるまでハードディスクに残りますが、その後は上書きされます。情報はディスクに残りますが、ほとんどのユーザにとってアクセスすることは困難です。ただし、特定の目的で設計されたソフトウェアを使用すればアクセス可能です。これは、ほとんどのコンピュータシステムでファイルが消去される通常の方法です。最も高速ですが、最も安全性が低くなります。
- **セキュア高速消去**：情報の参照元がすべて削除され、情報そのものも固定された文字パターンで上書きされます。非セキュア高速消去よりは時間がかかりますが、より安全な方法です。それでも、磁気的痕迹を検出する特殊なツールを使用すれば、消去した情報の断片にアクセスすることが可能な場合があります。
- **セキュアサニタizing消去**：情報の参照元がすべて削除され、情報そのものもすべての痕跡を除去するために作られたアルゴリズムを使用して繰り返し上書きされます。最も時間はかかりますが、最も安全な方法です。セキュアサニタizing消去は、米国国防総省の、ディスクメディアの消去およびサニタizingの要件(5220-22.m)に適合しています。安全なディスク消去を使用する際は、これがデフォルトのセキュリティレベルです。

安全なディスク消去は、HP から無料で提供されている Web ベースの印刷管理ソフトウェア Web JetAdmin の機能の1つです。<http://www.hp.com/go/webjetadmin> を参照してください。

Web JetAdmin から安全なディスク消去するときに問題が発生した場合は、HP サポートにお問い合わせください。[175 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)を参照してください。

 **注記**：ハードディスク全体を消去すると、処理中に何度かプリンタの再起動を要求される場合があります。この処理は、安全なディスク消去では約6時間、セキュアサニタizing消去では約24時間かかります。

15 アクセサリ

- [サプライ品およびアクセサリ](#)
- [アクセサリ](#)

サプライ品およびアクセサリ

プリンタ用のサプライ品およびアクセサリについては、次の2つの方法でご確認ください。

- Web で、<http://www.hpmedia.com> にアクセスします。
- HP サポート ([175 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)を参照) に問い合わせる

以下は、ご使用いただけるサプライ品およびアクセサリと製品番号のリストです。

インク サプライの注文

このプリンタ対応のインク サプライ品は以下のとおりです。

インクカートリッジ


カートリッジ	製品番号
HP 745 マゼンタ インクカートリッジ (130ml)	F9J95A
HP 745 イエロー インクカートリッジ (130ml)	F9J96A
HP 745 シアン インクカートリッジ (130ml)	F9J97A
HP 745 フォトブラック インクカートリッジ (130ml)	F9J98A
HP 745 マットブラック インクカートリッジ (130ml)	F9J99A
HP 745 130ml インク カートリッジ (クロマティック レッド)	F9K00A
HP 745 マゼンタ インクカートリッジ (300ml)	F9K01A
HP 745 イエロー インクカートリッジ (300ml)	F9K02A
HP 745 シアン インクカートリッジ (300ml)	F9K03A
HP 745 フォトブラック インクカートリッジ (300ml)	F9K04A
HP 745 マットブラック インクカートリッジ (300ml)	F9K05A
HP 745 300ml インク カートリッジ (クロマティック レッド)	F9K06A

プリントヘッド

プリントヘッド	製品番号
HP 744 プrintヘッド フォトブラック/シアン	F9J86A
HP 744 プrintヘッド マゼンタ/イエロー	F9J87A
HP 744 プrintヘッド マット ブラック/クロマティック クレッド	F9J88A

用紙について

このプリンタに現在対応している用紙は以下のとおりです。

 **注記** : 以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、<http://www.hpmedia.com> を参照してください。

 **注記** : HP でサポートしていない用紙の種類もプリンタで使用できます。

販売国/地域を示すコード

- (A) アジア (日本を除く) で販売されている用紙を示します。
- (C) 中国で販売されている用紙を示します。
- (E) ヨーロッパ、中東、およびアフリカで販売されている用紙を示します。
- (J) 日本で販売されている用紙を示します。
- (L) 南米で販売されている用紙を示します。
- (N) 北米で販売されている用紙を示します。

製品番号に括弧が付いていない場合、その用紙はすべての地域で販売されています。

ロール紙

用紙の種類	g/m ²	長さ	幅	製品番号
HP フォト用紙				
HP プレミアム速乾光沢フォト紙	260	22.9m	610mm	Q7991A
			914mm	Q7993A
			1067 mm	Q7995A
HP プレミアム速乾半光沢フォト紙	260	22.9m	610mm	Q7992A
			914mm	Q7994A
			1067 mm	Q7996A
HP エブリデイ速乾光沢フォト紙	235	30.5m	610mm	Q8916A
			914mm	Q8917A
			1067 mm	Q8918A
HP エブリデイ速乾半光沢フォト紙	235	30.5m	610mm	Q8920A
			914mm	Q8921A
			1067 mm	Q8922A
HP スタンダード速乾性光沢フォト用紙	200	30.5m	610mm	Q6574A
			914mm	Q6575A
			1067 mm	Q6576A
			61m	Q8754A
HP ユニバーサル速乾性半光沢フォト用紙	200	30.5m	610mm	Q6579A
			914mm	Q6580A
			1067 mm	Q6581A
			61m	Q8755A
HP プレミアムマットフォト用紙	210	30.5m	610mm	CG459B
			914mm	CG460B
HP バックライト用紙				
HP プレミアムビビッドカラーバックライトフィルム	285	30.5m	914mm	C8747A
			1067 mm	C8748A

ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m ²	長さ	幅	製品番号	
HP 粘着紙					
HP エブリデイ ポリプロピレン 粘着マット紙	120	22.9m	610mm	C0F18A	
			914mm	C0F19A	
			1067 mm	C0F20A	
HP エブリデイ ポリプロピレン 粘着光沢紙	120	22.9m	914mm	C0F28A	
			1067 mm	C0F29A	
HP スタンダード粘着ビニール	150	20m	914mm	C2T51A	
			1067 mm	C2T52A	
HP ビニール (粘着タイプ)	190	12.2m	914mm	C0F08A	
			345 (裏地 を含む)		
HP サイン&バナー					
HP オパークスクリム	460	15.2m	610mm	Q8675C	
			914mm	Q1898C	
			1067 mm	Q1899C	
HP プレミアム ポリプロピレン マット紙	140	22.9m	914mm	C2T53A (AEN)	
			1067 mm	C2T54A (AEN)	
HP エブリデイ ポリプロピレン マット紙	120	30.5m	610mm	CH022A	
			914mm	CH023A	
			1067 mm	CH025A	
			61m	CH024A	
HP 耐久性半光沢ディスプレイ フィルム	265	15.2m	914mm	Q6620B	
HP 耐久バナー (DuPont Tyvek)	133	22.9m	914mm	C0F12A	
			1067 mm	C0F13A	
HP 普通紙とコート紙					
HP プラススーパー厚手マット 紙	210	30.5m	610mm	Q6626B	
			914mm	Q6627B	
			1067 mm	Q6628B	
HP スタンダード普通紙	80	45.7m	594mm (A1)	Q8003A	
			610mm	Q1396A	
			914mm	Q1397A	
			1067 mm	Q1398A	
			91.4m	594mm (A1)	Q8004A
			841mm (A0)	Q8005A	

ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m ²	長さ	幅	製品番号
		175m	914mm	Q8751A
HP インクジェット用上質普通紙	90	45.7m	419mm	Q1446A
			594mm (A1)	Q1445A
			610mm	C1860A
			610mm	C6035A
			841mm (A0)	Q1444A
			914mm	C6036A
			914mm	C1861A
		91.4m	914mm	C6810A
HP 厚手コート紙	130	30.5m	610mm	C6029C
			914mm	C6030C
			1067 mm	C6569C
		67.5m	1067 mm	Q1956A
HP コート紙	90	45.7m	420mm (A2)	Q1443A
			594mm (A1)	Q1442A
			610mm	C6019B
			841mm (A0)	Q1441A
			914mm	C6020B
			1067 mm	C6567B
		91.4m	914mm	C6980A
HP ファインアートプリント マテリアル				
HP アーティストキャンバス (つや消し)	390	15.2m	610mm	E4J54B
			914mm	E4J55B
			1067 mm	E4J56B
			1118 mm	E4J57A
HP リトグラフ調マット紙	269	30.5m	610mm	K6B77A
			914mm	K6B78A

アクセサリの注文

お使いのプリンタ用にご使用いただけるアクセサリは以下のとおりです。

商品名	製品番号
HP DesignJet 24 インチ ロール フィード スピンドル	CQ783A
HP DesignJet 44 インチ ロール フィード スピンドル	Q6709A
HP DesignJet 3 インチ スピンドル アダプタ キット	CN538A

商品名	製品番号
HP Jetdirect 640n プリント サーバ	J8025A
HP DesignJet HD スキャナ	CQ654C

アクセサリ

スピンドル

追加のスピンドルがあれば、用紙の種類をすばやく変更できます。

Jetdirect プリント サーバ

Jetdirect プリント サーバは、プリンタに組み込まれている標準のイーサネット インタフェースで提供される接続オプションおよびセキュリティ オプションを超える、追加の接続オプションおよびセキュリティ オプションをサポートします。

16 用紙に関するトラブルシューティング

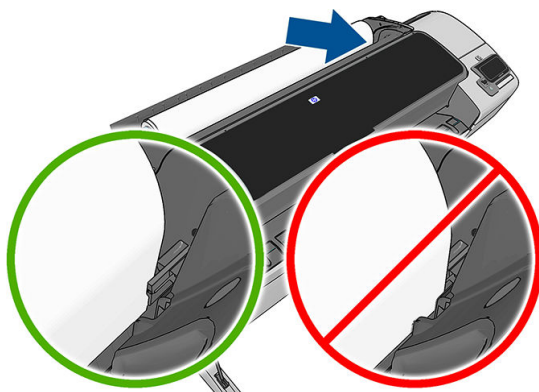
- [用紙が正しく取り付けられない](#)
- [用紙の種類がドライバに含まれていない](#)
- [プリンタが間違った用紙の種類に印刷した](#)
- [自動カットを使用できない](#)
- [適当な用紙を待っています](#)
- [ロール紙が送られない](#)
- [用紙が詰まっている](#)
- [帯が排紙トレイに残り、紙詰まりが発生する](#)
- [プリンタに用紙があるときに用紙切れと表示される](#)
- [印刷物がバスケットにきちんと排出されない](#)
- [印刷が完了してもカット紙がプリンタに留まる](#)
- [印刷が完了すると用紙がカットされる](#)
- [カッターで正しくカットされない](#)
- [ロール紙がスピンドルでたるむ](#)
- [用紙送りのキャリブレーションを行う](#)

用紙が正しく取り付けられない

- 用紙が取り付けられていないことを確認します。
- 用紙がプリンタの奥まで十分に差し込まれていることを確認します。十分に差し込まれている場合、プリンタに用紙が固定されているように感じられます。
- フロントパネルに指示が表示されない限り、位置合わせの処理中に用紙をまっすぐにしないでください。用紙はプリンタによって自動的にまっすぐにされます。
- 用紙がしわになっている、歪んでいる、または曲がっている可能性があります。
- 特に固い用紙を上部のロールから挿入することは困難な場合があります。下部のロールに移動してみてください。

ロール紙の取り付けの失敗に関する一般的な問題

- 用紙が取り付けられない場合、用紙の先端が曲がっているかまたは汚れており、切り揃える必要があります。ロール紙の先端の2cmを切り取ってもう一度試してください。新しいロール紙の場合でもこの処理が必要な場合があります。
- 用紙の端がスピンドルの端にしっかりと固定されていることを確認します。
- スピンドルが正しく挿入されていることを確認します。
- 用紙がスピンドルに正しく取り付けられていて、ロール紙の向きが正しいことを確認します。
- ロール紙の端の接続部がすべて取り除かれていることを確認します。
- 用紙がロールにしっかりと巻き取られていることを確認します。
- 位置合わせの処理中は、ロール紙または用紙に触れないでください。
- ロール紙を取り付けるときは、閉じるように要求するメッセージがフロントパネルに表示されるまで、ロールカバーを開いたままにする必要があります。
- 上部のロール紙を取り付けるときは、ロール紙をカット紙のスロットに挿入しないでください。




ロール紙の取り付けに失敗する

用紙がまっすぐに挿入されていない場合、フロントパネルに以下の指示が表示されます。

1. フロントパネルにメッセージが表示されたら、左の青いレバーを上げます。ロール紙はプリンタによってまっすぐにされます。
2. フロントパネルにメッセージが表示されたら、青いレバーを下げます。プリンタによって位置の確認が行われます。ロール紙の位置合わせが終了すると、プリンタによってロールカバーを閉じるように要求され、印刷の準備が整います。

ロール紙の位置が合っていない場合、フロントパネルにやり直しを指示するエラーメッセージが表示されます。

用紙の取り付けをやり直す場合、フロントパネルで処理をキャンセルし、ロール紙の端がプリンタから外れるまで、スピンドルの端からロール紙を巻き戻します。

 **注記**：ロール紙が芯の周りでゆるくなっていると、プリンタに用紙を取り付けることができません。

カット紙の取り付けに失敗する


- 特に厚手の用紙の場合は、プリンタが最初にカット紙を給紙するときにカット紙の位置を揃えま
す。
- カット紙の位置が、ロールカバー上の基準線に合っていることを確認します。
- フロントパネルに指示が表示されない限り、用紙の取り付けの処理中にカット紙をまっすぐにし
ないでください。
- はさみなどを使用して切ったカット紙(形が不揃いである可能性があります)は使用せず、購入し
たカット紙のみを使用します。


問題が発生した場合は、フロントパネルディスプレイに表示される指示に従ってください。

用紙の取り付けをやり直す場合は、フロントパネルで処理をキャンセルします。カット紙がプリンタ
の前面から排紙されます。

用紙の取り付けのエラーメッセージ


用紙の取り付けに関連するフロントパネルメッセージと、推奨する処理の一覧を以下に示します。

フロントパネルメッセージ	推奨する処理
用紙の取り付けが完了したらロール カバーを閉じてください	用紙の取り付けが完了したらロールカバーを閉じます。
レバーが上がっています	用紙の取り付け中に、青いレバーが上がっています。このため、プリン タに用紙を取り付けることができません。フロントパネルに表示される 指示に従ってください。
用紙の取り付けエラー	用紙が正しく取り付けられていません。青いレバーを持ち上げ、用紙を 取り除き、レバーを下げます。
取り付けた用紙にスキューが多すぎ ます	用紙の取り付け中に、用紙にスキュー(歪み)が多すぎるものが検出さ れました。フロントパネルに表示される指示に従ってください。
用紙が芯に対してゆるくなっていま す	ロール紙の芯の周りがゆるくなっています。用紙を芯にしっかりと巻き つけるか、新しいロール紙を挿入します。
用紙が検出されませんでした	用紙の取り付け中に、用紙が検出されませんでした。用紙が完全に取り 付けられており、透明ではないことを確認します。
用紙の取り付け中にロールカバー が閉じました	フロントパネルに指示が表示されるまで、ロールカバーを閉じないでく ださい。
カット紙が大きすぎます	カット紙の取り付け中に、カット紙の幅が広すぎるか、長さが長すぎる ことが検出されたため、プリンタに正しく取り付けることができません。  を押して、用紙の取り付けを中止します。 178 ページの機能の仕様 を参照してください。

フロントパネル メッセージ	推奨する処理
カット紙が小さすぎます	カット紙の取り付け中に、カット紙の幅が狭すぎるか、長さが短すぎる ことが検出されたため、プリンタに取り付けることができません。  を押して、用紙の取り付けを中止します。 178 ページの機能の仕様 を 参照してください。
上部のロール紙が取り付けられま したが、単独のカット紙経路に差し込 まれています	ロール紙をカット紙スロットに差し込まないでください。

用紙の種類がドライバに含まれていない

ドライバに含まれない用紙に印刷する場合、既にドライバに存在するプリセットの1つとして用紙を使用することもできますが、透明か半透明か、光沢紙かマット紙かを指定する必要があります。

 **注記：** 光沢紙にマットブラックインクを使用してもうまく印刷できません。光沢紙を使用する場合は、[用紙の種類] に光沢紙を指定することが重要です。

光沢紙

フォト用紙を使用する場合は、[**フォト用紙**] カテゴリを使用します。光沢のある用紙または非常に光沢のある用紙の場合は、用紙の種類として [**光沢フォト用紙**] を選択します。半光沢、サテン、パール、またはつや仕上げを使用する場合は、用紙の種類に [**半光沢/サテンフォト用紙**] を選択します。

フォト用紙で色域を拡張するには、仕上げに応じて [HP スタンダード光沢フォト用紙] または [HP スタンダード半光沢フォト用紙] を選択します。

マット紙

マット用紙に選択する用紙の種類は、用紙のインク吸収能力によって異なります。用紙カテゴリと種類を選択するにはまず、使用する用紙が汎用なのか、写真用なのかを確認します。次に、推奨される用紙の種類を選択します。

汎用の用紙

- トレーシングペーパーの場合は、用紙の重さに応じて用紙の種類に [**汎用モノクロ&カラートレーシングペーパー 薄口**] または [**汎用モノクロ&カラートレーシングペーパー 厚口**] を選択します。
- 薄い用紙 (<90g/m²) (たとえば、普通紙またはインクジェット普通紙) の場合は、用紙の種類として [**普通紙とコート紙**] - [**普通紙**] を選択します。
- 薄いコート紙 (<110g/m²) を使用する場合は、用紙の種類に、 [**普通紙とコート紙**] - [**HP コート紙**] を選択します。
- 厚手コート紙 (<200g/m²) を使用する場合は、用紙の種類に、 [**普通紙とコート紙**] - [**厚手コート紙**] を選択します。
- しわの出ない、非常に厚手のコート紙 (>200g/m²) を使用する場合は、用紙の種類に、 [**普通紙とコート紙**] - [**スーパー厚手コート紙**] を選択します。

フォト用紙

印画紙の場合は、用紙の種類として [**フォト用紙**] または [**マットフォト用紙**] を選択します。

触ると、黒インクが簡単に落ちる

これは、使用している用紙にマットブラックインクとの互換性がない場合に起こります。つや消し黒インク以外を使用するには、用紙の種類として[**フォト用紙**]または[**光沢フォト用紙**]を選択します。

印刷後、用紙がしわになるか、インクが多すぎる

これはインクの使用量が多すぎる時に発生します。使用されるインクの量を減らすには、より薄いカテゴリを選択します。マット紙のカテゴリを薄いものから順に並べると次のようになります。


- 普通紙
- コート紙
- 厚手コート紙
- スーパー厚手コート紙

その他のイメージ品質の問題については、[139 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)を参照してください。

プリンタが間違った用紙の種類に印刷した

意図した用紙を取り付ける前にジョブが印刷されてしまう場合は、プリンタドライバで[用紙の種類]に[**プリンタ設定の使用**]または[**すべて**]が選択されていることがあります。どちらが選択されている場合でも、プリンタではどのような用紙が取り付けられているかにかかわらず、即座に印刷が実行されます。意図した用紙を取り付け([34 ページの「用紙の取り扱い」](#)を参照)、ドライバで用紙の種類を具体的に選択します。

- **Windows** ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質] タブを選択し、[用紙の種類] リストで用紙の種類を選択します。
- **Mac OS X** の[プリント]ダイアログの場合：[用紙/品質] パネルを選択し、[用紙の種類] リストで用紙の種類を選択します。


 **注記**：[プリンタ設定の使用] (Windows) または [すべて] (Mac OS X) がドライバのデフォルトです。

自動カットを使用できない

キャンバスなど一部の用紙の種類は、自動カッターでカットできません。このような用紙の種類を取り付けて有効にすると、プリンタで自動的に他のロール紙に切り替えることができません。有効なロール紙を手動で取り外しておく必要があります。

適当な用紙を待っています

ジョブの送信時に設定可能な条件 ([23 ページの用紙が一致しない場合の動作](#)を参照) の設定に基づいて、取り付けられているどのロール紙がジョブの印刷により適しているかをプリンタが判断します。どの条件にも合致するロール紙がない場合、プリンタはジョブを一時停止させます。手動でジョブを再開すると、当初指定した用紙とは異なる用紙に強制的に印刷できます。それ以外の場合は、一時停止されたままになります。

 **注記**：カットできないロール紙が有効な場合、カットできないロール紙を手動で取り外すまで、他の給紙方法に送信されたすべてのジョブは一時停止します。

どのロール紙にジョブが印刷されるかを決定するのにどの基準が使用されますか？

ユーザはジョブの送信時に、必要な用紙の種類をドライバまたは内蔵 Web サーバで設定することができます。プリンタはジョブを、選択した用紙の種類のリール紙、および描画が途切れない十分な大きさのあるロール紙に印刷します。ジョブを印刷できるすべての基準を満たしているロール紙が複数ある場合、設定によってロール紙が選択されます。これらは、フロントパネルから設定できます。[23 ページのリール紙切替オプション \(Z5600 のみ\)](#)を参照してください。

ジョブはいつ一時停止しますか？

用紙が一致しない場合の動作が **[ジョブを保留にする]** に設定されていると ([23 ページの用紙が一致しない場合の動作](#)を参照)、ジョブは以下の場合に一時停止します。

- ユーザが選択した用紙の種類が、指定されたロールに (または、ロールが指定されていない場合はどちらのロールにも) 現在取り付けられていない。
- ユーザが選択した用紙の種類が、指定されたロールに取り付けられているが、描画が大きすぎてそのロール紙に (または、ロールが指定されていない場合はどちらのロール紙にも) 収まらない。

新しいロール紙を取り付けた場合、一時停止しているジョブは自動的に印刷されますか？

はい。新しいロール紙が取り付けられるたびに、取り付けられたロール紙で印刷可能なジョブがあるかどうかプリンタによって確認されます。

ジョブを一時停止させたくありません。この動作を防ぐことはできますか？

はい、フロントパネルから行うことができます。[23 ページの用紙が一致しない場合の動作](#)を参照してください。

[用紙が一致しない場合の動作] を **[そのまま印刷をする]** に設定しましたが、それでもジョブが一時停止するときがあります。

[印刷プレビューの表示] オプションがドライバまたは内蔵 Web サーバで選択されていると、プレビューを確認してジョブを再開するまでジョブは一時停止します。**[印刷プレビューの表示]** オプションのチェックボックスがドライバでオンになっていないこと、および確認待ちになっている保留中のプレビューウィンドウがないことを確認して、印刷を続行してください。

ジョブの幅はプリンタに取り付けられているロール紙の幅とまったく同じですが、それでもジョブが一時停止します。

マージンを管理する方法はファイルの種類によりさまざまです。

- HP-GL/2 および HP RTL ファイルの場合、デフォルトでは、マージンは描画の内側に含まれます。したがって、914mm の HP-GL/2 および HP RTL ファイルは 914mm のロール紙で印刷でき、一時停止しません。
- ただし、PostScript、PDF、TIFF、または JPEG などその他のファイル形式の場合、描画の外側にマージンを追加する必要があるとプリンタによってみなされます (通常、これらのファイル形式は写真やその他のマージンを含まないイメージで使用されます)。これは、914 mm の TIFF を印刷するには、プリンタがマージンを追加する必要があり、描画を印刷するには 925 mm の用紙が必要であることを意味します。このため、プリンタに取り付けられている用紙の幅が 914 mm しかない場合、ジョブが保留になる可能性があります。

描画の外側にマージンを余分に追加しないでこれらのファイル形式を印刷する場合、**[内容をマージンでクリップ]** オプションが使用できます。このオプションによって、マージンは描画の内側に設定されます。したがって、914mm の TIFF は 914mm のロール紙に一時停止することなく

印刷できます。ただし、描画の境界線に余白が含まれていない場合、マージンによって内容の一部が印刷されない可能性があります。

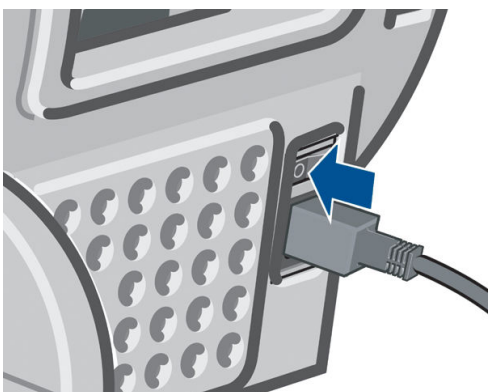
ロール紙が送られない

プリンタを壁に向かって押し上げた場合、プリンタの背面でロール紙が壁に触れることがあります。ウォールスペースを使用して、プリンタと壁の最小限の距離を確保してください。[8ページのウォールスペース](#)を参照してください。

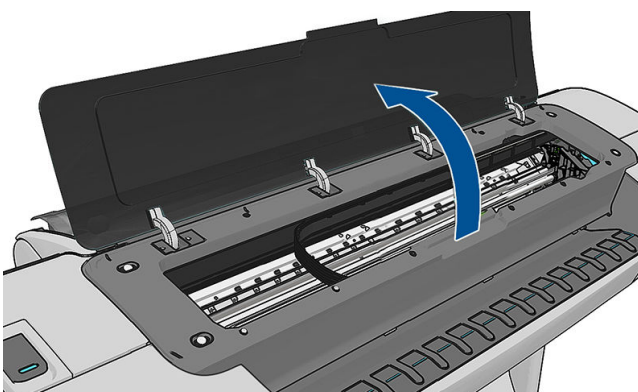
用紙が詰まっている

紙詰まりが起こると、通常、「紙詰まりの可能性がありま

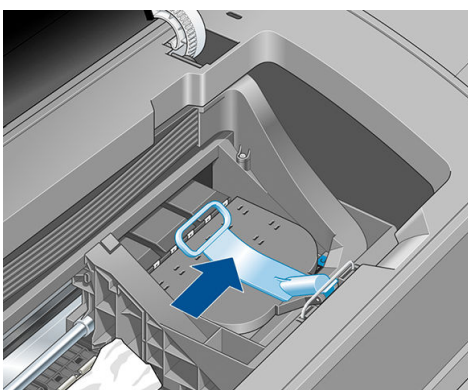
1. フロントパネルでプリンタの電源をオフにし、背面にある電源スイッチもオフにします。



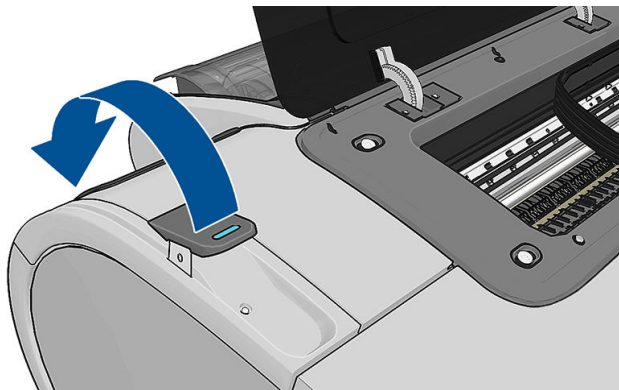
2. ウィンドウを開きます。



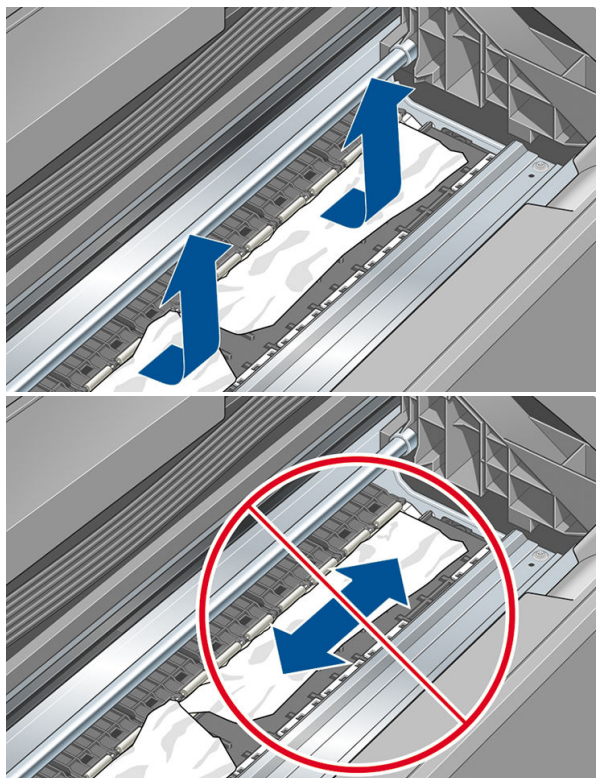
3. プリントヘッドキャリッジを邪魔にならない場所に移動します。



4. 青いレバーを上がるまで持ち上げます。

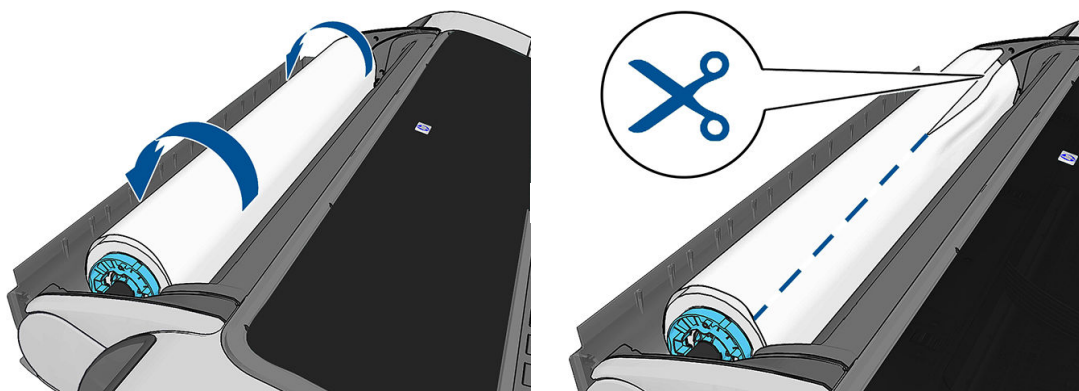


5. プリンタの上部から、詰まった用紙を慎重に取り除きます。

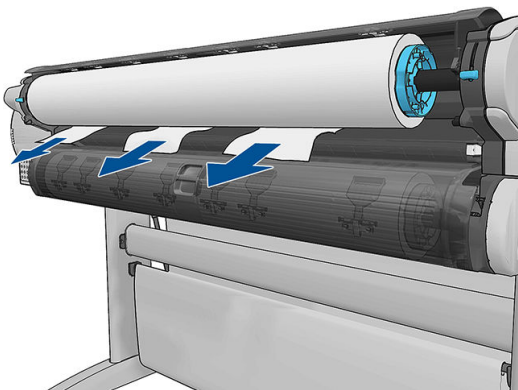


△ 注意：用紙を横に動かさないでください。横に動かすとプリンタが損傷するおそれがあります。

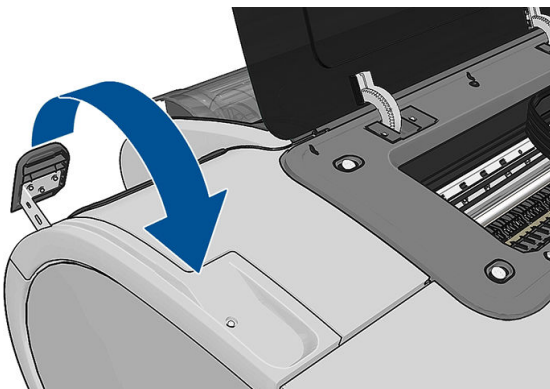
6. ロール紙を巻き直します。用紙が詰まっていてそれ以上巻き直すことができない場合は、ロール紙からその部分を切り取ります。



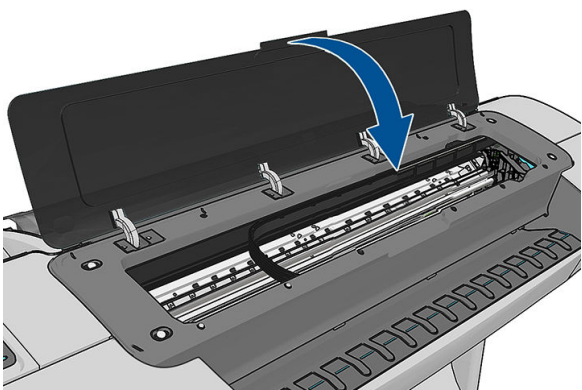
7. プリンタの背面から用紙の切れ端すべてを取り除きます。



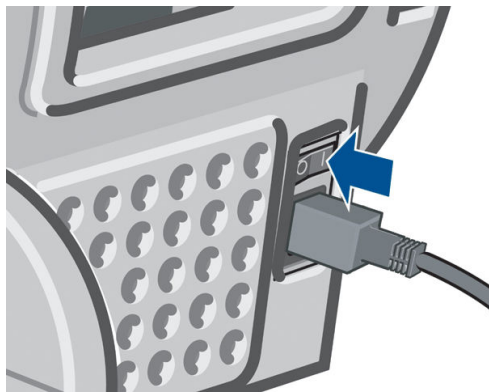
8. 青いレバーを下げます。




9. ウィンドウを閉じます。



10. プリンタの電源を入れます。

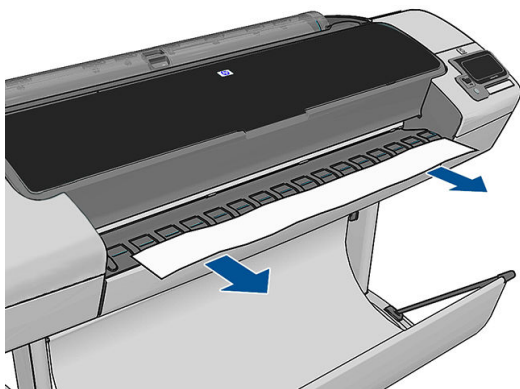


11. ロール紙を取り付け直すか、新しいカット紙を取り付けます (34 ページの「用紙の取り扱い」を参照)。

 **注記:** プリンタ内に障害の原因となる用紙がまだ残っている場合は、作業をやり直し、用紙の切れ端すべてを慎重に取り除きます。

帯が排紙トレイに残り、紙詰まりが発生する

フチ無し印刷の前 (新しいロール紙の場合) や後、またはフロントパネルオプションの [排紙/カット] が使用された後などに小さな用紙 (200mm 以下) がカットされる時、カットされた帯が排紙トレイに残ります。プリンタが印刷していないときのみ、トレイから帯を取り除いてください。



プリンタに用紙があるときに用紙切れと表示される

ロール紙が芯の周りでゆるくなっている場合、プリンタで正しく給紙されず、用紙が取り付けられません。可能であれば、用紙を芯にしっかりと巻きつけるか、新しいロール紙を取り付けます。

印刷物がバスケットにきちんと排出されない

- バスケットが正しく取り付けられていることを確認します。
- バスケットが開いていることを確認します。
- バスケットが満杯になっていないことを確認します。
- 用紙は最後の部分でカールすることが多いため、出力の問題が発生します。新しいロール紙を取り付けるか、印刷が完了したら手で取り出します。

印刷が完了してもカット紙がプリンタに留まる

印刷物を乾かすため、カット紙は印刷後プリンタに保持されます ([48 ページの乾燥時間を変更する](#)を参照)。乾燥時間が過ぎても用紙の一部分しか排出されない場合、用紙をゆっくりとプリンタから引き出します。自動カッターが無効になっている場合、フロントパネルの **[用紙送りと切断]** オプションを使用します。 [49 ページの用紙を給紙してカットする](#) を参照してください。

印刷が完了すると用紙がカットされる

デフォルトでは、乾燥時間が過ぎると用紙はプリンタでカットされます ([48 ページの乾燥時間を変更する](#)を参照)。カッターを無効にすることもできます ([49 ページの自動カッターのオン/オフを切り替える](#)を参照)。

カッターで正しくカットされない

デフォルトでは、乾燥時間が過ぎると、プリンタは用紙を自動的にカットするよう設定されています。カッターの使用がオンになっていても正しくカットされない場合は、カッター レールに汚れや障害物がないことを確認します。

カッターの使用がオフになっていると、**[排紙/カット]** ボタンを押しても用紙はカットされずに排出されるだけです。このオプションを使用して、手動で水平に端をカットしたり、はさみを使用してカットできる位置まで、用紙をプリンタ前面から十分に引き出します。


ロール紙がスピンドルでたるむ


ロール紙を交換するか、取り付け直す必要があります。

用紙送りのキャリブレーションを行う


正確な拡張精度は、用紙に対して適切にドットを配置するための制御要素の一つであるため、優れたイメージ品質を得るのに重要です。プリントヘッドが通過する間に用紙が適切な距離で送られない場合、明るいまたは暗い帯が印刷に現われ、イメージの粒状感が増える場合があります。




プリンタは、フロントパネルに表示されるすべての用紙で用紙が正しく送られるようにキャリブレーションされます。取り付けられている用紙の種類を選択すると、印刷中に用紙を送る間隔がプリンタにより調整されます。ただし、用紙のデフォルトのキャリブレーションに満足できない場合、用紙を送る間隔を再度キャリブレーションする必要があります。拡張精度のキャリブレーションによって問題が解決できるかどうかを判断する手順については、[139 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)を参照してください。

現在取り付けられている用紙の拡張精度のキャリブレーションステータスは、フロントパネルで 



を押して  を押し、**[イメージ品質の保守]-[キャリブレーションステータス]** を選択することで、いつでも確認できます。ステータスは以下のいずれかになります。


- デフォルト：キャリブレーションが実行されていない用紙が取り付けられた場合に、このステータス画面が表示されます。フロントパネルに表示される HP 用紙はデフォルトで最適化されているため、印刷したイメージにバンディングや粒状感などイメージ品質の問題が発生していない限り、再度、拡張精度のキャリブレーションをすることは推奨しません。
- OK：このステータスは、取り付けられた用紙に対するキャリブレーションがこれまでに実行されたことがあることを示します。ただし、バンディングや粒状感などイメージ品質の問題が発生しているときは、キャリブレーションを再度実行する必要があります。

 **注記**：プリンタのファームウェアを更新した場合は、拡張精度キャリブレーション値は工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます ([117 ページのファームウェアをアップデートする](#)を参照)。



 **注意**：透明紙やフィルムは、 を押し、次に  を押して、[イメージ品質の保守]-[拡張精度キャリブレーション]-[拡張精度の調整]で、下記手順 4 の拡張精度のキャリブレーションを再度行う必要があります。。

拡張精度のキャリブレーションを再度行う

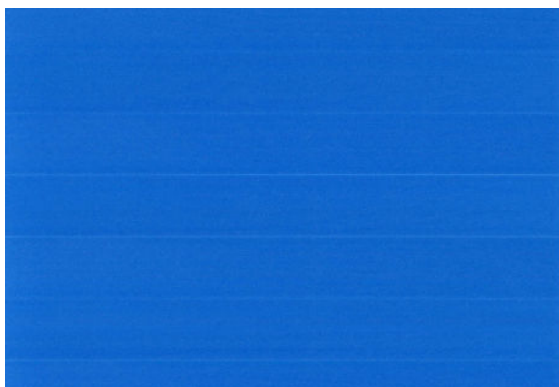
1. フロントパネルで  を押し、次に  を押して、[イメージ品質の保守]-[拡張精度キャリブレーション]-[拡張精度のキャリブレーション]を押します。プリンタにより自動的に拡張精度のキャリブレーションが再度行われ、拡張精度のキャリブレーションイメージが印刷されます。。
2. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度印刷します。

 **注記**：再キャリブレーションの処理には、約 3 分間かかります。拡張精度のキャリブレーションイメージの印刷結果は気にする必要はありません。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

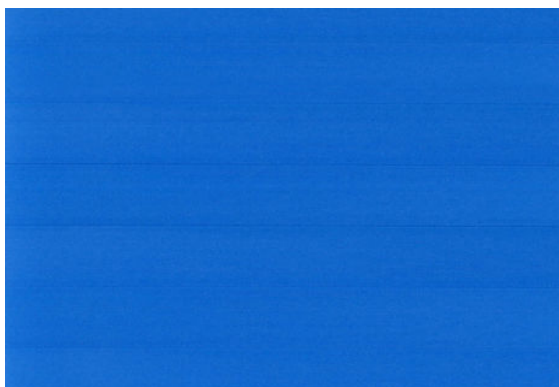
満足できる印刷結果が得られた場合、用紙の種類に合わせて引き続きこのキャリブレーションを使用します。印刷品質に改善が見られる場合、手順 3 に進みます。満足できる再キャリブレーションの結果が得られない場合は、デフォルトのキャリブレーションに戻します ([138 ページのデフォルトのキャリブレーションに戻す](#)を参照)。

3. キャリブレーションを微調整したり、透明紙を使用している場合は、 を押し、次に  を押して、[イメージ品質の保守]-[拡張精度キャリブレーション]-[拡張精度の調整]を選択します。

4. -100% ~ +100%の間で選択します。明るいバンディングを修正する場合は、パーセントを小さくします。





暗いバンディングを修正する場合は、パーセントを大きくします。



5. フロントパネルの【OK】ボタンを押して値を保存します。
6. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度印刷します。

デフォルトのキャリブレーションに戻す

デフォルトのキャリブレーションに戻すと、拡張精度のキャリブレーションで行ったすべての補正が0に設定されます。デフォルトの拡張精度のキャリブレーション値に戻す場合は、キャリブレーションをリセットする必要があります。

1. フロントパネルで  を押し、次に  を押して、【イメージ品質の保守】-【拡張精度キャリブレーション】-【拡張精度のリセット】を押します。。
2. フロントパネルに作業が正常に終了したことが表示されるまで待ちます。

17 印刷品質に関するトラブルシューティング

- [一般的なヒント](#)
- [印刷品質のトラブルシューティングウィザード](#)
- [イメージに横線 \(バンディング\) が見られる](#)
- [イメージに細い縦線が見られる](#)
- [イメージ全体がぼやけているかざらついている](#)
- [用紙が平らになっていない](#)
- [印刷が擦り切れる、または傷がつく](#)
- [用紙にインクが残る](#)
- [印刷部に触れると黒インクが擦れる](#)
- [オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない](#)
- [オブジェクトの端が予期したよりも暗い](#)
- [褐色化する](#)
- [カット紙の端に横線が印刷される](#)
- [異なる色の縦線が印刷される](#)
- [印刷物に白色の点がある](#)
- [色が正確に再現されない](#)
- [イメージが不完全 \(下部の一部が印刷されない\)](#)
- [イメージの一部が印刷されない](#)
- [一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない](#)
- [描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない](#)
- [線画が段状またはギザギザに表示される](#)
- [線画が二重または間違った色で印刷される](#)
- [線が不連続になる](#)
- [線がぼやけている](#)
- [線の長さが不正確](#)

- [イメージ診断の印刷](#)
- [問題が解決されない場合](#)

一般的なヒント

印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP 純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検証されており、トラブルなく最高品質の印刷を実現できるためです。推奨する用紙についての詳細は、[121 ページの用紙について](#)を参照してください。
- フロントパネルで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください([45 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照)。同時に、使用する用紙の種類に対応したキャリブレーションが済んでいることを確認します。また、ソフトウェアで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認します。

⚠ 注意：誤った用紙の種類を選択すると、印刷品質の低下やカラーの問題が発生し、プリントヘッドが破損する可能性があります。

- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します([53 ページの「印刷時」](#)を参照)。印刷品質の低下が起こりやすいのは、[印刷品質]のスライダを[速度]の端に移動させるか、またはカスタムの印刷品質レベルを[高速]に設定した場合です。
- 環境状況(温度、湿度)が推奨する範囲内にあることを確認します。[180 ページの動作環境の仕様](#)を参照してください。
- インクカートリッジおよびプリントヘッドが使用期限を超過していないことを確認します。[116 ページのインクカートリッジをメンテナンスする](#)を参照してください。

印刷品質のトラブルシューティングウィザード

印刷品質のトラブルシューティングウィザードは、以下の問題の解決に役立ちます。

- イメージに横線(バンディング)が見られる
- イメージ全体がぼやけているかざらついている
- 描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない
- 色が正確に再現されない

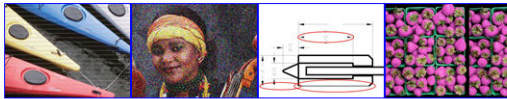
ウィザードを起動するには、以下の手順に従います。

- HP DesignJet Utility (Windows) から：[サポート] タブに移動し、[印刷品質のトラブルシューティング]を選択します。
- HP DesignJet Utility (Mac OS) から：[サポート] グループの [印刷品質のトラブルシューティング] を選択します。
- 埋め込み Web サーバから：[サポート] タブに移動し、[トラブルシューティング] を選択し、次に [印刷品質のトラブルシューティング] を選択します。

Most common print quality issues resolution

Select defect

You may be experiencing **banding**, **graininess**, **poor line quality** or **color inaccuracy** problems similar to the ones shown in the images below. Please select the option that best represents your problem and press the Next button to enter the corresponding troubleshooting process.



Banding Graininess Poor line quality Color inaccuracy

If you see other image quality problems such as non-flat paper, ink bleeds from lines, print smudges when touched, etc., please refer to the:

- [Printer User's Guide](#)

If you want to download detailed step-by-step guides that will help you to get the right layout and color for your prints, please refer to the:

- [HP Knowledge Center](#)

Defect detail

- Roll over the images to obtain more specific information about the corresponding defect.

Next ►



Exit

ウィザードを使用しない場合や、印刷品質に関する他の問題が発生している場合は、引き続きこの章をお読みください。

イメージに横線 (バンディング) が見られる

以下のように、印刷イメージに横線が現れる場合 (色は異なる場合があります) は、下の手順に従います。



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[45 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します ([53 ページの「印刷時」](#)を参照)。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、[印刷品質]のスライダを **[速度]** に設定している場合は、**[品質]** に設定します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
3. [イメージ診断の印刷] を印刷します。[152 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。
4. プリントヘッドが正しく機能している場合は、フロントパネルで  を押して  を押し、[イメージ品質の保守]-[キャリブレーション ステータス] を選択して拡張精度のキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが[デフォルト]の場合、拡張精度のキャリブレーションを実行します。[136 ページの用紙送りのキャリブレーションを行う](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。





イメージに細い縦線が見られる

印刷物の濃い色の塗りつぶし部分で、ロール紙の幅全体にわたって細いまっすぐな縦線が約 5cm 間隔で見られる場合、このロール紙では感光紙モードを選択してみてください。[44 ページの感光紙モード](#)を参照してください。



イメージ全体がぼやけているかざらついている



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[45 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください([53 ページの「印刷時」](#)を参照)。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、[印刷品質]のスライダを[速度]に設定している場合は、[品質]に設定します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. フロントパネルで  を押して  を押し、[イメージ品質の保守]-[キャリブレーション ステータス]を選択してプリントヘッドの軸合わせのステータスを確認します。ステータスが[保留]になっている場合は、プリントヘッドの軸合わせを行います。[159 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
5. フロントパネルで  を押して  を押し、[イメージ品質の保守]-[キャリブレーション ステータス]を選択して拡張精度のキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが[デフォルト]になっている場合は拡張精度のキャリブレーションを実行します。[136 ページの用紙送りのキャリブレーションを行う](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

用紙が平らになっていない

プリンタから排紙されるときに、用紙が浅く波打って平らになっていない場合に、印刷されたイメージに垂直のすじが現れるなどの問題が起こることがあります。これは、印刷されたインクを吸収しきれないほど薄い用紙を使用した場合に発生することがあります。



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[45 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. HP 厚手コート紙または HP プラススーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
3. 取り付けられた用紙よりわずかに薄い用紙の種類を選択します。これにより、プリンタが使用するインクの量が減ります。用紙の種類を薄い順に並べると、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラススーパー厚手マット紙となります。

印刷が擦り切れる、または傷がつく

黒の顔料は、指やペンなどで触れると、擦り切れたり傷がついたりします。これは特に、コート紙の場合にみられます。

光沢紙は、インクの使用量と印刷時の環境条件によっては、スタッカなどの印刷直後に触れるものに対して非常に敏感になる場合があります。

擦り切れや傷のリスクを減らすには、以下のことに従います。

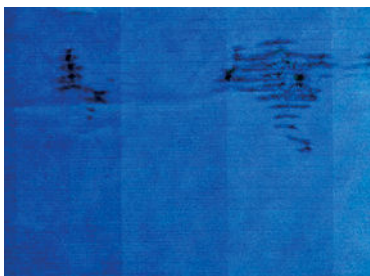
- 印刷物を慎重に取り扱ってください。
- 印刷物が互いに貼り付かないようにしてください。
- 印刷された用紙がカットされたらすぐに取り出し、バスケットに入らないようにします。または、別のカット紙をバスケットに入れたままにしておき、新たに印刷されたカット紙がバスケットに直接触れないようにします。

用紙にインクが残る

この問題は、いくつかの原因によって発生します。

コート紙の表面に水平方向の汚れがある

普通紙およびコート紙に使用するインクが多すぎると、インクが用紙に吸収され広がります。プリントヘッドは、用紙の上を移動するときに用紙に触れるため、印刷イメージが汚れる場合があります。この問題は、通常、カットされた紙でのみ発生します(ロール紙では発生しません)。



この問題に気付いたら、直ちに印刷ジョブをキャンセルしてください。❌を押して、コンピュータアプリケーションのジョブをキャンセルします。インクが染み込んだ用紙により、プリントヘッドが損傷する可能性があります。

この問題を解決するには、以下の推奨方法を実行します。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[45 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. 推奨する用紙の種類 ([121 ページの用紙について](#)を参照) および正しい印刷設定を使用します。
3. カット紙を使用している場合、用紙を 90 度回転させます。用紙の繊維方向が品質に影響します。
4. HP 厚手コート紙または HP プラススーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
5. 取り付けられた用紙よりわずかに薄い用紙の種類を選択します。これにより、プリンタが使用するインクの量が減ります。用紙の種類を薄い順に並べると、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラススーパー厚手マット紙となります。
6. ソフトウェアアプリケーションを使用してイメージをページの中央に移動させ、マージン設定を広くしてみてください。

用紙の裏にインクが付着する

これは、特に標準ではない用紙サイズでフチ無し印刷を大量に行った後に発生する可能性があります。プラテンに残ったインクが用紙の裏に付着する場合があります。

柔らかい布でプラテンのクリーニングを行います。リブの間の発泡体に触れずにそれぞれのリブのクリーニングを行います。

印刷部に触れると黒インクが擦れる

問題の原因として、光沢紙にマットブラック インクで印刷したことが考えられます。このプリンタでは、用紙にマットブラック インクが乗らないことがわかると、マットブラック インクは使用されません。マットブラック インクを使用しないようにするには、用紙の種類で(フォト用紙カテゴリにある)光沢フォト用紙を選択します。

オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない



オブジェクトや線画の端がぼやけている、濃度が明るい、および **[印刷品質]** のスライダをドライバのダイアログで既に **[品質]** に設定している場合は、カスタムの印刷品質オプションを選択し、品質レベルを **標準** に設定してみてください。[53 ページの「印刷時」](#)を参照してください。

オブジェクトの端が预期したよりも暗い



オブジェクトの端が预期したよりも暗く、**[印刷品質]**のスライダをドライバのダイアログで既に**[品質]**に設定している場合は、カスタムの印刷品質オプションを選択し、品質レベルを標準に設定してみてください。[53 ページの「印刷時」](#)を参照してください。

褐色化する

フォト用紙にグレースケールで印刷を行う際に、印刷物からの光が直接手前に反射し、インクの「ブロンズ色」の反射により光沢の差異が生じる場合は、以下のいずれかを実行してください。

- 標準の印刷品質オプションを使用している場合は、スライダが**[品質]**に設定されていることを確認します ([53 ページの「印刷時」](#)を参照)。
- ドライバで、**[黒とグレーのプリントカートリッジのみ]** オプションの代わりに**[全プリントカートリッジ]**を選択してみます。
- 印刷物を垂直にして見るか、ガラス越しに見ます。

カット紙の端に横線が印刷される

用紙の端から約 30mm 以内の、印刷の最後の部分にのみ不具合が発生することがあります。極細の横線が印刷物に少し見られる場合があります。

この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. **[イメージ診断の印刷]**を印刷します。[152 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。
2. ロール紙で印刷します。
3. イメージの周囲のマージンを大きくします。

異なる色の縦線が印刷される

印刷の周囲に異なる色の縦線が帯状に表示される場合は、以下の手順に従います。

1. HP 厚手コート紙や HP スーパー厚手コート紙など、推奨する用紙の種類から厚手の用紙を選択して使用します。[121 ページの用紙について](#)を参照してください。
2. 印刷品質のレベルを上げて使用します ([53 ページの「印刷時」](#)を参照)。たとえば、**[印刷品質]**のスライダを**[速度]**に設定している場合は、**[品質]**に設定します。

印刷物に白色の点がある



印刷に白色の点が見られる場合があります。これはおそらく、用紙の繊維やほこりによるものか、用紙のコーティングが落ちやすいことが原因です。この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. 印刷前にブラシを使用して用紙を手動でクリーニングし、繊維や紙粉を取り除きます。
2. プリンタのカバーは常に閉じておきます。
3. ロール紙やカット紙は、袋または箱に保存して保護します。

色が正確に再現されない






印刷物の色が予期したものと一致しない場合、以下の方法を試してください。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[45 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。さらに、 を押して  を押し、[イメージ品質の保守]-[キャリブレーション ステータス]を選択してカラー キャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが[ペンディング]または[失効]の場合、カラー キャリブレーションを実行する必要があります。[78 ページのカラーキャリブレーション](#)を参照してください。変更を加えて問題が解決した場合、ジョブを再印刷する必要があります。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください([53 ページの「印刷時」](#)を参照)。**[速度]**または**[高速]**オプションを選択した場合、最も正確な色が得られない場合があります。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. アプリケーション カラーマネジメントを使用している場合、選択した用紙の種類および印刷品質設定に合ったカラー プロファイルを使用しているかどうか確認してください。使用するカラー設定が不明の場合、[77 ページの「カラーマネジメント」](#)を参照してください。
5. 問題が印刷物とモニタ間でのカラーの差異による場合、HP Color Center の「ディスプレイのキャリブレーション方法」セクションの手順に従ってください。問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
6. [イメージ診断の印刷]を印刷します。[152 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

イメージが不完全 (下部の一部が印刷されない)

- プリンタがすべてのデータを受信する前に、 を押した可能性があります。その場合は、データの転送が終了しているため、ページを再度印刷する必要があります。
- **[I/O タイムアウト]** 設定が短すぎる可能性があります。この設定により、ジョブが終了したとプリンタが判断する前に、コンピュータがデータをさらに送信するまでのプリンタの待ち時間が決まります。この場合、フロントパネルで、**[I/O タイムアウト]** 設定を長くして、データを再度送信して印刷します。 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[接続]-[ネットワーク接続]-[詳細設定]-[I/O タイムアウトを選択]** を選択します。
- コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある可能性があります。USB またはネットワークケーブルを確認してください。
- ソフトウェアの設定が、現在使用しているページサイズ (長尺印刷など) に対して正しいかどうかを確認してください。
- ネットワークソフトウェアを使用している場合は、タイムアウトが発生していないかどうかを確認してください。

イメージの一部が印刷されない


イメージの欠落は通常、取り付けられている用紙の実際の印刷可能な範囲と、ソフトウェアで認識されている印刷可能な範囲が一致していない場合に発生します。多くの場合、印刷をプレビューすることにより、この問題を印刷前に確認することができます ([61 ページの印刷をプレビューする](#)を参照)。

- 取り付けられた用紙サイズの実際の印刷可能領域を確認します。
印刷可能領域 = 用紙サイズ - マージン
- ソフトウェアが認識する印刷可能な領域 (「印刷領域」または「印刷可能領域」とも呼ばれます) を確認します。たとえば、ソフトウェアアプリケーションによっては、このプリンタで使用される印刷可能な範囲よりも広い範囲を標準と想定している場合があります。
- マージンがきわめて狭いカスタム ページを定義した場合、プリンタ自体により最小マージンが上書きされ、イメージが少し途切れる場合があります。より大きい用紙サイズを使用するか、フチ無し印刷を検討してください ([59 ページのマージンオプションを選択する](#)を参照)。
- 印刷するイメージ自体にマージンが含まれている場合は、**[内容をマージンでクリップ]** を使用することによって正常に印刷できることがあります ([59 ページのマージンオプションを選択する](#)を参照)。
- ロール紙を使用して長いイメージを印刷する場合、ソフトウェアがそのサイズのイメージに対応しているかどうかを確認してください。
- ソフトウェアが処理可能なサイズより大きいイメージを印刷すると、イメージの下部がクリップされる可能性があります。イメージ全体を印刷するには、以下の推奨方法を実行します。
 - － ファイルを TIFF や EPS など別の形式で保存し、別のアプリケーションで開きます。
 - － RIP を使用してファイルを印刷します。
- 用紙サイズの幅が足りない場合、用紙の向きを縦から横に変更するように要求されることがあります。
- 必要に応じて、ソフトウェアアプリケーションでイメージやドキュメントのサイズを小さくして、マージン間にぴったり収まるようにします。

一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない

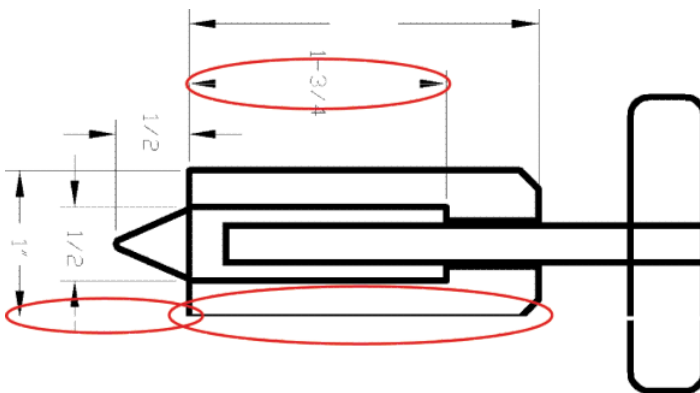
高品質で大判の印刷ジョブを印刷するには大量のデータが必要になるため、特定のワークフローでは、一部のオブジェクトが出力されなくなる問題が発生することがあります。この問題を防ぐための推奨方法は、次のとおりです。



- ドライバまたはフロントパネルで、希望する最終ページサイズに応じてより小さいページサイズを選択します。
- ファイルを TIFF や EPS など別の形式で保存し、別のアプリケーションで開きます。
- RIP を使用してファイルを印刷します。
- お使いのアプリケーションでビットマップイメージの解像度を下げます。
- 印刷されるイメージの解像度を下げるために、より低い印刷品質を選択します。

 **注記** : Mac OS X 上で作業している場合は、上記のどのオプションも使用できません。



上記のオプションはトラブルシューティングのために提案されているものであり、最終的な出力品質や、プリントジョブを生成するために必要な時間に影響する場合があります。したがって、上記の設定でも問題を解決できなかった場合は、オプションを無効にしてください。

描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[45 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します ([53 ページの「印刷時」](#)を参照)。ドライバのダイアログでカスタム印刷の品質オプション (使用できる場合) を選択し、**[高精密]** オプションをオンにします。問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
3. イメージの解像度が印刷解像度よりも高い場合、線品質が低下する場合があります。
4. 線画が細すぎる、または印刷されない場合は、**[イメージ診断の印刷]** を印刷します。[152 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。
5. 問題が解決しない場合は、フロントパネルで  を押して  を押し、**[イメージ品質の保守]** - **[キャリブレーション ステータス]** を選択してプリントヘッドの軸合わせのステータスを確認します。ステータスが**[保留]**になっている場合は、プリントヘッドの軸合わせを行います。

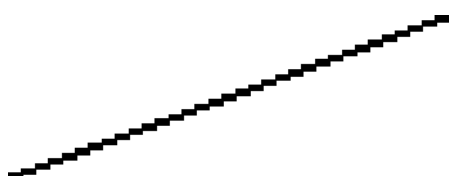
[159 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

6. フロントパネルで  を押して  を押し、[イメージ品質の保守]-[キャリブレーションステータス]を選択して拡張精度のキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが[デフォルト]になっている場合は拡張精度のキャリブレーションを実行します。[136 ページの用紙送りのキャリブレーションを行う](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

線画が段状またはギザギザに表示される

印刷時にイメージの線が段状になる場合、またはギザギザになる場合は、以下の手順に従ってください。

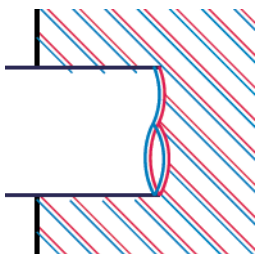


1. イメージ自体に問題がある場合もあります。イメージの編集に使用しているアプリケーションで、イメージの品質を向上させます。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。[53 ページの「印刷時」](#)を参照してください。
3. ドライバのダイアログでカスタム印刷の品質オプション(使用できる場合)を選択し、[高精細]オプションをオンにします。

線画が二重または間違った色で印刷される

この問題では、以下のようなさまざまな症状が現れる場合があります。

- 色付きの線画が別の色で二重に印刷される。



- 色付きのブロックの境界線の色が間違っている。



この問題を修正するには、以下の手順に従います。

1. プリントヘッドを取り外してから再度挿入して、プリントヘッドを再度取り付けます。[108 ページのプリントヘッドを取り外す](#)および[111 ページのプリントヘッドを取り付ける](#)を参照してください。
2. プリントヘッドの軸合わせを行います。[159 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

線が不連続になる

以下の図のように、線が不連続になる場合は、以下の手順に従います。



1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。[53 ページの「印刷時」](#)を参照してください。
2. プリントヘッドを取り外してから再度挿入して、プリントヘッドを再度取り付けます。[108 ページのプリントヘッドを取り外す](#)および[111 ページのプリントヘッドを取り付ける](#)を参照してください。
3. プリントヘッドの軸合わせを行います。[159 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

線がぼやけている



湿度は、インクのにじみや線がぼやけて不鮮明になる原因となります。以下の操作を行います

1. 環境状況(温度、湿度)が高品質の印刷に適しているかどうかを確認します。[180 ページの動作環境の仕様](#)を参照してください。
2. フロントパネルで選択した用紙の種類が、実際に使用している用紙の種類と同じかどうかを確認します。[45 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
3. HP 厚手コート紙または HP プラススーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
4. 取り付けた用紙よりわずかに薄い用紙の種類を選択します。これにより、プリンタが使用するインクの量が減ります。用紙の種類を薄い順に並べると、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラススーパー厚手マット紙となります。

5. 光沢紙を使用している場合は、別の種類の用紙に変更してみてください。
6. プリントヘッドの軸合わせを行います。[159 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

線の長さが不正確

印刷した線の長さを測定して、長さが正確でなかった場合は、次の方法で長さの正確さを向上できる場合があります。

1. HP マットフィルムに印刷します。この場合、プリンタで印刷する線の長さの精度を指定できます。[178 ページの機能の仕様](#)を参照してください。



ポリエステルフィルムは、大きさの精度が通常の用紙よりも約 10 倍ほど安定しています。ただし、HP マットフィルムより厚いフィルムや、薄いフィルムでは、線の長さの正確さが低下します。

2. [印刷品質]のスライダを**[品質]**に合わせます。
3. 室温を常に 10 ~ 30°C (50 ~ 86°F) に保ちます。
4. フィルムのロールを取り付け、5 分以上経ってから印刷を行います。
5. それでも満足のいく結果が得られなかった場合は、拡張精度のキャリブレーションをやり直してください。[136 ページの用紙送りのキャリブレーションを行う](#)を参照してください。

イメージ診断の印刷

イメージ診断の印刷では、プリントヘッドの信頼性の問題を明確にするためのパターンが印刷されます。これにより、現在コンピュータに取り付けられているプリントヘッドのパフォーマンスをチェックし、目詰まりやその他の問題を起こしているプリントヘッドがないかどうかを判断できます。

「イメージ診断の印刷」を印刷するには、以下の手順を実行します。

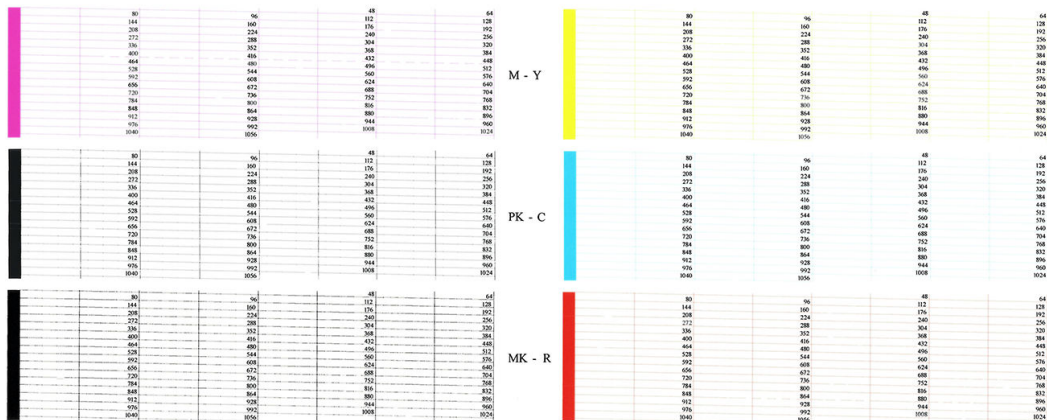
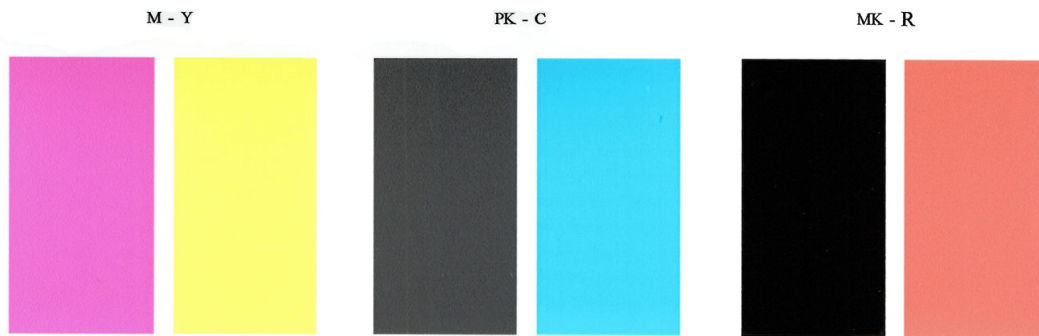
1. 問題が検出された時と同じ用紙の種類を使用します。
2. 選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。[45 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
3. プリンタのフロントパネルで、 を押し、次に  を押して、**[イメージ品質の保守]-[イメージ診断の印刷]** を選択します。

「イメージ診断の印刷」の印刷には 2 分ほどかかります。

印刷は 2 つの部分に分かれており、両方でプリントヘッドのパフォーマンスがテストされます。

- パート 1 (上部) は純粋なカラーの長方形から構成され、それぞれのカラーは各プリントヘッドに対応しています。このパートは、各カラーから得られる印刷品質を表しています。
- パート 2 (下部) は小さな破線から構成され、それぞれの破線は各プリントヘッドのノズルに対応しています。このパートはパート 1 を補完するものであり、特に、各プリントヘッドの問題のあるノズルの個数を検出することを目的としています。

印刷を注意深く確認してください。カラーの名前が長方形の上と破線パターンの中央に表示されません。



最初に印刷の上部を見てください(パート 1)。各カラーの長方形の色は、水平の線がなく均一である必要があります。

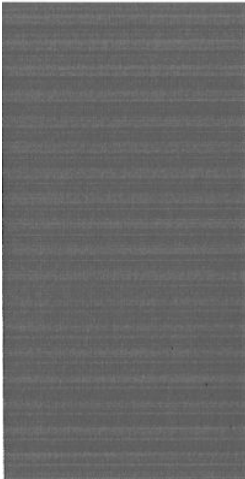
次に、印刷の下部を見てください(パート 2)。各カラーのパターンに、破線の大部分が表示されているかどうかを確認します。

パート 1 に水平の線が表示され、パート 2 に同じカラーの破線の一部が印刷されない場合、問題のあるプリントヘッドをクリーニングする必要があります。ただし、長方形が塗りつぶされている場合は、パート 2 の破線の一部が印刷されなくても気にする必要はありません。ノズルが多少目詰まりを起こしてもプリンタで補正されるため、問題はありません。

以下は、良い状態のグレーのプリントヘッドの印刷例です。



以下は、悪い状態の同じプリントヘッドの印刷例です。



解決のための処置

1. 問題のあるプリントヘッドをクリーニングします ([157 ページのプリントヘッドのクリーニング](#) を参照)。次に、イメージ診断の印刷を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドをもう一度クリーニングしてから、イメージ診断の印刷を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドを手動でクリーニングしてみてください ([157 ページのプリントヘッドのクリーニング](#) を参照)。印刷がうまくいく場合は、現在の印刷ジョブを再印刷することもできます。
4. 問題が解決しない場合は、プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニングを行ってください。通常は、必要に応じて通知が行われますが、通知のない場合でも試す価値はあるかもしれません。 [157 ページのプリントヘッドドロップ検出器のクリーニング](#) を参照してください。
5. 問題がまだ解決しない場合は、問題のあるプリントヘッドを交換するか ([104 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」](#) を参照)、HP サポートにお問い合わせください ([175 ページの HP のサポートにお問い合わせる](#) を参照)。

問題が解決されない場合

この章のヒントを適用しても印刷品質の問題が解決しない場合は、次のいずれかを実行してください。

- 印刷品質オプションのレベルを上げます。 [53 ページの「印刷時」](#) を参照してください。
- 印刷に使用しているドライバを確認します。HP 製以外のドライバをご使用の場合、ドライバベンダーにお問い合わせの上、問題についてご確認ください。可能であれば、適切な HP ドライバを試します。最新の HP ドライバは <http://www.hp.com/go/Z2600/drivers> または <http://www.hp.com/go/Z5600/drivers> からダウンロードできます。
- HP 製以外の RIP を使用している場合、RIP の設定が正しくない可能性があります。RIP に収録されているマニュアルを参照してください。
- プリンタのファームウェアが最新のものであるかどうかを確認します。 [117 ページのファームウェアをアップデートする](#) を参照してください。
- ソフトウェアアプリケーションの設定が正しいかどうかを確認します。

18 インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング

- [インクカートリッジを挿入できない](#)
- [インクカートリッジのステータスメッセージ](#)
- [プリントヘッドが挿入できない](#)
- [フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される](#)
- [プリントヘッドのクリーニング](#)
- [プリントヘッドドロップ検出器のクリーニング](#)
- [プリントヘッドの軸合わせ](#)
- [プリントヘッドのステータスメッセージ](#)

インクカートリッジを挿入できない

1. 正しいカートリッジ(モデル番号)を使用しているかどうかを確認します。
2. カートリッジのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
3. カートリッジの向きが正しいかどうか、カートリッジのラベルを示す文字や文字列の右側が上になっていて読み取れるかどうかを確認します。

⚠️ 注意：インクカートリッジスロットの内部はクリーニングしないでください。

インクカートリッジのステータスメッセージ

表示されるインクカートリッジのステータスメッセージには、以下のものがあります。

- **OK**：カートリッジは問題なく正常に動作しています。
- **未装着です**：カートリッジがまったく取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **低**：インク残量が少なくなっています。
- **残量が僅かです**：インク残量がとても少なくなっています。
- **インクがありません**：インクがありません。
- **再度取付けて下さい**：カートリッジを一旦取り外してから、再度取り付けてください。
- **交換して下さい**：新しいカートリッジと交換することをお勧めします。
- **使用期限切れ**：カートリッジの使用期限が切れました。
- **HP 製以外**：カートリッジに HP 製ではないインクが入っています。
- **[不正]**：カートリッジファミリまたはモデルが正しくないか、間違っって挿入されています。
- **変更済み**：カートリッジが改造されています (補充)。

プリントヘッドが挿入できない

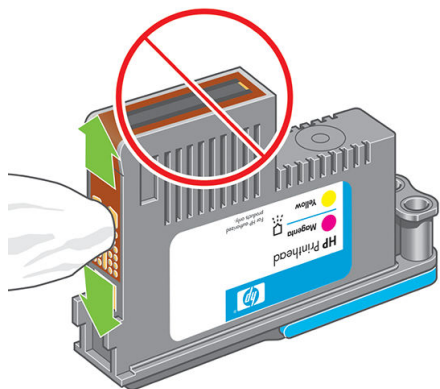
1. 正しいプリントヘッド(モデル番号)を使用しているかどうかを確認します。
2. プrintヘッドから2つのオレンジ色の保護キャップを取り外したかどうかを確認します。
3. プrintヘッドのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
4. プrintヘッドの向きが正しいかどうかを(他のPrintヘッドと比較して)確認します。
5. プrintヘッドのカバーが正しく閉じられ、ラッチで固定されているかどうかを確認します。
[111 ページのプリントヘッドを取り付ける](#)を参照してください。

フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される

1. フロントパネルで、電源をオフにしてからもう一度オンにします。
2. フロントパネルを確認して [印刷可能です] というメッセージが表示されている場合は、プリンタが印刷できる状態です。問題が解決しない場合は、次の手順を続行します。
3. プrintヘッドを取り外します ([108 ページのプリントヘッドを取り外す](#)を参照)。

4. プリントヘッドの裏面にある電極部分を、研磨剤が入っていない布でクリーニングします。付着物の除去に水分が必要な場合、刺激が少ない消毒用アルコールを注意しながら使用します。水は使用しないでください。



△ 注意：デリケートな処理のため、プリントヘッドが破損する場合があります。プリントヘッドの底面のノズルは、特にアルコールで触れないようにしてください。



5. プリントヘッドを再度取り付けます ([111 ページのプリントヘッドを取り付ける](#)を参照)。
6. フロントパネルのメッセージを確認します。問題が解決しない場合は、新しいプリントヘッドを取り付けてみてください。

プリントヘッドのクリーニング

プリンタの電源が常にオンになっている限り、定期的に自動クリーニングが実行されます。これによりノズル内に新しいインクが確保され、ノズルの目詰まりを防止し、カラー精度が保たれます。まだ自動クリーニングを行っていない場合は、次に進む前に[152 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。

プリントヘッドのクリーニングを行うには、フロントパネルに移動し、 を押し、次に  を押して、**[イメージ品質の保守]-[プリントヘッドのクリーニング]** を選択します。イメージ品質診断の印刷プロセスを行うと、問題のあるカラーが判断できます。問題のあるカラーを含むプリントヘッドを2個1組選択します。クリーニングするカラーが不明な場合は、すべてのプリントヘッドをクリーニングするよう選択することもできます。すべてのプリントヘッドのクリーニングには、9分ほどかかります。1組のプリントヘッドのクリーニングには、6分ほどかかります。

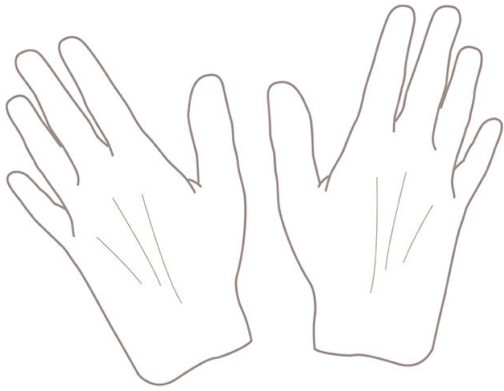
🔍 注記：すべてのプリントヘッドのクリーニングには、1組のプリントヘッドのクリーニングよりも多くのインクが必要です。

プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニング

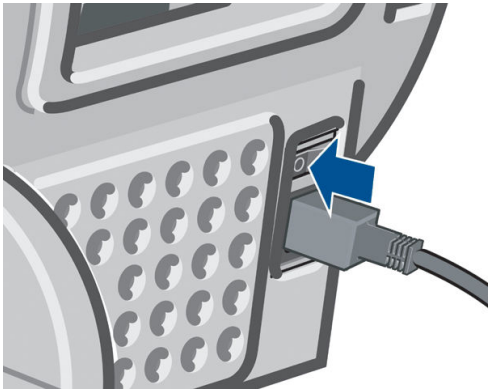
プリントヘッドドロップ検出器はセンサーとして機能し、印刷できないプリントヘッドのノズルが検出された場合、良好な印刷結果が得られるプリントヘッドと交換します。繊維、頭髮、紙くずなどがあると、センサーが遮られて印刷品質に悪影響を与えます。

フロントパネルにクリーニング処理が必要であるとの警告メッセージが表示された場合、プリントヘッドドロップ検出器をクリーニングすることをお勧めします。すぐにプリントヘッドドロップ検出器をクリーニングしない場合、プリンタは通常通り作動しますが、フロントパネルには警告が表示され続けます。

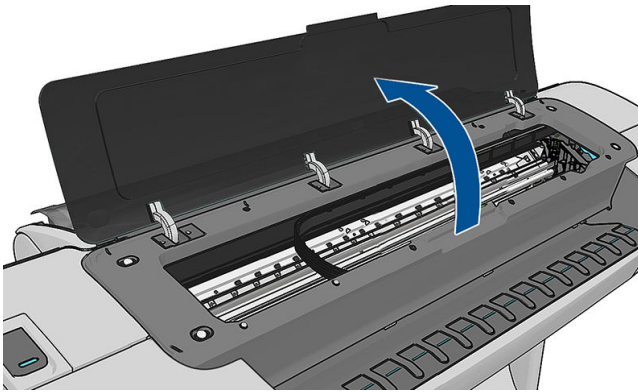
△ 注意：手にインクがつかないように手袋をはめてください。



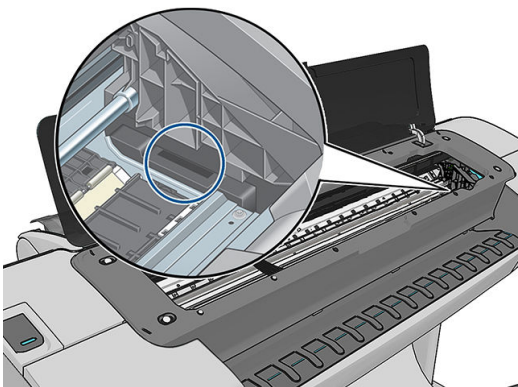
1. フロントパネルでプリンタの電源をオフにします。
2. 感電を防ぐために、プリンタの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。



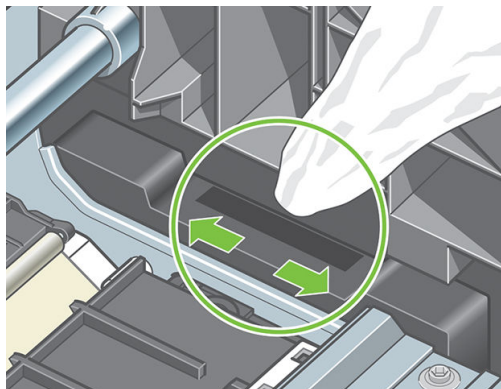
3. ウィンドウを開きます。



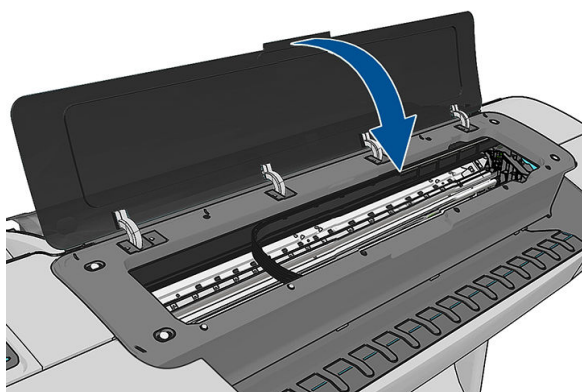
4. 格納されているプリントヘッドキャリッジの横にあるプリントヘッドドロップ検出器を確認します。



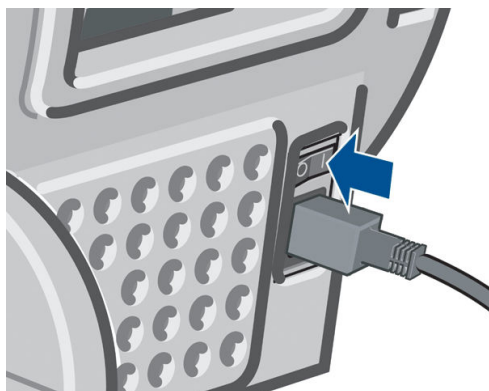
5. プリントヘッドドロップ検出器を遮っている小片を取り除きます。
6. 糸くずのでない乾いた布でドロップ検出器の表面を拭き取り、目に見えない粒子を取り除きます。



7. ウィンドウを閉じます。



8. プリンタの電源コードを差し込み電源を入れます。






9. フロントパネルでプリンタの電源をオンにします。

プリントヘッドの軸合わせ


プリントヘッド間の正確な軸合わせは、高いカラー精度、なめらかなカラーグラデーション、およびグラフィック要素の鮮明なエッジを実現する上で重要です。このプリンタには、プリントヘッドの入手または交換時に、プリントヘッドの軸合わせ処理を自動で行う機能があります。




紙詰まりが起きたり色調精度に問題がある場合は、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があるかもしれません ([77 ページの「カラーマネジメント」](#)を参照)。プリントヘッドの軸合わせを行う必要があります。

 **注記**：紙詰まりが発生した場合、プリントヘッドを取り付け直し、 を押し、次に  を押して、**[イメージ品質の保守]-[プリントヘッドの軸合わせ]** を選択し、もう一度軸合わせ処理を行うことをお勧めします。

 **注意**：プリントヘッドの軸合わせ処理には透明または半透明の用紙は使用しないでください。

プリントヘッドを再度取り付ける手順

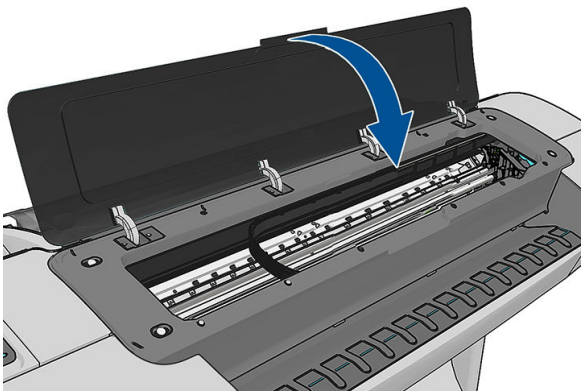
1. 軸合わせ処理の実行中に誤った用紙が取り付けられている場合は、フロントパネルの  を押してください。

 **注意**：軸合わせのやり直し処理をキャンセルした場合は、印刷を行わないでください。 を押し、次に  を押して、**[イメージ品質の保守]-[プリントヘッドの軸合わせ]** を選択し、軸合わせをやり直します。


2. 使用する用紙を取り付けます (34 ページの「[用紙の取り扱い](#)」を参照)。幅 610mm 以上のロール紙、または A2 横置きより大きいサイズのロール紙を使用することができます。

 **注意**：プリントヘッドの軸合わせ処理には透明または半透明の用紙は使用しないでください。

3. すべてのプリントヘッドを取り外して、取り付け直します。[108 ページのプリントヘッドを取り外す](#)および[111 ページのプリントヘッドを取り付ける](#)を参照してください。プリントヘッドの軸合わせ手順が開始されます。
4. ウィンドウが閉じていることを確認してください。プリントヘッドの軸合わせのやり直し中にプリンタ付近の強い光源が軸合わせに影響する可能性があります。





5. この処理には 6 分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

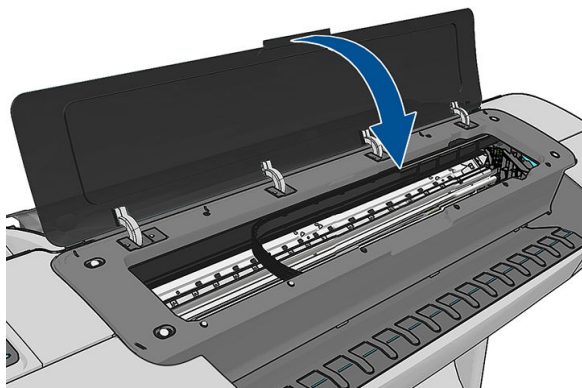
 **注記**：プリンタからキャリブレーションイメージが印刷されます。イメージについては気にしないでください。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

[イメージ品質の保守] メニューの手順

1. 使用する用紙を取り付けます (34 ページの「[用紙の取り扱い](#)」を参照)。ロール紙またはカット紙を使用することもできますが、A3 横置きより大きいサイズ (297 x 420mm) にする必要があります。

△ 注意：プリントヘッドの軸合わせ処理には透明または半透明の用紙は使用しないでください。

2. フロントパネルで、 を押し、次に  を押して、[イメージ品質の保守]-[プリントヘッドの軸合わせ]を選択します。プリンタは、再軸合わせを実行するために十分な用紙がセットされているかチェックします。。
3. 十分な用紙が取り付けられている場合、プリンタによって軸合わせが実行され、軸合わせのパターンが印刷されます。ウィンドウが閉じていることを確認してください。プリントヘッドの軸合わせのやり直し中にプリンタ付近の強い光源が軸合わせに影響する可能性があります。



4. この処理には5分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

軸合わせ中のスキャンエラー

軸合わせ処理がうまくいかない場合は、スキャンの問題に関するメッセージがフロントパネルに表示されます。これは、軸合わせが正常に完了されなかったことを意味します。プリンタの軸合わせが行われていないため、軸合わせを繰り返してからでないと、高い印刷品質で印刷できません。問題の原因として次が考えられます。

- 使用した用紙が無効である。有効な用紙で軸合わせを繰り返します。
- プrintヘッドの状態に問題がある。プリントヘッドをクリーニングします。[157 ページのプリントヘッドのクリーニング](#)を参照してください。
- ウィンドウを開けて軸合わせを行った。ウィンドウを閉じて軸合わせを繰り返します。

有効な用紙を使用し、プリントヘッドをクリーニングしてウィンドウを閉じても問題が解決されない場合は、スキャンシステムに修理を必要とする故障が存在する可能性があります。または、プリントヘッドがきれいでも、動作しないため交換が必要な可能性があります。

プリントヘッドのステータスメッセージ

表示されるプリントヘッドのステータスメッセージには、以下のものがあります。

- **OK**：プリントヘッドは問題なく正常に動作しています。
- **未装着です**：プリントヘッドが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **個別テストが必要**：プリントヘッドを個別にテストして、問題のあるプリントヘッドを確認します。すべてのプリントヘッドをいったん取り外してから1つずつ取り付け直します。1つ取り付ける度に、ラッチとキャリッジカバーを閉じます。問題のあるプリントヘッドがフロントパネルで示され、取り付け直または交換のメッセージが表示されます。

- **再度取付けて下さい**：プリントヘッドをいったん取り外して、取り付け直してください。メッセージが消えない場合は、電極部分をクリーニングします ([156 ページのフロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される](#)を参照)。それでもメッセージが消えない場合は、新しいプリントヘッドと交換します。([108 ページのプリントヘッドを取り外す](#)および[111 ページのプリントヘッドを取り付ける](#)を参照)。
- **交換して下さい**：プリントヘッドに問題があります。動作するプリントヘッドと交換します ([108 ページのプリントヘッドを取り外す](#)および[111 ページのプリントヘッドを取り付ける](#)を参照)。
- **交換が不完全**：プリントヘッドの交換処理を正常に完了できませんでした。交換処理を再度行って正常に完了させてください(プリントヘッドを交換する必要はありません)。
- **取り外して下さい**：プリントヘッドが印刷用途に適していません。

19 一般的なプリンタに関するトラブルシューティング

- [プリンタが起動しない](#)
- [プリンタで印刷ができない](#)
- [プリンタの印刷が遅い](#)
- [コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある](#)
- [HP DesignJet Utility にアクセスできない](#)
- [内蔵 Web サーバにアクセスできない](#)
- [インターネットに接続できない](#)
- [Web サービスの問題](#)
- [ファイルシステムの自動確認](#)
- [アラート](#)

プリンタが起動しない

プリンタが起動しない場合(フロントパネルに何も表示されないか、診断 LED がすべて消灯)、次の方法でファームウェアを交換することをお勧めします。

1. HP サポート センターにアクセスして ([174 ページの HP サポート センター](#)を参照)、ファームウェアをダウンロードします。
2. ファームウェアを USB フラッシュドライブに保存します。可能であれば、USB フラッシュドライブは空にし、FAT ファイルシステムでフォーマットしてください。
3. プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。USB フラッシュドライブをフロントパネルのそばの高速 USB ホスト ポートに接続し、プリンタの電源をオンにします。
4. プリンタがファームウェアファイルを読み取るのに約 1 分かかり、USB フラッシュドライブを取り外すよう求めるメッセージが表示されます。
5. プリンタに新しいファームウェアが自動的にインストールされ、再起動します。

プリンタで印刷ができない

すべてが正常な状態であっても(用紙およびインクを正しく装着し、ファイルのエラーがない状態)、コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合があります。

- 電源に問題がある可能性があります。プリンタが動作せず、フロントパネルに何も表示されない場合は、電源ケーブルが正しく接続され、ソケットに電源が供給されているかどうかを確認してください。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。このような場合は、フロントパネルの **電源** ボタンを押してプリンタの電源を切り、電源コードを抜き、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- ネスティングがオンになっている場合があります。適切なネストの計算までの指定されたネスト待機時間をプリンタが待っています。このような場合は、フロントパネルにネスティングまでの残り時間が表示されます。
- グラフィック言語の設定が間違っている場合は、[32 ページのグラフィック言語の設定を変更する](#)を参照してください。
- プリンタに適したドライバがコンピュータにインストールされていない可能性があります。 [セットアップ手順](#)を参照してください。
- カット紙に印刷する場合は、プリンタ ドライバで手差しを給紙方法として指定する必要があります。
- 用紙情報やアカウント情報 ([75 ページのジョブのステータスメッセージ](#)を参照) が指定されるまでジョブが保留されている可能性があります。
- プリンタ ドライバから印刷プレビューの実行を要求した可能性があります。プレビューは、イメージが目的のイメージになっているかどうかを確認するための機能です。この場合、プレビューは画面に表示されるため、**[印刷]** ボタンをクリックして印刷を開始する必要があります。

プリンタの印刷が遅い

次のような原因が考えられます。

- 印刷品質を**[高品質]**または**[高精細]**に設定している場合。[高品質]および[高精細]での印刷は時間がかかります。
- 用紙を取り付けたときに、正しい用紙の種類を指定しなかった場合。用紙の種類によっては、さらに印刷に時間がかかります。たとえば、フォト用紙およびコート紙では、パス間の乾燥時間が長くなる場合があります。プリンタに現在設定されている用紙の種類を確認するには、[45 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
- プリンタがネットワーク経由で接続されている場合、ネットワーク上のすべてのコンポーネント(ネットワーク インタフェースカード、ハブ、ルータ、スイッチ、およびケーブル)が高速動作に対応しているかどうかを確認します。ネットワーク上の他のデバイスのトラフィック量も確認してください。
- フロントパネルで乾燥時間を**[長い]**に設定している場合。乾燥時間を**[最適]**に変更してみてください。

コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある

問題の例を以下に示します。



- プリンタに画像を送信しても、フロントパネルのディスプレイに**受信中**というメッセージが表示されない。
- 印刷しようとする、コンピュータにエラー メッセージが表示される。
- 通信が確立された状態で、コンピュータまたはプリンタのいずれかがハングしている(アイドル状態)。
- 印刷結果に不規則なエラーまたは原因不明なエラーが発生する(線が正しく表示されない、グラフィックの一部だけ表示されるなど)。

通信の問題を解決するには、以下の処理を実行します。

- アプリケーションで正しいプリンタを選択していることを確認します ([53 ページの「印刷時」](#)を参照)。
- 問題が起きているアプリケーションとは別のアプリケーションで印刷した場合に、プリンタが正しく動作することを確認します。
- 大判印刷の場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチ ボックス、バッファ ボックス、ケーブルアダプタ、ケーブルコンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- インタフェースケーブルを別のものに変えて試してみます。
- グラフィック言語の設定が正しいことを確認します ([32 ページのグラフィック言語の設定を変更する](#)を参照)。
- プリンタがネットワークで接続されている場合、プリンタに静的 IP アドレスが割り当てられていることを確認します。DHCP を使用していると、電源がオンになるときに IP アドレスが変化する場合があります。この場合、ドライバーではプリンタの IP アドレスを検出できないことがあります。

HP DesignJet Utility にアクセスできない



まだお読みでない場合は、まず[29 ページの HP DesignJet Utility へのアクセス](#)をお読みください。

フロントパネルから、 を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[接続]-[詳細設定]-[Web サービス]-[プリンタ ユーティリティ ソフトウェア]-[有効] を選択します。

まだ接続できない場合は、フロントパネル上の [電源] キーを使ってプリンタの電源を入れ直します。

内蔵 Web サーバにアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず [29 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#) をお読みください。

フロントパネルで  を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[接続]-[詳細設定]-[内蔵 Web サーバ]-[内蔵 Web サーバを使用]-[オン] を選択します。

プロキシサーバを使用している場合は、プロキシサーバを経由せずに内蔵 Web サーバに直接アクセスします。


- Windows 版の Internet Explorer 6 を使用している場合は、[ツール]-[インターネット オプション]-[接続]-[LAN の設定] をクリックし、[ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない] ボックスをオンにします。さらに高度な設定を行うには、[詳細設定] ボタンをクリックし、プロキシサーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスを例外の一覧に追加します。
- Mac OS X の Safari を使用している場合は、[Safari]-[環境設定]-[詳細] をクリックし、[プロキシ：設定の変更] ボタンをクリックします。プロキシサーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスまたはドメイン名を [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] の一覧に追加します。





まだ接続できない場合は、フロントパネル上の [電源] キーを使ってプリンタの電源を入れ直します。


インターネットに接続できない



プリンタのインターネットへの接続が困難な場合、接続ウィザードが自動的に起動される場合があります。必要な場合にいつでもウィザードを手動で開始することもできます。

- 埋め込み Web サーバから：[サポート]-[接続のトラブルシューティング]-[接続ウィザード] を選択します。

 **注記：** 内蔵 Web サーバから接続設定を変更することはできません。

- フロントパネルで  を押し、次に  を押して、[接続]-[接続ウィザード] を選択します。
- フロントパネルで  を押し、次に  を押して、[内部印刷]-[サービス情報の印刷]-[接続設定の印刷] を選択します。この場合、結果が印刷されます。

 **注記：** 印刷される結果は、接続ウィザードの前回実行時から取得されるため、結果を得るには接続ウィザードをすでに実行している必要があります。

接続ウィザードは一連のテストを自動的に実行します。テストの実行は個別に選択することもできます。フロントパネルから、 を押し、次に  を押して、[接続]-[診断およびトラブルシューティング]-[診断およびトラブルシューティング] を選択します。以下のオプションから選択できます。

- [すべてのテスト]
- [ネットワーク接続テスト]：プリンタのローカルエリア ネットワークへの接続を確認します。
- [インターネット接続テスト]：プリンタのインターネットへの接続を確認します。

- [HP Connected テスト]: HP Connected へのプリンタの接続を確認します。
- [ファームウェアアップデートテスト]: プリンタの HP のファームウェアアップデート サーバへの接続を確認します。

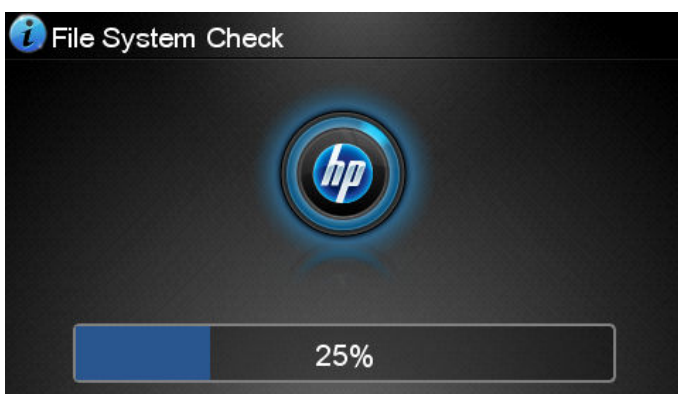
いずれかのテストが失敗した場合、プリンタは問題および推奨される解決方法を示します。内蔵 Web サーバを使用しているか、設定が保護されていない限り、設定を変更してテストを再実行することができます。

Web サービスの問題

HP ePrint に問題がある場合は、HP Connected を参照してください: <http://www.hpconnected.com>。

ファイルシステムの自動確認

プリンタの電源を入れると、フロントパネルに以下のような表示が現れることがあります。



ファイルシステムの確認が実行されます。これには最大 40 分かかることがあります。完了するまでお待ちください。

⚠ 注意: ファイルシステムの確認が完了する前にプリンタの電源を切ると、ファイルシステムに重大な損傷が発生し、ハードディスクが使用できなくなることがあります。いずれにせよ、再びプリンタの電源を入れると、ファイルシステムの確認が最初から開始されます。

ファイルシステムの確認は、ハードディスクのファイルシステムの完全性を維持するため、90 日ごとに実行されるようにスケジュールされています。

🔧 注記: プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約 3 分かかります。しかし、プリンタが長期間使用されておらず、プリントヘッドの準備にさらに時間がかかるなど、状況によっては最大で 40 分かかることがあります。

アラート

このプリンタは、次の 2 種類のアラートを発信します。

- **エラー:** 主に、プリンタが正常に動作できないことを警告します。ただしプリンタドライバでは、プリンタで印刷が可能な場合でも、イメージの途切れなど、印刷結果を損なう状態についても警告します。
- **警告:** キャリブレーションなどの調整、または予防保守やインク残量が少なくなったなど、要注意の状態である場合に警告します。

プリンタのシステム内には、4 つの異なる警告装置があります。

- **フロントパネル表示**：フロントパネルには、関連性が最も高い警告のみが表示されます。警告の場合は時間が経過すると表示されなくなります。プリンタがアイドル状態になる場合や、より重大な警告がない場合は、「カートリッジのインク残量が少なくなっています」など、常時表示される警告が再表示されます。

※ **ヒント**：フロントパネルの画面から、用紙の不一致のアラートを設定することができます ([23 ページの用紙適合性オプション](#)を参照)。

- **内蔵 Web サーバ**：内蔵 Web サーバのウィンドウの右上隅には、プリンタのステータスが表示されます。プリンタ内に警告がある場合、警告内容がステータスに表示されます。
- **ドライバ**：ドライバからアラートが表示されます。最終出力で問題を発生させる可能性のあるジョブ設定について警告します。プリンタで印刷の準備ができていない場合は、警告が表示されません。
- **HP DesignJet Utility**：アラートを表示するには、**[概要]** タブに移動して、右側に **[要注意の項目]** リストを確認します。

デフォルトでは、印刷中のみアラートが表示されます。アラートが有効になっている状態でジョブの完了を妨げる問題が発生すると、ポップアップウィンドウが表示され、問題の理由が説明されます。必要な結果を得るには、指示に従って操作します。

20 フロントパネルエラー メッセージ

フロントパネルの画面に、以下のメッセージのいずれかが表示される場合があります。その場合は、[推奨]列のヒントに従ってください。

ここに示されていないエラーメッセージが表示され、適切な対応が不明な場合、または推奨された解決方法で問題が解決しない場合は、HP サポートにお問い合わせください。[175 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)を参照してください。

テキスト メッセージ

メッセージ	推奨
[カラー]カートリッジが変更されました	カートリッジを確認してください。
[カラー]カートリッジの使用期限が切れています	カートリッジを交換してください。 104 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
[カラー]カートリッジのインク残量が少なくなっています	同じカラーの新しいカートリッジの準備ができているかどうかを確認します。
[カラー]カートリッジがありません	該当するカラーのカートリッジを取り付けてください。 104 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
[カラー]カートリッジがインク切れです	カートリッジを交換してください。 104 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
[カラー]カートリッジのインク残量が僅かです	同じカラーの新しいカートリッジの準備ができているかどうかを確認します。
[カラー]プリントヘッドがありません	該当するプリントヘッドを取り付けてください。 104 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
カッターの交換をお勧めします	カッターを交換するには、HP サポートにお問い合わせください。 175 ページの HP のサポートに問い合わせる を参照してください。
ジョブキューの通知	ジョブをキャンセルするか、再開するか、または削除してください。 70 ページの「ジョブキューの管理」 を参照してください。
保守#1 を行ってください。	HP サポートにお問い合わせください。 175 ページの HP のサポートに問い合わせる を参照してください。
保守#2 を行ってください。	HP サポートにお問い合わせください。 175 ページの HP のサポートに問い合わせる を参照してください。
保守#3 を行ってください。	HP サポートにお問い合わせください。 175 ページの HP のサポートに問い合わせる を参照してください。
用紙の取り付けが正しくありません。用紙を取り出して	用紙を取り除いて、再度取り付けしてみてください。

テキストメッセージ(続き)

メッセージ	推奨
用紙の位置が間違っています：用紙を取り出してください	用紙を取り除いて、再度取り付けてみてください。
給紙経路エラー：用紙の取り付けエラー	用紙を取り外し、再度取り付けてください。
給紙経路エラー：軸合わせ不良	用紙を取り外し、再度取り付けてください。
プリントヘッドの交換が不完全です。再度行ってください。	プリントヘッドの交換処理を再度行ってください。
プリントヘッドを個別にテストする必要があります。 Do replacement (交換してください)	[イメージ診断の印刷]を使用してプリントヘッドをチェックし(152 ページの イメージ診断の印刷 を参照)、正しく機能していないプリントヘッドを交換してください。
[カラー] プリントヘッドを取り外してください	間違ったプリントヘッドを取り外し、該当する種類(カラーおよび番号)の新しいプリントヘッドを取り付けてください。 104 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
[カラー] カートリッジを交換して下さい	カートリッジを交換してください。 104 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
[カラー] プリントヘッドを交換してください	機能していないプリントヘッドを取り外し、該当する種類(カラーおよび番号)の新しいプリントヘッドを取り付けてください。 104 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
[カラー] カートリッジを再度取り付けて下さい	カートリッジを取り外し、同じカートリッジを再度取り付けてください。 104 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
[カラー] プリントヘッドを再度取り付けてください	プリントヘッドを取り外してから同じプリントヘッドを取り付け直すか、電極部分のクリーニングを行います。必要に応じて、新しいプリントヘッドを取り付けます。 156 ページのフロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される を参照してください。

数値エラー コード

エラー コード	推奨
01.0, 01.1, 01.2	プリンタを再起動してください。
06:03	プリンタを再起動してください。
08:04	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、プリンタのファームウェアのアップデートを行ってください。 117 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
08:08	試してきた操作をもう一度行ってみてください。再度失敗する場合は、プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、プリンタのファームウェアのアップデートを行ってください。 117 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
21, 21.1, 21:03, 21.1:03, 21:13, 21.2:13, 22.0, 22.1, 22.2, 22.3, 22.x:03, 24	プリンタを再起動してください。
26:01, 26.x:01	インクカートリッジで接触不良が検出されました(xが存在する場合、xはスロットxのカートリッジを示します)。カートリッジを取り外し、同じカートリッジを再度取り付けてください。必要に応じて、新しいカートリッジを取り付けます。

数値エラーコード (続き)

エラーコード	推奨
26:14	プリンタのファームウェアをアップデートしてください。 117 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
27:01, 27.x:01	多くのプリントヘッド ノズルが機能していません (x が存在する場合、x はスロット x のプリントヘッドを示します)。プリントヘッドを取り外してから取り付け直すか、電極部分のクリーニングを行います。必要に応じて、新しいプリントヘッドを取り付けます。 156 ページのフロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される を参照してください。
27:03	プリントヘッドエラー。プリンタを再起動してください。
27:14	プリンタのファームウェアをアップデートしてください。 117 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
31:03、41:03、42:03、45.1:03、45.2:03、47:03、56:03	プリンタを再起動してください。
61:01	ファイル形式が間違っているため、プリンタがジョブを処理できません。ジョブがパスワードで保護されている場合は、パスワード保護を使用しないでジョブを送信してみてください。そうでない場合は、プリンタのファームウェアをアップデートしてから、再度試してください。 117 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
61:04.1、61:04.2	プリンタのファームウェアをアップデートしてください。 117 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
61:08.1	パスワード保護を使用しないでジョブを再送信してください。
66:08	取り付けられている用紙の種類に対して、ジョブを印刷できません。
68:03	プリンタを再起動してください。
71:04	メモリ不足です。
71:03	プリンタを再起動してください。
74:04、74.1:04	ファームウェアアップデートが失敗しました。 [OK] を押して、もう一度試してください。 117 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
74.1	もう一度ファームウェアのアップデートを実行してみてください。アップデートの処理中は、コンピュータを使用しないでください。
74.8:04	ファームウェアアップデートが失敗しました。ファームウェアファイルが間違っている可能性があります。もう一度ダウンロードしてみてください。 117 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
76:03	プリンタを再起動してください。
77:04、78.1:04	プリンタのファームウェアをアップデートしてください。 117 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
78:08	フチなし印刷を行うことができません。設定が無視されます。
79:03	プリンタを再起動してください。
79:04、79.1:04	プリンタのファームウェアをアップデートしてください。 117 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
81:01	フロントパネルの指示にしたがいます。HP サポートに問い合わせる前に、テスト手順の実行と数値コードの記録を要求される場合があります。 175 ページの HP のサポートに問い合わせる を参照してください。
81:03、84:03	プリンタを再起動してください。
86:01	フロントパネルの指示にしたがいます。HP サポートに問い合わせる前に、テスト手順の実行と数値コードの記録を要求される場合があります。 175 ページの HP のサポートに問い合わせる を参照してください。

数値エラーコード(続き)

エラーコード	推奨
94、94.1、94:08	カラーキャリブレーションを再度行ってください。 78ページのカラーキャリブレーション を参照してください。
94:02	カラーキャリブレーションが失敗しました。取り付けられている用紙の種類が、選択した用紙の種類と一致しているかどうかを確認してください。

システムエラーログ

このプリンタは以下の方法でアクセス可能なシステムエラーのログを保存します。

USB フラッシュドライブを使用する

1. USB フラッシュドライブで「**pdipu_enable.log**」という名前の空のファイルを作成します。
2. USB フラッシュドライブは、プリンタの正面にある高速 USB ホスト ポートに挿入します。ログが自動的にドライブにコピーされます。

内蔵 Web サーバを使用する

1. ご使用の Web ブラウザで、<http://プリンタのIPアドレス/hp/device/webAccess/log.html> に移動します。
2. 内蔵 Web サーバから、システムエラーログを含む「**log.tar.gz**」という名前のファイルが送信されます。

21 HP Customer Care

- [はじめに](#)
- [HP プロフェッショナルサービス](#)
- [HP プロアクティブ サポート](#)
- [カスタマーセルフリペア](#)
- [HP のサポートに問い合わせる](#)

はじめに

HP Customer Care は、その優れたサポート内容が評価され、受賞経験もあります。お使いの HP DesignJet から常に最高の結果を得られるようなサポートをご提供します。弊社は、サポートに関する幅広く信頼性の高い専門知識をもち、常に新しい技術を効果的に使用することで、細かなサポートをご提供します。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話と Web によるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。HP Customer Care についての詳細は、弊社 Web サイト ([175 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)) をご覧ください。

保証を登録するには、<http://register.hp.com/> をご覧ください。

HP プロフェッショナルサービス

HP サポートセンター

専用のサービスとリソースを十分にご活用いただくことで、HP DesignJet プリンタおよびソリューションに関して最高のパフォーマンスを実現することができます。

HP サポートセンターの HP コミュニティにご登録ください。大判印刷に携わる方々のコミュニティでは以下のリソースをいつでもご利用になれます。

- マルチメディア チュートリアル
- 使用方法に関する手順書
- ダウンロード：プリンタの最新ファームウェア、ドライバ、ソフトウェア、用紙プリセットなど
- 技術サポート：オンラインのトラブルシューティング、HP カスタマー・ケアへのご連絡など
- 特定のソフトウェア アプリケーションからさまざまな印刷作業を完了させるためのワークフロー および詳細なヒント
- HP の専門技術者や他の上級ユーザと直接連絡することのできるフォーラム
- オンラインでの保証の確認。いつでも確認できるので安心です。
- 最新の製品情報：プリンタ、サプライ品、アクセサリ、ソフトウェアなど。
- インクと用紙に関するすべての情報を確認できるサプライセンター

HP サポートセンターは、次の場所にあります。<http://www.hp.com/go/Z2600/support> または <http://www.hp.com/go/Z5600/support>

購入製品とビジネス分野に合わせて登録内容をカスタマイズし、ご希望の連絡方法を設定することができます。

HP スタートアップキット

HP スタートアップキットは、プリンタに同梱されている DVD です。プリンタのソフトウェアとマニュアルが含まれています。

HP Care Pack および保証期間の延長

HP Care Pack および保証期間の延長により、標準期間を超えてプリンタの保証を延長できます。

HP Care Pack および保証期間の延長には、リモートサポートが含まれます。必要に応じて、2つの対応時間のオプションをお選びいただけるオンサイトサービスもご提供します。

- 翌営業日
- 同日営業日の4時間以内(一部の国ではご利用いただけません)

プリンタを箱から取り出してセットアップし、接続する HP インストレーション サービスが用意されています。

HP Care Pack の詳細は、弊社 Web サイト (<http://cpc.ext.hp.com/portal/site/cpc>) をご覧ください。

HP プロアクティブ サポート

HP プロアクティブ サポートによってプリンタの問題が顕在化する前に問題の識別、診断、および解決ができ、プリンタの休止時間がもたらす損失を低減します。HP プロアクティブ サポート ツールは、サポートにかかるコストを削減しながら生産性を最大限発揮できるよう、あらゆる規模のビジネスをお手伝いします。すべての操作はマウスのクリックだけで行えます。

HP イメージング&プリンティング サービス スイートのコンポーネントのひとつであるプロアクティブ サポートは、投資価値の最大化、プリンタ稼働時間の拡大、およびプリンタ管理コストの削減に明確に焦点を当てた、印刷環境の管理を支援するサービスです。

HP では、プロアクティブ サポートを今すぐ有効化して時間を節約し、問題を未然に防ぐようお勧めしています。これによってプリンタの休止時間がもたらす損失を低減します。またプロアクティブ サポートは、診断を実行してソフトウェアとファームウェアのアップデートをチェックします。

Windows では HP DesignJet Utility を、Mac OS X では HP プリンタ モニタをそれぞれ有効化でき、コンピュータと HP の Web サーバとの接続の頻度、および診断チェックの頻度を指定できます。また、診断チェックは手動で実行することもできます。これらの設定を変更するには、以下の手順に従います。

- HP DesignJet (Windows) で、[ツール] メニューを選択し、次に [HP Proactive Support] を選択します。
- HP Printer Monitor (Mac OS) で、[環境設定] - [監視] - [HP Proactive Support] を選択します。

プロアクティブ サポートによって潜在的な問題が発見された場合は、アラートで通知され、問題の説明と共に解決方法が推奨されます。解決方法が自動的に適用される場合があります。問題を解決するための手順を実行するように求められる場合もあります。

カスタマー セルフ リペア

HP のカスタマー セルフ リペア プログラムは、お客様に保証または契約に基づく最も迅速なサービスを提供します。このプログラムでは、HP が交換部品をお客様(エンド ユーザ)に直接お送りし、お客様が部品を交換できます。このプログラムを使用すれば、お客様の都合のよいときに部品を交換できます。




便利、簡単に使用できる

- HP のサポート担当者は、不具合のあるハードウェア コンポーネントに対処するために交換部品が必要であるかどうかを判断します。
- 交換部品は速達で送られ、多くの在庫部品は HP に連絡したその日に発送されます。
- 現在保証期間中または契約対象になっているほとんどの HP 製品にてご利用いただけます。
- ほとんどの国でご利用いただけます。

カスタマー セルフ リペアの詳細については、<http://www.hp.com/go/selfrepair> を参照してください。

HP のサポートに問い合わせる

HP サポートはお電話でご利用いただけます。お問い合わせになる前に、以下を行ってください。

- 本書で紹介されているトラブルの解決手段を再度確認してください。
- 関連ドライバのマニュアルを参照してください。
- サードパーティ製のソフトウェア ドライバおよび RIP をインストールしている場合は、それぞれのマニュアルを参照してください。
- HP のサポート窓口にお問い合わせの際は、お客様のご質問により迅速にお答えできるよう、下記の事項をご確認ください。
 - － お使いの製品の情報 (製品の背面のラベルに記載されている、製品番号とシリアル番号)
 - － フロントパネルにエラー コードが表示される場合は、エラー コードをメモに取り、[169 ページの「フロントパネルエラーメッセージ」](#)を参照
 - － 製品のサービス ID: フロントパネルで、 を押し、 を押して、 を押します。
 - － お使いのコンピュータ
 - － お使いの特別な機器やソフトウェア (スプーラ、ネットワーク、スイッチボックス、モデム、特別なソフトウェア ドライバなど)
 - － お使いのケーブル (製品番号) とケーブルの購入場所
 - － 製品でお使いのインタフェースの種類 (USB、またはネットワーク)
 - － 現在使用中のソフトウェアの名前とバージョン
 - － できましたら、下の項目を出力してください。サポートセンターまで FAX を送信するように求められる場合があります。サポートセンターからこれらのページの FAX 送信をお願いする場合があります (詳細は、[12 ページのプリンタの印刷メニュー](#)を参照)。

電話番号

HP サポートの電話番号は、Web で提供しています。http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html を参照してください。

22 プリンタの仕様

- [機能の仕様](#)
- [物理的仕様](#)
- [メモリの仕様](#)
- [電源の仕様](#)
- [エコロジーに関する仕様](#)
- [動作環境の仕様](#)
- [動作音に関する仕様](#)

機能の仕様

HP インクサプライ

プリントヘッド	各プリントヘッドに2種類のインク：マットブラックとシアン、マゼンタとイエロー、フォトブラックとライトグレー
インクカートリッジ	130mlのインクが入っているカートリッジ：マットブラック、フォトブラック、ライトグレー、シアン、マゼンタ、イエロー 300mlのインクが入っているカートリッジ：マットブラック、フォトブラック、ライトグレー、シアン、マゼンタ、イエロー

用紙サイズ

	最小	最大
ロール紙の幅	279mm	1118mm (Z5600 の場合) 610mm (Z2600 の場合)
ロール紙の長さ		91m
ロールの直径		135 mm
ロールの重量		11.9kg
カット紙の幅	210mm	1118 mm
カット紙の長さ	279mm	1676 mm
用紙の厚さ		0.8mm
用紙の重さ	60g/m ²	495g/m ²

印刷解像度

印刷品質	高精細	パスの拡張	レンダリング解像度(ppi)	印刷解像度 1 (dpi)	印刷解像度 2 (dpi)
高品質	オン	オン	600 × 600	2400 × 1200 *	1200 × 1200
	オン/オフ	オン	600 × 600	1200 × 1200	1200 × 1200
	オン/オフ	オフ	600 × 600	600 × 1200	1200 × 1200
標準	オン		600 × 600	600 × 1200	1200 × 1200
	オフ		300 × 300	600 × 1200	1200 × 1200
高速	オン		600 × 600	600 × 1200	1200 × 1200
	オフ		300 × 300	600 × 1200	1200 × 1200
エコノモード	オン		600 × 600	600 × 1200	1200 × 1200
	オフ		300 × 300	600 × 1200	1200 × 1200

印刷解像度は、以下のように、用紙の種類によって異なります。

- **印刷解像度 1** は、普通紙、コート紙、厚手コート紙、スーパー厚手コート紙、半光沢用紙、および光沢用紙に適用されます。

*半光沢用紙および光沢用紙のみ。

- **印刷解像度 2** は、キャンバス用紙、粘着ビニール紙、スクリーンバナー紙、バックライト用紙、ブルー用マット紙、ブルー用光沢紙、およびデジタルファインアート紙に適用されます。

マージン

上左右のマージン	5 mm
下マージン (下端)	5mm (ロール紙) 17mm (カット紙)

機構的な精度

指定ベクトル長 $\pm 0.1\%$ または $\pm 0.2\text{mm}$ (いずれか大きい方)、気温 23°C、相対湿度 50 ~ 60%、E/A0 サイズの印刷物に [高品質] または [標準] で HP マットフィルム ロールフィードを使用して印刷。

サポートされているグラフィック言語

HP DesignJet	言語
Z2600、Z5600	HP-PCL3GUI、HP-GL/2 および HP RTL、CALS G4、TIFF、JPEG、Adobe PDF 1.7、Adobe PostScript 3

物理的仕様

プリンタの物理的仕様

	HP DesignJet Z2600 24 インチ PostScript プリンタ (スタンドなし)	HP DesignJet Z2600 24 インチ PostScript プリンタ (スタンドあり)	HP DesignJet Z5600 44 インチ PostScript プリンタ (スタンドあり)
重量	53.5 kg	60 kg	86kg
幅	1262 mm	1262 mm	1770 mm
奥行き	702 mm	702 mm	721mm
高さ	386 mm	1050 mm	1050 mm

奥行きは、上部スピンドルなしで、ウォール スペーサを上にし、インクのカバーを開き、ロールカバーとバスケットを閉じた状態で測定されています。

メモリの仕様

メモリの仕様

HP DesignJet	仮想メモリ*	ハードディスク
Z5600	64 GB	320 GB
Z2600	8 GB	160 GB

電源の仕様

プリンタの電源の仕様

入力電圧	100 ~ 240V AC \pm 10%、自動判別
周波数	50 - 60Hz
最大電流	2 A
最大時の電力	120 W

エコロジーに関する仕様

この製品は、WEEE Directive 2012/19/EU および RoHS Directive 2011/65/EU に準拠しています。お使いの製品モデルの ENERGY STAR と EPEAT の登録状態を調べるには、<http://www.hp.com/go/ecolabels> を参照してください。

動作環境の仕様

プリンタの動作環境の仕様

動作温度	5 ~ 40°C
推奨動作温度	15 ~ 35°C (用紙の種類により変動)
保管温度	-25 ~ 55°C
推奨動作湿度	20 ~ 80% RH (用紙の種類により変動)
保管湿度	0 ~ 95% RH

動作音に関する仕様

プリンタの動作音に関する仕様 (ISO 9296 に準拠)

プリンタの動作音に関する仕様

アイドル状態の騒音出力レベル	4.1 B (A)
動作時の騒音出力レベル	6.7 B (A)
アイドル状態のバイスタンダ位置での音圧	23 dB (A)
動作時のバイスタンダ位置での音圧	45 dB (A)

用語集

AppleTalk

Apple Computer が 1984 年に開発したコンピュータ ネットワーク用のプロトコルツール。Apple は、現在では TCP/IP および Bonjour ネットワークを推奨しています。HP DesignJet 製品は AppleTalk をサポートしていません。

Bonjour

IETF のゼロコンフィギュレーション仕様フレームワークの実装に関する Apple Computer 株式会社の商標で、Apple の Mac OS X バージョン 10.2 以降で使用されているコンピュータ ネットワーク技術。ローカルエリアネットワークで使用可能なサービスを検索するために使用され、当初は Rendezvous と呼ばれていました。

色の精度

元のイメージにできるだけ忠実な色あいを印刷する機能。色域はすべてのデバイスで限定されているため、特定のカラーについて色を完全に一致させることができない場合があります。

色の一貫性

大量の出力でも、またプリンタを変えても、特定の印刷ジョブの同じカラーを印刷する機能。

カラー モデル

RGB または CMYK など、数値でカラーを想定したシステム。

カラー スペース

各カラーが一連の固有の数値で表されるカラー モデル。また、複数のカラー スペースで同じカラー モデルを使用することもできます。例えば、通常、モニタは RGB カラー モデルを使用しますが、特定の RGB 数値セットがさまざまなモニタ上でさまざまなカラーとなるので、モニタはさまざまなカラー スペースを持ちます。

カッター

プラテン上を前後にスライドし、用紙をカットするプリンタのコンポーネント。

ESD

静電気の放電。静電気は、日常的に頻繁に発生します。自動車ドアに触れた時に火花を発生させたり、衣服を張り付けたりします。制御された静電気には役に立つ用途がありますが、未制御の静電気の放電は電子製品の主な障害のひとつとなります。したがって、破損を防ぐには、プリンタを設定したり、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に、いくつかの手順が必要です。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなる場合があります。未制御の静電気放電を最小限にして、このような破損を減らす方法の 1 つは、静電気放電に敏感なデバイス(プリントヘッドまたはインクカートリッジなど)を扱う前に、プリンタの接地した箇所(主に金属部分)に触れることです。また、身体での帯電の発生を減らすには、カーペットを敷いた場所での作業を避け、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に身体の移動を最小限に抑えます。さらに、湿度の低い環境での作業を避けます。

イーサネット

ローカルエリア ネットワーク用の一般的なコンピュータ ネットワーク技術。

ファームウェア

プリンタの機能を管理し、プリンタに半永久的に保存されます(アップデート可能)。

ガモット

プリンタまたはモニタなど、出力デバイス上で再現可能な色および濃度値の範囲。

ギガビットイーサネット

最大1ギガビット/秒でデータを転送できるイーサネットネットワーク。ギガビットイーサネットインタフェースは、より古いイーサネットデバイスとの互換性のために必要に応じて、より低速なネゴシエートが可能です。

HP-GL/2

HP Graphics Language 2 : HP社が定義するベクトルグラフィック描画用の言語。

HP RTL

HP Raster Transfer Language : HP社が定義するラスタ(ビットマップ)グラフィック描画用の言語。

I/O

入出力 : デバイス間におけるデータのやり取りを説明する用語です。

ICC

カラープロファイルの標準化に同意している企業の団体である、国際カラーコンソーシアムの略称です。

インクカートリッジ

取り外し可能なプリンタコンポーネント。特定カラーのインクが収められておりプリントヘッドに提供します。

IP アドレス

IPv4 アドレス(最も一般的)または IPv6 アドレスを指します。

IPSec

ネットワーク上でノード間に送信される IP パケットを認証し、暗号化することによって、ネットワークセキュリティを提供する高度なメカニズム。各ネットワークノード(コンピュータまたはデバイス)には IPSec が設定されています。アプリケーションは通常、IPSec が使用されているか否かを認識しません。

IPv4 アドレス

IPv4 ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。IPv4 アドレスは、4組の整数から構成され、各組はピリオドで区切られています。世界中のほとんどのネットワークは、IPv4 アドレスを使用しています。

IPv6 アドレス

IPv6 ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。IPv6 アドレスは最大8グループの16進数字で構成され、それぞれがコロンで区切られています。各グループには最大4つの16進数字が含まれます。世界中のごく少数の新たなネットワークで、IPv6 アドレスを使用しています。

Jetdirect

HP社のプリントサーバシリーズの商品名。直接ローカルエリアネットワークへ接続することが可能になります。

LED

発光ダイオード : 電気的な刺激が与えられると発光する半導体デバイスです。

MAC アドレス

Media Access Control address (メディアアクセスコントロールアドレス)の略。ネットワーク上で、特定のデバイスを識別するために使用される固有の識別子です。IP アドレスよりも下位レベルの識別子であり、デバイスは MAC アドレスおよび IP アドレスの両方を持つ場合があります。

ネットワーク

ネットワークはコンピュータとデバイス間でデータのやり取りをする接続セットです。あらゆるデバイスは、同じネットワークの他のすべてのデバイスと通信できます。これにより、データがコンピュータとデバイス間を移動することができ、プリンタのようなデバイスを多くのコンピュータ間で共有することができます。

ノズル

プリントヘッドにある多数の小さな穴の一つ。印刷に使用するインクが通過します。

用紙

書くため、または印刷用に作られた薄くて平らな物質。通常は繊維をパルプ化し、乾燥させ、プレスして作られます。

プラテン

プリンタ内にある平らな面。印刷中に用紙がプラテン上を通過します。

プリンタドライバ

生成フォーマットされた印刷ジョブを、特定のプリンタに適したデータに変換するソフトウェア。

プリントヘッド

取り外し可能なプリンタコンポーネント。対応するインクカートリッジから1つまたは複数のインクを吸収し、ノズルの集合体を通して用紙に付着させます。プリンタでは、各プリントヘッドが2つの異なるカラーを印刷します。

スピンドル

印刷に使用されるロール紙を支えるための棒。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol: インターネットのベースとなる通信プロトコルです。

USB ホスト ポート

コンピュータ上のソケットのような長方形のUSBソケット。プリンタはこのようなポートに接続されるUSBデバイスを制御できます。プリンタには2つのUSBホストポートがあり、アクセサリやUSBフラッシュデバイスを制御するために使用します。

USB

Universal Serial Bus (ユニバーサルシリアルバス) の略。コンピュータに接続するために設計された標準シリアルバスです。

索引

- A**
 - アクセス制御 26
 - アクセサリ
 - 注文 124
 - アカウントID
 - 要求する 27
 - 電子メールによるアカウントイン
グデータ 102
 - アカウントインク 101
 - 動作音に関する仕様 180
 - Acrobat、印刷 86
 - Acrobat Pro、印刷 89
 - Acrobat Reader、印刷 87
 - アラート
 - エラー 167
 - オン/オフにする 25
 - 警告 167
 - AutoCAD、プレゼンテーションの印
刷 95
 - AutoCAD、プロジェクトの印刷 92
 - B**
 - バンディングの問題 136
 - バスケット
 - 排出の問題 135
 - 黒点補正 83
 - ぼやけた線 151
 - フロントパネルの明るさ 30
 - ブザーのオン/オフ 30
 - C**
 - キャリブレーション
 - カラー 78
 - 用紙を取り付けられない 127
 - プラテンのクリーニングを行う
145
 - プリンタをクリーニングする
116
 - 下部の一部が印刷されない 148
 - 一部のイメージ 148
 - カラーマネジメント
 - ドライバから 80
 - EWS から 82
 - フロントパネルから 83
 - プリンタドライバから 80
 - オプション 80
 - プロセス 78
 - カラー
 - 利点 78
 - キャリブレーション 78
 - CMYK 78
 - エミュレーション 81
 - 正確に再現されない 147
 - プロファイル 78
 - RGB 78
 - 通信ポート 8
 - プリンタのコンポーネント 6
 - コンピュータの通信
 - コンピュータとプリンタ間の通
信問題 165
 - 設定する 31
 - プリンタを接続する
 - 方法を選択する 14
 - 一般的 14
 - Mac OS X ネットワーク 17
 - Windows ネットワーク 15
 - 用紙プリセットの作成 46
 - 切り取り線 64
 - カスタマー・ケア 174
 - カスタマーセルフリペア 175
 - カッター
 - オン/オフ 49
 - D**
 - 用紙プリセットの削除 45
 - ディスク消去、安全 119
 - 試し印刷 62
 - ドライバの環境設定 27
 - 乾燥時間
 - 変更する 48
 - E**
 - エコロジーに関する仕様 180
 - 節約
 - インク 66
 - 用紙 65
 - 電子メール通知 25
 - 電子メール印刷 69
 - 内蔵 Web サーバ
 - アクセス 29
 - アクセスできない 166
 - ジョブのプレビュー 74
 - ジョブキュー 73
 - 言語 30
 - ジョブ単位の使用状況 102
 - 使用状況に関する情報 101
 - 動作環境の仕様 180
 - ハードディスクを安全に消去す
る 119
 - エラーメッセージ
 - フロントパネル 169
 - ログ 172
- F**
 - プリンタの機能 5
 - ファイルシステムの確認 167
 - ファームウェアのアップデート
117
 - 手動設定 22
 - セットアップ 21
 - フロントパネルオプション
 - 用紙送りの調整 137
 - プリントヘッドの軸合わせ
161
 - 内蔵 Web サーバを使用 166
 - 黒点補正 84
 - ブザー 30
 - カラーキャリブレーション 79
 - 用紙送りをキャリブレーション
する 137
 - プリントヘッドのクリーニン
グ 157
 - CMYK 入力プロファイル 84
 - カラー/グレースケール 84

- 接続ウィザード 21, 166
 - 表示の明るさ 30
 - 切り取り線の有効化 64
 - カッターの有効化 49
 - エコノモードの有効化 62
 - 高精細の有効化 63
 - マージの有効化 61
 - 排紙およびカット 49
 - インターネット接続 21
 - 設定の変更 32
 - 用紙の移動 48
 - PANTONE エミュレーション 84
 - 用紙が一致しない場合の動作 23
 - 接続設定の印刷 166
 - イメージ診断の印刷 152
 - プリンタユーティリティソフトウェア 166
 - プリントヘッド情報 108
 - 印刷品質 57
 - レンダリング用途 84
 - インクカートリッジの交換 106
 - プリントヘッドの交換 109
 - 用紙送りのリセット 138
 - サイズ変更 61
 - RGB 入力プロファイル 84
 - ロールの保護 67
 - ロール紙切替オプション 23
 - 乾燥時間の選択 49
 - グラフィック言語の選択 32
 - I/O タイムアウトの選択 148
 - 言語の選択 29
 - 用紙サイズの選択 58
 - 用紙の種類を選択 129, 130
 - 待ち時間の選択 66
 - スリープモード待ち時間 30
 - 単位の選択 31
 - 用紙の取り外し 41
 - フロントパネル 9
 - 明るさ 30
 - ジョブのプレビュー 70
 - ジョブキュー 70
 - 言語 29
 - 単位 31
 - 前面図 6
 - 機能の仕様 178
- G**
- 粒状感 143
 - グラフィック言語 179
- H**
- ハードディスクの仕様 179
 - HP Care Pack 174
 - HP Connected
 - 無効化 27
 - HP Customer Care 174
 - HP DesignJet クリック プリンティングソフトウェア
 - セットアップ 18
 - HP DesignJet Utility
 - アクセス 29
 - アクセスできない 165
 - 言語 30
 - HP-GL/2 32
 - HP プロアクティブサポート 175
 - HP スタートアップキット DVD 3
 - HP スタートアップキット 174
 - HP サポートセンター 174
 - HP サポート 175
- I**
- イメージ診断の印刷 152
 - イメージの問題
 - 下部の一部が印刷されない 148
 - 一部のイメージ 148
 - 印刷されないオブジェクト 149
 - 用紙プリセットのインポート 45
 - インクカートリッジ
 - 詳細 105
 - 挿入できない 156
 - 取り付ける 107
 - メンテナンス 116
 - 注文 121
 - 取り外す 105
 - 仕様 178
 - ステータスメッセージ 156
 - status 105
 - インク
 - 節約して使用 66
 - 使用状況 102
 - 印刷メニュー 12
 - インターネット接続
 - 手動設定 21
 - セットアップ 21
 - トラブルシューティング 166
 - IP アドレス 30
 - IPSec 15
 - IPv6 15
- J**
- Jetdirect プリントサーバ 125
 - ジョブのプレビュー
 - 内蔵 Web サーバ 74
 - フロントパネル 70
 - ジョブキュー
 - 内蔵 Web サーバ 73
 - フロントパネル 70
- L**
- 言語 29
 - 線の長さの正確さ 152
 - 線の太さ 149
 - 用紙の取り付けの問題 127
 - 用紙の取り付け
 - 取り付けられない 127
 - 一般的なヒント 35
 - ドライバに含まれない用紙 129
 - ロール紙が取り付けられない 127
 - プリンタへの取り付け 37
 - スピンドルへの取り付け 35
 - カット紙が取り付けられない 128
 - カット紙 42
- M**
- 保守キット 118
 - マージン 59
 - なし 63
 - 仕様 179
 - 機構的な精度 179
 - メモリの仕様 179
 - Microsoft Office、印刷 98
 - 色がずれる 150
 - プリンタを移動する 116
 - マルチロールプリンタ 51
- N**
- ネスティング 65
 - オン/オフにする 24
 - ネットワーク設定 31
- O**
- 適当な用紙を待っています 130
 - 有効/無効 131
 - 注文
 - アクセサリ 124
 - インクカートリッジ 121
 - 用紙 121
 - プリントヘッド 121
 - 重なった線 61

夜間印刷 67

P

ページサイズ 58

PANTONE エミュレーション 80

PANTONE 見本帳 83

用紙が一致しない場合の動作 23

ドライバに含まれない用紙 129

用紙適合性 23

用紙の種類 121

用紙

送り 49

用紙送りのキャリブレーション 136

取り付けられない 127

印刷後カット 136

プリセットの削除 45

情報を表示する 48

プリセットのダウンロード 45

節約して使用 65

送ってカット 49

用紙がない 135

カットされた帯で詰まる 135

紙詰まり 132

取り付けのエラーメッセージ 128

メンテナンス 48

移動 48

正しくカットされない 136

平らになっていない 143

バスケットへの排出の問題 135

ドライバに含まれない用紙 129

作成のプリセット 46

プリセット 45

間違った用紙への印刷 130

取り付けられている用紙への印刷 60, 130

プリンタ別に保持 136

スピンドルでロール紙がたるむ 136

種類の選択 60

カンコウシ 44

サイズ(最大と最小) 178

サイズ 58

使用状況 102

情報の表示 45

Photoshop、プレゼンテーションの印刷 97

物理的仕様 179

プラテンのクリーニング 145

コネクタ 8

電源の仕様 180

電源

オン/オフ 11

環境設定、Windows ドライバ 27

印刷をプレビューする 61

電子メールから印刷する 69

プリンタの主なコンポーネント 6

プリンタの主な機能 5

プリンタが印刷しない 164

プリンタセキュリティ 33

プリンタソフトウェア 10

HP DesignJet クリック 18

Mac OS X でのアンインストール 18

Windows でのアンインストール 16

プリンタ ステータス 116

プリンタが起動しない 164

印刷元

内蔵 Web サーバ 55

HP DesignJet Utility 55

プリンタドライバ 56

USB フラッシュドライブ 54

プリントヘッドクリーナ

仕様 178

プリントヘッドドロップ検出器

クリーニング 157

プリントヘッド

詳細 108

軸合わせ 159

挿入できない 156

クリーニング; パージ 157

取り付ける 111

注文 121

取り外す 108

交換する、取り付け直す 156

仕様 178

ステータスメッセージ 161

status 108

印刷解像度 178

印刷 53

印刷ジョブ

ネスティング 65

印刷プレビュー 61

印刷品質の問題

バンディング 142

黒インクが擦れる 145

ぼやけた線 151

印刷物の下部 146

褐色化する 146

連続していない線 151

端が予期したよりも暗い 146

端が段状になっているかまたは鮮明ではない 145

一般的 141

粒状感 143

横線 142

不正確な線の長さ 152

インクが残る 144

線の太さ 149

色がずれる 150

用紙が平らになっていない 143

傷がつく 144

擦り切れる 144

段状の線画 150

ホソイタデセン 143

異なる色の縦線が印刷される 146

白色の点 146

ウィザード 141

印刷品質

選択 57

Proactive Support 175

ロールを保護する 67

Q

品質、高い 63

R

背面図 7

リモート印刷

環境設定 22

レンダリング用途 82

印刷を拡大縮小する 60

ロール紙

取り付け 37

スピンドルの取り付け 35

取り外す 40

ロールの保護 67

ロール紙切替オプション 23

S

安全に関する注意事項 2

印刷を拡大縮小する 60

傷がついた印刷 144

擦り切れた印刷 144

安全なディスク消去 119

セキュリティ 26

感光紙モード 44

カット紙

取り付け 42

取り外す 43

スリープモード待ち時間 30
印刷が遅い 164
ソフトウェアアップデート 118
ソフトウェア 10
仕様
 動作音 180
 エコロジ 180
 動作環境 180
 機能 178
 グラフィック言語 179
 ハードディスク 179
 インクサプライ 178
 マージン 179
 機構的な精度 179
 メモリ 179
 用紙サイズ 178
 物理的 179
 電源 180
 印刷解像度 178
スピンドル 125
 ロール紙の取り付け 35
情報
 インクカートリッジ 105
 ジョブ単位の使用状況 102
 使用状況 101
段状の線画 150
プリンタを保管する 116
サポートサービス
 HP Care Pack 174
 HP Customer Care 174
 HP プロアクティブ サポート
 175
 HP スタートアップキット
 174
 HP サポート センター 174
 HP サポート 175
 保証期間の延長 174

T

電話番号 176
2本のロール紙 51

U

無人での印刷 67
用紙の取り外し
 ロール紙 40
 カット紙 43
使用状況に関する情報
 オン/オフにする 25
このマニュアルの使用 3

W

ウォール スペーサ 8
保証期間の延長 174
Web 接続
 セットアップ 21
Web サービス
 はじめに 11
 トラブルシューティング 167